

令和2年度 第2回加西市総合政策審議会

次 第

日時：令和2年7月17日（金）午後2時～

場所：加西市健康福祉会館（ラヴィカさい）2階研修室

開 会

1 会長あいさつ

2 委員等出席者の紹介

3 議 事

第5次加西市総合計画における令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

(1) 第1回部会 外部評価（2次評価）の進め方 … 【資料1】

(2) 第1回部会 外部評価（2次評価）の実施 ※3部会での検討 … ※評価資料一式

4 その他

閉 会

【次回開催予定】

令和2年度 第3回加西市総合政策審議会

日時：令和2年8月7日（金）14:00～

場所：加西市健康福祉会館（ラヴィカさい）大ホール

令和2年度 第2回加西市総合政策審議会 出席者名簿

氏名	団体名等	役職	備考
上田尾 真	神戸新聞社	北播総局長	
大野 聖佳	NPO 法人ねひめカレッジ（加西市国際交流協会）	ジェネラルリーダー	
岡 和司	加西市連合 PTA	副会長	
岸本 達希	加西市立幼児園・こども園 PTA 連絡協議会	会長	（欠席）
木下 勇	加西市区長会	富田地区代表区長	
久米澤 稔	加西市労働者福祉協議会	事務局長	
後藤 直樹	加西空き家対策専門家協議会（え〜がい加西）	代表	
杉山 武志	兵庫県立大学環境人間学部	准教授	
高見 千里	女性農業者	代表	
谷勝 公代	加西市連合婦人会	会長	
辻田 聡信	加西市地域おこし協力隊	隊員	
中野 重美	加西市スポーツ推進委員会	副委員長	（欠席）
仁科 崇良	北条金融協会	会長	
濱本 泰秀	加西商工会議所	会頭	
松岡 勝己	加西市老人クラブ連合会	会長	

（15名 五十音順）

■市担当者（説明員）

氏名	所属・役職名
千石 剛	ふるさと創造部長
奥隅 一博	総務部長
高井 勝仁	健康福祉部長
深江 克尚	地域振興部長
末廣 泰久	都市整備部長
大西 守人	生活環境部長
本玉 義人	教育部長

■事務局

氏名	所属・役職名
藤後 靖	ふるさと創造部人口増政策課長
後藤 伸嘉	ふるさと創造部人口増政策課 課長補佐
森山 俊幸	ふるさと創造部人口増政策課 係長
岩野 裕之	ふるさと創造部人口増政策課 係長
大西 弘晃	ふるさと創造部人口増政策課 主事
小山 映	ふるさと創造部人口増政策課 まちづくり推進員

第 1 回部会 外部評価（2 次評価）実施要領

1 外部評価（2 次評価）の進め方

部会での検討（90 分）

- ① 市民の視点から各施策について別紙「第 5 次加西市総合計画 施策評価一覧」及び「第 5 次加西市総合計画 評価シート」を使い、行政内部による評価検証（1 次評価）の総合評価（5 段階評価）と同様の基準で評価する。
- 評価方法は、施策毎の 1 次評価が妥当であるかを検討し、施策評価一覧の総合評価欄に S から D を書き込んでいく。

	総合評価基準	説明	目標数値の達成度 単年(R 元)の数値目安
S	目標を大きく上回って達成	計画を大きく上回る進捗があり、予定を大幅に超える成果を得ている	130 以上
A	目標を上回って達成	計画が順調に進捗し、予定以上の成果を得ている	110～129
B	目標を達成	計画通り概ね進捗し、一定の成果を得ている	90～109
C	目標を下回っている	計画より進捗が遅れ気味で、成果もあまり得られていない	70～89
D	目標を大きく下回っている	計画より進捗が遅れており、成果はまだ得られていない	69 以下

- ② 各施策に対する意見・提案等のコメントを出していく。

2 部会の編成

部会	対象政策	担当委員	説明員	事務局
部会①	政策 01 明日を担い未来へつなげる人づくり 政策 02 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり 政策 07 自然環境の保全と特色ある景観づくり 政策 08 循環型社会をめざす生活環境づくり 政策 09 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西	大野委員 岡委員 ★谷勝委員 辻田委員 中野委員	生活環境部 大西部長 教育委員会 本玉部長	森山係長 岩野係長
部会②	政策 03 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり 政策 04 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	久米澤委員 後藤委員 高見委員 仁科委員 ★濱本委員	ふるさと創造部 千石部長 地域振興部 深江部長 都市整備部 末廣部長	後藤課長補佐 小山推進員
部会③	政策 05 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり 政策 06 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり 政策 10 健全な行財政運営の確立	上田尾委員 岸本委員 木下委員 ★杉山委員 松岡委員	総務部 奥隅部長 健康福祉部 高井部長	藤後課長 大西主事

※ ★は部会長

第5次加西市総合計画

施策評価一覧

(令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括)

総合計画施策評価一覧の見方

総合計画施策評価一覧
対象項目

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
【目標数値の達成度】・・・S：予定より早く進行、A：予定通り進行、B：予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
【事業の到達度】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている
【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
【総合評価】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている

基本 政策	施策	基本 計	戦略 アクション 番号	個票 ページ	行政内部による評価検証（１次評価）										審議会による外部評価（２次評価）										
					進捗 状況	目標数値の達成度			事業の 到達度	今後の 方針	総合 評価	R元取組状況	課題と今後の取組	総合 評価	意見・提案等										
						区分	単年 (R元)	最終 (R2)																	
1	1	誰もが学べる学習環境 づくり	1	5-88	5	②	B	88	88	C	②	B	公民館主催講座として様々な分野の講座を企画・実施し、昨年度よりも主催講座数が増え、たくさんの方々に受講いただくことができました。また、生涯学習に関する情報について、様々な媒体を活用し、情報提供を行いました。 公民館登録グループによる社会貢献活動推進のため、地域や団体からの要請で、各公民館に所属している登録グループが出前講座を行い、受講者・回数とも昨年度より大きく増えました。図書館サービスの拡充のため、学校等へ出向いてのイベント開催や、図書館見学の受け入れ、館内イベントの充実等を図りました。 加西市文化祭については、前年度と同水準の来場者がありました。また、第４回加西能に加えて、三木市で新作狂言を披露しました。	公民館の登録グループの高齢化と固定化が進み、解散する団体も出てきているため、主催講座の参加者が、自主的なグループ活動を展開できるよう支援に努めます。 出前講座を実施している登録グループは４分の１程度であるため、社会貢献活動を実施していないグループに対して、参加意欲を高めるよう、支援及び周知に努めます。 図書館サービス拡充のため、市内中学校対象に実施している巡回図書サービスを、R2年度から市内公立こども園へも拡大します。 芸術文化活動について、市民会館リニューアルが一段落するため、感染症流行の懸念はありますが、予防対策と会館利用率向上の両立を工夫します。											
																	3		7	②	B	88	84	C	②
																	4		8	②	S	104	104	A	②
																	5	5-83	9	②	S	120	120	A	②
1	2	主体的な青少年活動	1		11	②	B	78	70	C	②	C	事業として、今年度も加西サイサイ祭りにおいて「お化け屋敷大作戦」を実施し、中止となったため「お化け屋敷大作戦」も中止となり、他の事業の活性化が望ましくありません。また、小学校や市外の団体にもお化け屋敷の備品を貸し出す等の活動を行いました。各事業を通して若者団体との交流を図っています。 青少年の健全育成を目指す団体による「新春のつどい」には、約500名が参加しました。	青年連絡会の会員数減少に伴い、参画する事業数が減少しています。下サイサイ祭りが中止となったため「お化け屋敷大作戦」も中止となり、他の事業の活性化が望ましくありません。また、青年連絡会の新規会員の獲得がないことが大きな課題です。新規の団体や個人を募集し、活動の場を提供し、参加を促すような広報活動が必要です。											
			2		12	②	B	75	60	C	②														
1	3	地域で楽しめる体力づくり	1		13	②	B	89	89	C	②	B	スポーツを楽しめる機会の拡充として、アクアスカイ、アラジンスタジアム、体育施設の改修・修繕を行い利用者の利便性を向上させました。 地域の指導者養成として、ヴィッセル神戸からプロのコーチを招いての指導者養成講座を実施しました。 高齢者や障がい者を含めたスポーツ、レクリエーション活動の推進を図るため、バンディオンセによるサッカースクール、西宮ストークスによるバスケットボール教室やバドミントン教室を開催しました。	老朽化した体育施設の延命化を図るため、随時老朽箇所の修繕が必要です。また、利用者数の向上を図るため、他団体等と連携したスポーツ教室やイベントを開催する必要があります。 地域の指導者養成として、「教室」形式の指導者講習会が指導者と競技者が共に参加できているため、今後も競技種目を変えた講習会を開催していきます。 また、市民誰もがスポーツに親しめる環境を創るため、子どもから大人まで幅広い年代層が参加できるスポーツ教室を開催します。											
			2		14	②	B	70	67	C	②														
			3		15	②	S	148	141	S	②														
1	4	出会いを求める若者の 応援	1	1-17	17	②	B	80	80	B	②	B	出会いを求める若者を応援するため、平成29年度から加西市出逢いサポートセンターを立ち上げ、民間業者に委託しており、登録者に108回のお見合いの機会を設けました。 また、加西市出逢いサポートセンターの婚活セミナー、婚活イベントを、加西市商工会議所メンバーやふるさと創造会議と連携して開催しました。	令和元年中に４組が成婚されましたが、さらに成婚に結びつけられるようお見合いの機会を作るようにします。 また、引き続き、各地域のふるさと創造会議や商工会議所と連携し、イベントを開催していきます。											
			2		18	②	S	300	150	B	②														

1

2

各指標に対する実績を【評価シート】から転記

1 施策ごとの1次評価

各個票を確認しながら
1 施策ごとの2次評価をお願いします

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】・・・S：予定より早く進行、A：予定通り進行、B：予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている

基本政策	施策		基本計画	戦略アクションプラン	個票ページ	行政内部による評価検証（１次評価）										審議会による外部評価（２次評価）	
						進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	R元取組状況	課題と今後の取組	総合評価	意見・提案等	
							区分	単年(R元)	最終(R2)								
1	1	誰もが学べる学習環境づくり	1	5-88	5	㊦	B	88	88	C	㊦	B	公民館主催講座として様々な分野の講座を企画・実施し、昨年度よりも主催講座数が増え、たくさんの方々に受講いただくことができました。また、生涯学習に関する情報について、様々な媒体を活用し、情報提供を行いました。 公民館登録グループによる社会貢献活動推進のため、地域や団体からの要請で、各公民館に所属している登録グループが出前講座を行い、受講者・回数とも昨年度より大きく増えました。図書館サービスの拡充のため、学校等へ出向いてのイベント開催や、図書館見学の受け入れ、館内イベントの充実等を図りました。 加西市文化祭については、前年度と同水準の来場者がありました。また、第４回加西能に加えて、三木市で新作狂言を披露しました。	公民館の登録グループの高齢化と固定化が進み、解散する団体も出てきているため、主催講座の参加者が、自主的なグループ活動を展開できるよう支援に努めます。 出前講座を実施している登録グループは４分の１程度であるため、社会貢献活動を実施していないグループに対して、参加意欲を高めるよう、支援及び周知に努めます。 図書館サービス拡充のため、市内中学校対象に実施している巡回図書サービスを、R2年度から市内公立こども園へも拡大します。 芸術文化活動について、市民会館リニューアルが一段落するため、感染症流行の懸念はありますが、予防対策と会館利用率向上の両立を工夫します。			
			2		6	㊦	B	66	55	C	㊦						
			3		7	㊦	B	88	84	C	㊦						
			4		8	㊦	S	104	104	A	㊦						
			5	5-83	9	㊦	S	120	120	A	㊦						
1	2	主体的な青少年活動	1		11	㊦	B	78	70	C	㊦	C	若者広場事業として、今年度も加西サイサイ祭りにおいて「お化け屋敷大作戦」を実施し、多くの人が来場しました。また、小学校や市外の団体にもお化け屋敷の備品を貸し出す等の活動を行いました。各事業を通して若者団体との交流を図っています。 青少年の健全育成を目指す団体による「新春のつどい」には、約500名が参加しました。	青年連絡会の会員数減少に伴い、参画する事業数が減少しています。加西サイサイ祭りが中止となったため「お化け屋敷大作戦」も中止となり、他の事業の活性化が望まれます。 また、青年連絡会の新規会員の獲得がないことが大きな課題です。新規会員の獲得につながるような広報活動が必要です。			
			2		12	㊦	B	75	60	C	㊦						
1	3	地域で楽しめる体力づくり	1		13	㊦	B	89	89	C	㊦	B	スポーツを楽しめる機会の拡充として、アクアスカイ、アラジンスタジアム、体育施設の改修・修繕を行い利用者の利便性を向上させました。 地域の指導者養成として、ヴィッセル神戸からプロのコーチを招いての指導者養成講座を実施しました。 高齢者や障がい者を含めたスポーツ、レクリエーション活動の推進を図るため、バンディオンセによるサッカースクール、西宮ストークスによるバスケットボール教室やバドミントン教室を開催しました。	老朽化した体育施設の延命化を図るため、随時老朽箇所の修繕が必要です。また、利用者数の向上を図るため、他団体等と連携したスポーツ教室やイベントを開催する必要があります。 地域の指導者養成として、「教室」形式の指導者講習会が指導者と競技者が共に参加できているため、今後も競技種目を変えた講習会を開催していきます。 また、市民誰もがスポーツに親しめる環境を創るため、子どもから大人まで幅広い年代層が参加できるスポーツ教室を開催します。			
			2		14	㊦	B	70	67	C	㊦						
			3		15	㊦	S	148	141	S	㊦						
1	4	出会いを求める若者の応援	1	1-17	17	㊦	B	80	80	B	㊦	B	出会いを求める若者を応援するため、平成29年度から加西市出逢いサポートセンターを立ち上げ、民間業者に委託しており、登録者に108回のお見合いの機会を設けました。 また、加西市出逢いサポートセンターの婚活セミナー、婚活イベントを、加西市商工会議所メンバーやふるさと創造会議と連携して開催しました。	令和元年中に４組が成婚されましたが、さらに成婚に結びつけられるようお見合いの機会を作るようにします。 また、引き続き、各地域のふるさと創造会議や商工会議所と連携し、イベントを開催していきます。			
			2		18	㊦	S	300	150	B	㊦						

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】・・・S：予定より早く進行、A：予定通り進行、B：予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている

基本 政策	施策		基本 計画	戦略 アクション プラン	個票 ページ	行政内部による評価検証（１次評価）										審議会による外部評価（２次評価）	
						進捗 状況	目標数値の達成度			事業の 到達度	今後の 方針	総合 評価	R元取組状況	課題と今後の取組	総合 評価	意見・提案等	
							区分	単年 (R元)	最終 (R2)								
2	5	特色ある教育	1	5-82	19	②	A	100	100	B	②	B	合同研修会や相互授業参観、小小・小中合同授業・合同交流会が実施されるなど、小中連携教育が推進されました。また、小中連携推進プランに則り、4領域において9年間を見通した指導系統表を作成し、小中教員における共通理解を深めることができました。 小中学校の外国語教育充実のため、ALTの増員や地域住民の活用を行いました。 子どもたちの情報活用力向上に向け、文部科学省のGIGAスクール構想が開始され、整備計画を再検討しました。 教職員のキャリアステージやコースに応じた研修、新学習指導要領全面実施に向けた研修内容を検討し、講座を実施しました。 加西市中学校部活動ガイドラインの見直しのためのノー部活デー等の検討委員会を開催しました。 北条高校活性化では、河合塾によるゼミを「受験コース」、兵庫教育大学の学生を講師としたゼミを「基礎コース」を開設し、夏期講習を新たに実施しました。	令和3年度からの中学校の新学習指導要領の全面実施に向け、ALTを活用した教員研修の支援を行います。 文部科学省のGIGAスクール構想に伴う補助金を活用し、すべての小中特別支援学校において、児童生徒一人一台パソコンの導入を実施します。 共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育システムの構築を目指し、市内校園の特別支援教育コーディネーターの協議会を引き続き開催します。 部活動の活性化、顧問教員の負担軽減も含めた持続可能な部活動の在り方を検討するため、部活動指導者研修会を総合教育センターと実施します。 北条高校の学校規模が1クラス増となるよう、兵庫県教育委員会へ引き続き要望活動をするだけでなく、北条高校活性化協議会が実施する他の事業についても見直しを行います。			
			2		20	②	A	100	100	B	②						
			3		21	②	B	75	67	B	③						
			4		22	②	A	100	100	B	②						
			5		23	②	A	100	100	B	②						
			6		24	②	S	108	108	B	②						
			6	5-86		②	A	100	100								
			7	5-85	25	②	B	0	0	C	②						
8	5-87	26	②	S	102	102	B	②									
2	6	安全安心で潤いのある学校	1		27	③	—	—	100	A	①	B	学校整備について、特別支援学校の感覚学習室・体育館改修工事、加西中学校の職員トイレ改修工事、日吉小学校の特別教室改修工事を実施しました。 単独調理場の統廃合について、補助事業の採択により南部学校給食センター改築工事は開始されましたが、建築資材の調達に不測の期間が必要となったため、完成予定が大幅におくれています・	学校施設の改修工事について、昭和56年以前（旧耐震基準）に建築された建物は耐震化工事に合わせて、平成27年度までに改修を完了しましたが、以降に建設された建物は改修を行っていないため、老朽化が進んでおり計画的な改修が必要です。 また、単独調理場施設の老朽化が進んでいることから、南部学校給食センターの早期完成が必要です。			
						③	—	—	100								
				5-84		③	—	—	100								
			2		28	②	B	18	15	C	②						
			3		29	②	B	0	0	C	②						
2	7	地域に開かれた学校づくり	1	6-93	31	②	S	143	139	A	②	B	地域全体での学校支援について、平成30年度に引き続き、県事業も活用しながら、多くの地域人材にかかわっていただき、学校・地域の特性を生かした取組を推進することができました。 また、市内全学校において地域住民が学校教育を支援できる環境が整うとともに、児童生徒や協力員の交流の場としての機能を果たしています。 市内すべての小・中・特支学校において、オープンスクールを継続して行い、保護者や地域の住民に対して特色ある取組を周知するとともに、地域から信頼される学校づくりを推進しました。	地域人材のゲストティーチャーとしての活用を意図的・計画的に推進するとともに、継続に必要な新たな人材の発掘にも取り組むほか、コミュニティルームの設置などを進めていきます。 オープンスクールの実施内容については、児童生徒の姿を公開する機会を広げたり、さらに地域に周知する方法を検討、実践したりすることで、地域に信頼される学校づくりにつなげていきます。 学校評議員会、オープンスクール等だけでなく、保護者や地域住民からの意見等をもとに取組を充実させるとともに、地域に開かれたコミュニティ・スクールの導入を進めていきます。			
			2		32	③	—	—	100	B	①						
			3		33	②	B	86	80	C	②						

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】・・・S：予定より早く進行、A：予定通り進行、B：予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている

基本 政策	施策	基本 計画	戦略 アクション プラン	個票 ページ	行政内部による評価検証（１次評価）										審議会による外部評価（２次評価）		
					進捗 状況	目標数値の達成度			事業の 到達度	今後の 方針	総合 評価	R元取組状況	課題と今後の取組	総合 評価	意見・提案等		
						区分	単年 (R元)	最終 (R2)									
4	12	魅力ある中心市街地の 形成	1		71	㊟	S	300	100	B	㊟	B	市所有未利用地について、国正町・常吉町普通財産は、売却が完了となり、一般競争入札で応募者がなかった市有財産（普通財産）については、先着順の随時募集で公募を進めています。 空き店舗補助制度及び店舗・オフィス立地補助制度の周知及び運用に取り組むほか、空き家の利活用を検討されている相談者へ制度周知を行い、空き家バンクへの掲載に努めました。 新たな土地区画整理事業の推進として、「中野・下宮木地区」において、市街化区域にふさわしい利便性の高い魅力あふれるまちづくりを目指し、商業施設の進出を実現させることができました。 賃貸共同住宅の建設促進として、補助制度の継続申請を受け付けました。 空き家・空き店舗を活用したまちづくりとして、北条旧市街地のモデル拠点が互いに連携できる関係づくりの支援を行うほか、危険空き家の除去や狭あい道路の拡幅工事を行いました。	市所有未利用地について、北条東南医師住宅については、解体又はリフォーム等を含め売却方法を再考します。また、先着順の臨時募集で公募を進めている市有財産（普通財産）については、鑑定評価等を含め売却方法を再考します。 西高室地区区画整理事業について、早期に保留地を完売し、組合解散認可申請及び組合清算業務を行います。 空き店舗補助制度及び店舗・オフィス立地補助制度について、更なる制度周知を図るとともに、創業支援事業についても、関係機関と連携した取り組みを進めていきます。 空き家バンクの利用者の選択肢が増えるよう物件登録を増やしていく必要がありますので、引き続き、PRに努めます。また、加西空き家対策専門家協議会「えーがい加西」と連携し、居住可能物件については空き家バンクの登録に繋いでいきます。 商業施設の進出が実現した「中野・下宮木地区」において、地元まちづくり協議会が作成した「まちづくり構想」に基づき、地元まちづくり協議会・市・事業者が協働し、住宅団地整備を推進します。 景観形成について、引き続き助成制度のPRを行うなど、北条旧市街地の景観保全に努めます。			
			2	1-31	72	㊟	S	140	140	A	㊟						
			3		73	㊟	B	20	20	C	㊟						
						㊟	S	200	200								
			4		74	㊟	B	87	87	C	㊟						
						2-40	㊟	B	0								0
						2-43	㊟	B	20								20
						2-44	㊟	B	40								40
			5	4-77	76	㊟	S	260	260	S	㊟						
			6	1-25	77	㊟	B	0	0	C	㊟						
			7・8	1-27	78	㊟	—	—	151	S	㊟						
9	1-28	79	㊟	—	—	98	B	㊟									
10	4-74	80	㊟	B	0	0	A	㊟									
		11	4-78	81	㊟	S	107	107	A	㊟							
4	13	周辺地域の定住促進	1	3-63	83	㊟	B	0	0	C	㊟	B	「新規居住者住宅区域」について見直し（区域拡大）を行いました。また、移住促進による地域活性化を図るため、県下初となる住宅系加西独自基準となる店舗兼用住宅の建築が可能となる地域生活利便性回復型・増進型、地域住民小規模事業所などの指定を行いました。 若者向けの持ち家促進のため、家賃補助制度、持家補助制度を継続実施しました。定住促進施策として、産業（工業）団地及び市外在住者等へ制度の周知を図りました。 加西インター地区農村地域産業導入実施計画に定める導入すべき産業の業種に基づいた事業者の進出を決定しました。 鶉野飛行場跡地及び周辺の歴史遺産では、一体としたフィールドミュージアムとして整備するため、都市再生整備事業として、散策用歩道整備工事や防災備蓄倉庫外構工事等を行いました。また、空が広がるまち・ひとづくり交流事業として、地域活性化拠点施設建設工事設計、鶉野飛行場巨大防空壕におけるシアター映像制作等を行い、6月より毎月第1・第3日曜日に紫電改実物大模型の一般公開を行っています。	地域勤労者住宅区域や社宅への用途変更を可能とする制度について、関係機関と協議を進めます。また、宇仁地区への定住促進を図るため、補助制度を活用していきます。 加西市への定住促進施策として、家賃補助制度、持家補助制度を産業（工業）団地及び市外在住者等へ周知徹底していきます。 加西インター地区農村地域産業導入実施計画に基づき、ほ場整備事業と整合を図った土地利用を推進します。また、第1期事業（中国自動車道北側）における早期の企業立地を図り、第2期事業（中国自動車道南側）の土地利用計画を作成します。 鶉野飛行場跡地及び周辺の歴史遺産を一体とした地域活性化のための利活用を検討、実施し、地域活性化拠点施設の整備を行います。また、鶉野飛行場巨大防空壕におけるシアター映像の一般公開を開始し、観光誘客数の増加および来場者の満足度向上を図ります。			
				3-64		㊟	S	210	210								
				4-76		㊟	B	80	80								
						㊟	B	20	20								
			2		85	㊟	B	50	40	C	㊟						
			3	1-26 1-30	86	㊟	S	134	134	B	㊟						
						㊟	B	70	70								
			4	4-75	87	㊟	A	100	100	B	㊟						
			5	3-53	88	㊟	S	204	204	B	㊟						
			6		89	㊟	S	118	118	A	㊟						
			7	1-24	90	㊟	B	86	79	C	㊟						
8	1-29	91	廃止	廃止	廃止	廃止	廃止	廃止									
		9	2-35	92	㊟	S	200	200	A	㊟							
4	14	公共交通網の構築	1・2 6・9	1-1 4-69 4-71	93	㊟	S	106	106	B	㊟	B	公共交通の利用促進について、公共交通ガイド「かさいおでかけナビ」を作成し、コミバス・北条鉄道・路線バス・高速バスなどの時刻表や京阪神・関西3空港への行き方や市内の公共施設・医療施設・商業施設などへの交通機関でのアクセスを掲載するなど、分かりやすい情報提供に努めました。子どもだけでなく、高齢者へのバスの乗り方教室などを開催し、コミバス利用者増への営業活動を行いました。また、大学生等の通学定期券購入助成制度を開始しました。 公共交通の環境整備として、交通事業者と連携した路線の変更やバス停の新設や高速バス停南駐車場の整備に着手しました。また、宇仁郷まちづくり協議会と地域主体型交通の導入に向けた検討会を開催しました。 北条鉄道では、法華口駅行き違い施設整備の支援を行いました。	公共交通の今後の取組として、各交通機関の時刻改正にあわせて交通ガイドの更新や市内各施設に特化した時刻情報等の提供を行い、より分かりやすい情報提供を行います。また、大学生等通学定期券購入助成制度の広報および市内公共交通機関の利用促進策を検討します。 北条鉄道では、老朽化している鉄道施設や安全輸送設備を適切に整備更新していきます。さらに、コミバス利用者の新規開拓として、免許返納者への利用促進を行います。			
				㊟		B	88	88									
			3	1-1 4-71	94	㊟	S	106	106	A	㊟						
			4	1-1 4-69 4-71	95	㊟	S	106	106	B	㊟						
			㊟	B		88	88										
			5	4-69	96	㊟	B	88	88	C	㊟						
7・8	1-1 4-69 4-71	97	㊟	S	106	106	B	㊟									
			㊟	B	88	88											
4	15	住みよい住環境	1		99	㊟	S	106	105	A	㊟	B	道路網について、地域の生活や産業を支える基盤となっている基幹道路網整備と集落道路の改良工事に取り組みました。また、基幹道路を利用する自転車歩行者の安全確保のため、歩道整備に取り組みました。 計画的な維持補修として、橋梁利用者の安全確保のため、点検結果に基づき橋梁修繕工事に取り組みました。また、河川修繕工事及び河川浚渫にも取り組みました。	都市公園等の計画的な管理について、指定管理者と協働し、公園利用者の更なる増加に向けた取り組みを進めます。また、公園利用者の安全を確保するため、遊具などの施設の経年劣化に対し迅速な修繕を行い、更新についても検討を進めます。 史跡の整備については、補助事業のため、国・県の状況によりスケジュールの遅れが発生しています。国・県とスケジュールを調整し整備計画を変更する必要があります。			
			2		100	㊟	B	67	50	C	㊟						
			3	4-70	101	㊟	B	20	18	C	㊟						
						㊟	B	31	31								
			4		102	㊟	B	98	97	B	㊟						
			5		103	㊟	B	86	72	C	㊟						
			6		104	㊟	S	150	129	A	㊟						
		7		105	㊟	B	25	20	C	㊟							

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】・・・S：予定より早く進行、A：予定通り進行、B：予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている

基本 政策	施策		基本 計画	戦略 アクション プラン	個票 ページ	行政内部による評価検証（１次評価）							審議会による外部評価（２次評価）				
						進捗 状況	目標数値の達成度			事業の 到達度	今後の 方針	総合 評価	R元取組状況	課題と今後の取組	総合 評価	意見・提案等	
							区分	単年 (R元)	最終 (R2)								
5	16	社会参加を通じた生きがいづくり	1		107	②	S	122	120	A	②	C	高齢者を対象としたかしの木学園・生き活き元気塾については年々受講者も増加しており、自主的な企画運営を行っている講座もあります。 シルバー人材センターの運営補助により、働く意欲のある高齢者が、その能力や経験を生かして、生涯現役で活躍し続けられるよう支援しました。 障がい者の社会参加を促進するため、サロン事業の実施を支援しており、各団体で座談会や交流事業、ダンスイベント等の工夫した取組みを実施しています。 障害者就労支援員と連携し、窓口での就労支援のほか、ハローワークや特別支援学校、関係事業所と連携しての就労支援、定着支援を行いました。また、市役所内外おける職業訓練事業による就労支援や庁内バザーを継続して実施しました。	「生き活き元気塾」は健康に関心が高い参加者が多く、健康増進に寄与する一方で、サポートボランティアの確保が難しく課題となっています。 シルバー人材センターは雇用延長等の影響で60歳から69歳の新入会員が減少しており、事業拡大のため、補助金の増額を実施します。 障害者雇用に不安を持つ企業もあり、一般就労の拡大や雇用継続を図る支援を行います。就労支援員と連携し、特別支援学校生徒の進路指導を支援します。			
			2		108	②	B	70	68	C	②						
			3		109	②	B	64	60	C	②						
			4		110	②	B	61	60	C	②						
			5		111	②	B	95	96	B	②						
			6	3-61	112	②	B	0	0	C	③						
5	17	こころとからだの健康づくり	1		113	②	B	80	74	C	②	B	1歳～3歳未満の方を対象に引き続きおたふくかぜの予防接種費用を助成（上限3,000円）し、対象者への個別通知と広報で周知しました。 いずみ会は市内各園では健康ピラミッドを使ってバランスの良い朝ご飯の普及を行いました。また、子育て世代の親子、学生、高齢者にバランスのとれた食事のための調理実習を行いました。また、会員の研修会を数回開催し、会員の知識と技術向上に努めています。ゆうゆう会については、健康福祉まつりや市主催のウォーキング事業やラジオ体操事業等で普及活動を行いました。兵庫県特定不妊治療費、男性不妊治療費の助成を受けている夫婦に対し、上乘せでの助成を行いました。（各上限5万円）また、不育症の治療費助成を行いました。（上限15万円） 専用アプリ「加西健康アプリ」を作成し、2019年度の運動ポイント事業を実施しました。従来の40歳以上から20歳以上の加西市民に変更し、若い世代や健康づくりに無関心な市民へのポピュレーションアプローチを強化して取り組みました。	予防接種の拡充については、令和２年度より子ども（年少～小学６年）のインフルエンザ予防接種の助成を開始します。 いずみ会及びゆうゆう会の活動は、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、事業数が減ることが予想され、いずみ会会員や市民の健康と安全を考慮し、第2次食育計画に基づき、バランスの良い朝食や正しい食習慣を啓発していきます。ゆうゆう会は、H30年度から会員数が大幅に減ったため、運動ポイント事業等を活用し、新規会員の獲得を図ります。 こころの健康に関し、自殺率は平成28年以降横ばいであり、引き続き自殺対策の取組が必要です。自殺対策計画に沿って関係者との連携を図り、自殺対策の普及啓発、相談窓口の拡充を推進していきます。 歩くまちづくりの推進に関し、参加者に対して、健康づくりの重要性を伝え、健康意識を高めることで、自ら健康づくりを実践していただけるよう事業を展開することが今後の課題です。また、更に参加者を増やし、市民全体の健康づくりの底上げを図れるよう取り組みます。			
						5-80	②	B	97								97
							②	B	81								75
			2	1-2	115	②	A	100	100	B	②						
			3		116	②	—	—	C	②							
						②	B	51			50						
			4		117	②	S	106	104	A	②						
			5		118	②	B	77	73	C	②						
			6		119	②	S	115	111	A	②						
			7		120	②	—	—	C	②							
						②	—	—									
						②	B	87			82						
8	1-19	122	②	B	77	77	C	②									
9	5-79	123	②	S	223	223	A	②									
5	18	地域医療体制の充実	1		125	②	B	0	0	C	②	C	加西市新病院建設基本計画策定委員会による具体的な将来像を描き、新病院建設し、安定した地域医療の実現を目指します。住民の理解・共感が不可欠であるため、加西病院が地域において果たすべき役割について共に考える機会を設ける必要があると考えています。 引き続き地域の診療所及び病院と連携を取りながら、地域住民の生活を支えるため、市内唯一の二次救急の提供と、地域包括ケア病棟を活用した回復期医療の提供により、地域医療の安定と充実に寄与します。 平成27年度より開始した、年末年始休日歯科診療の市民への普及が必要です。体制を維持しつつも、適正な受診行動を市民に促すため「医療のかかり方」を周知する必要があります。				
			2		126	②	B	83	79	C	②						
			3		127	②	B	91	89	C	②						
			4		128	②	B	0	0	C	②						
			5		129	②	A	100	100	B	②						
			6	1-4	130	②	B	0	0	D	④						

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】・・・S：予定より早に進行、A：予定通り進行、B：予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている

基本政策	施策		基本計画	戦略 アクション	個票 ページ	行政内部による評価検証（１次評価）										審議会による外部評価（２次評価）	
						進捗 状況	目標数値の達成度			事業の 到達度	今後の 方針	総合 評価	R元取組状況	課題と今後の取組	総合 評価	意見・提案等	
							区分	単年 (R元)	最終 (R2)								
6	19	地域で支え合う安心の暮らし	1		131	②	S	116	112	C	②	C	配食サービスについてはR元年度より、委託事業から助成事業に変更したことで民間事業者が参入し、選択肢が増えました。 加西市社会福祉協議会に委託し、一般の交通機関では移動が困難な方を対象に、リフト付ワゴン車で通院や買い物等の送迎を、有償ボランティアの協力により行いました。 連携カフェでは子育て中の女性など若い世代も参加され、20歳台から高齢者まで幅広い世代の参加がありました。 各小学校区ごとの実施を目指しており、企画時点では網羅できていましたがコロナウイルス感染症の拡大防止のため北条地区(２小学校区分)の開催を中止しました。	一時相談窓口について、各中学校区に設置していたがフレイル予防・介護状態の悪化予防・認知症相談・家族の課題等、高齢者を取り巻く複雑化した状況に対し、より専門的な早期の相談支援を行う必要があります。 高齢者の移動手段確保のニーズが高まっていますが、公共交通との棲み分けが課題となっており、関係機関と調整のうえ、総合的な移送サービス事業を検討していきます。			
						②	B	62	61								
			2		132	②	B	67	67	C	②						
			3		133	②	B	82	82	C	②						
			4		134	②	S	118	109	A	②						
			5	5-81	135	②	B	31	31	C	②						
			6		136	②	B	82	82	C	②						
6	20	防犯・防災のまちづくり	1		137	②	B	83	82	B	②	B	令和元年度は、訓練補助が26団体265千円、資機材購入補助が55団体2,048千円で、合計2,313千円の補助を行いました。 地元からの防犯灯増設の要望等により、85灯を新設し、修繕においては、46灯の交換を行いました。 老朽危険空家所有者に対して、老朽危険家屋の取り壊しへの勧告、業者のあっせんを行い、台風時期までに取り壊しを完了出来ました。 市設置の防犯カメラを8台、自治会への設置補助を12台行いました。	令和２年度は小学校区毎に30本、市内合計約300本の防犯灯の設置を予定しています。 市内に設置している防犯カメラのデータ回収業務も追加し、より市内の安全安心の充実を図ります。 近年、高齢者における非常に危険な交通事故が多発していることを鑑み、より免許証自主返納に対する啓発を行います。 市内には、多数の老朽危険空家が存在するため、近隣や歩行者に危害が及ぶ前に撤去していきたいと思います。			
			2	5-89	138	②	B	80	80	B	②						
						②	S	306	275								
			3		139	②	S	101	99	B	②						
			4		140	②	A	100	100	B	②						
			5		141	②	A	100	100	B	②						
			6		142	②	B	60	60	B	②						
			7		143	②	S	203	162	S	②						
6	21	安心できる子育て支援	1	1-6	145	②	B	80	80	C	③	B	公立の子育てひろば（「ほくぶキッズ」、「ぜんぼうキッズ」）の2施設では、各ひろばの指導員が、乳幼児の健診会場に出向き、ひろばのPRに努めました。私立の子育てひろば（「いちごクラブ」、「愛の光キッズ」）の2施設では、同ひろばを所管する認定こども園への体験入園を通して、保護者の呼び込みを行いました。 令和元年度より3歳児健康診査に視覚検査スクリーニング機器を導入したことで、必要な方が早期に治療につながり健診内容の充実を図ることができました。 令和2年4月の開園に向けて、公立園では「泉よつばこども園」を整備し、あわせて賀茂幼児園を認定こども園としました。 令和元年10月から国の施策により、3～5歳児の保育料が無償化となり、加西市独自の4～5歳児の保育料無償化から、3歳児まで対象年齢を拡大することができました。 病児・病後児保育事業に関する保護者への周知を継続的に実施し、昨年引き続き、保護者が集うこども園の行事に出向き、啓発活動を行いました。	昨年度に引き続き公立の子育てひろばの支援員に県の子育て支援員研修を受講させ、専門的知識の習得と相談員としての技能向上を図ります。 すでに定員超過の園もあり、その他の園においても入園希望者が増加しているため、定員拡大のための整備が必要です。 1園残る北条保育園は、令和2年度中に認定こども園として建て替えます。 子育て世帯の経済的負担を軽減するため、令和２年度から現行の支給制限（所得制限）を廃止し、医療費助成を拡大します。 働き方改革制度の周知とともに、くるみん認定制度、えるぼし認定制度等の子育て世帯にやさしいサービスの実施や、子育てしやすい職場の環境整備に取り組む企業を支援するための制度の説明等を、関係機関と連携し実施します。 検討の結果、屋内遊具施設の誘致は採算が合わず難しいですが、市が設置する方向で、R2年度に実施設計の予算を計上しました。			
			2	1-20	146	②	B	76	76	C	②						
			3	1-6	147	②	B	80	80	C	②						
			4		148	②	S	246	215	S	②						
			5	1-23	149	②	B	93	93	C	②						
			6	1-22	150	②	A	100	100	B	②						
			7	1-12	151	③	A	100	100	A	①						
				1-7		①	—	—									
			8	1-13	152	②	S	113	113	A	②						
			9	1-21	153	②	A	100	100	B	②						
			10	1-18	154	②	B	92	91	C	②						
			11	1-3	155	②	S	300	300	S	③						
			12	1-5	156	②	B	0	0	C	②						
			13	1-8	157	②	A	100	100	B	②						
			14	1-9	158	②	B	85	73	C	②						
			15	1-10	159	②	B	0	0	D	②						
			16	1-11	160	①	—	—	—	D	④						
			17	1-14	161	②	S	354	354	A	②						
			18	1-15	162	②	B	91	91	B	②						
19	1-16	163	②	B	68	68	B	②									

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】・・・S：予定より早く進行、A：予定通り進行、B：予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている

基本 政策	施策		基本 計画	戦略 アクション プラン	個票 ページ	行政内部による評価検証（１次評価）										審議会による外部評価（２次評価）	
						進捗 状況	目標数値の達成度			事業の 到達度	今後の 方針	総合 評価	R元取組状況	課題と今後の取組	総合 評価	意見・提案等	
							区分	単年 (R元)	最終 (R2)								
7	22	自然と共生する里地里 山づくり	1		165	②	A	100	100	B	②	B	集落共有林等の山林を整備することにより美しい里山の再生を図るため、10団体に対し補助金を交付しました。 市内の自然環境保全について、希少植物であるカタクリの生育が知られる周遍寺野生生物保護地区の植生調査を行い、その植生の保全策を検討しました。また、「兵庫県立人と自然の博物館」と連携したバスツアーにはたくさんのご応募がありました。 ため池改修は、事業実施を9池、調査設計を4池実施しました。 有害鳥獣対策として、金網柵を新規に9地区設置しました。 放棄地の発生を未然に防ぐため、集落営農組織、認定農業者等への農地の集積を図りました。また、多面的機能支払交付金を活用し、各地域において農地維持活動に努めました。	動植物生態調査関係について、本市はあびき湿原・周遍寺地区以外にも多くの希少な動植物が存在するため、今後、計画的に市内の動植物生態調査を実施します。兵庫県立人と自然の博物館関係についても、毎年参加者以上の応募がある人気ツアーであるため、幅広い世代に関心をもってもらえるよう今後も継続的に事業を実施します。 有害鳥獣対策は、新たに被害が発生している南部地域を中心に、金網柵を設置するとともに、有害鳥獣の直接駆除により個体数管理を適切に行い被害額の軽減に努めます。 耕作放棄の解消と農地の有効活用については、果樹参入希望者の増に伴う耕作放棄樹園地の再整備を検討する必要があります。			
			2		166	②	A	100	100	B	③						
			3		167	②	A	100	100	B	②						
			4		168	②	A	100	87	B	②						
			5		169	②	S	144	141	S	②						
			6		170	②	B	50	50	C	②						
7	23	加西の風土を活かした 景観づくり	1		171	②	S	167	150	A	②	B	観光関連パンフレットでは、観光ガイドブックの刷新、「カサブランカ」「播磨の国宝巡りパンフレット」を発行し、バスツアーとスタンプラリーを実施しました。 加西の魅力発信として、加西能を開催したほか、こども狂言塾が市外の舞台に出演しました。また、インスタグラム部門が、大幅に投稿数が伸びました。 景観づくりでは、屋外広告物の違反広告物パトロールを実施し、違反広告物に対し是正指導を行いました。また、土地利用については、開発事業の事前調整を図りました。 花咲くまちづくりとして、フラワーセンター・播磨農高と協働し、加西市の美しい環境を彩る「花咲くまちづくり活動」の推進に努めました。また、花づくりボランティアや老人会会員が花苗の育苗・植栽作業に取り組んで頂き、生きがいや交流の場を創出することができました。	今後の観光PRとして、喝采みやげ、加西西国33所のパンフレットを更新します。 加西市こども狂言塾生募集を市内外小学校に行い、継続していきます。 景観づくりについて、建築物の許可及び確認申請を利用し、適切な屋外広告物の新規申請の指導や違反広告物の是正指導に努めます。また、引き続き、開発事業者との事前協議と適切な指導に努めます。 花咲くまちづくりについて、花苗・土などの資材単価が高騰していますが、指標目標とする「住民ボランティアによる植栽数11万ポット」の配布を達成するよう努めます。			
			2	6-92	172	②	S	575	551	A	②						
			3		173	②	B	71	41	C	②						
			4		174	②	B	63	63	C	②						
			5		175	②	A	100	100	B	②						

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
【目標数値の達成度】・・・S：予定より早く進行、A：予定通り進行、B：予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
【事業の到達度】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている
【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
【総合評価】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている

基本 政策	施策		基本 計画	戦略 アクション プラン	個票 ページ	行政内部による評価検証（１次評価）										審議会による外部評価（２次評価）	
						進捗 状況	目標数値の達成度			事業の 到達度	今後の 方針	総合 評価	R元取組状況	課題と今後の取組	総合 評価	意見・提案等	
							区分	単年 (R元)	最終 (R2)								
9	28	情報公開と住民自治の まちづくり	1		197	②	B	25	25	C	①	B	新たな「地域おこし協力隊」隊員を募集しましたが、応募が無かったため、令和元年度は、3期生1名のみで活動するとともに、若者ターミナルスポットの「COCOKARA」では、カフェ、ハンドアロママッサージなどを実施し、起業セミナーも3度実施しました。 「ふるさと創造会議」において、地域再生アドバイザー派遣事業の実施、集落連携計画（まちづくり計画書）の策定、地域づくり支援セミナーの開催、「はつらつ委員会」と「ふるさと創造会議」との連携・統合に向けての説明会を実施しました。 ふるさと創造条例を全面改定し、協創のまちづくり条例とするとともに、住民との情報共有を図るため、令和元年7月と10月～11月にかけて、通算2回タウンミーティングを実施し、市民から出た意見や要望とともに、各担当の回答を市ホームページに掲載しました。 「集落支援員制度」の配置を検討するため、活用している自治体への視察を実施しました。	地域おこし協力現隊員が令和2年度で任期満了となるため、同事業については、令和2年度で終了とします。 COCOKARAは社会活動の参加者を増やすために、SNSや各種広報媒体で参加を促し、今後多様な活動が行われる場所として提供していきます。 加西市の地域特性に則した自治会組織及びふるさと創造会議の役割やあり方の検討や島根大学とのまちづくり共同研究、地域づくりアドバイザー会議の実施を検討します。 現在、小学校区を巡回する形で、タウンミーティングを実施し、主に区長さんら役員の方々が出席していただき実施していますが、さらに幅広い世代から広聴する場を設けることが課題であり、住民企画型のタウンミーティングの開催の推進を図ります。 「集落支援員制度」の本格的な導入実施に向けての検討や各創造会議へのヒアリング、説明会の実施を行います。			
				6-91		②	B	17	17								
			2		198	②	B	76	54	C	②						
				6-90		②	B	27	27								
			3		199	②	S	188	188	A	②						
			4	4-73	200	②	A	100	100	B	②						
			5		201	②	A	100	100	B	②						
		6	4-72	202	①	B	0	0	D	③							
9	29	自己実現と共生のまちづ くり	1		203	②	B	48	40	C	②	B	男女共同参画の意識啓発の映画上映や、女性の起業相談、就職セミナー、講演会などを開催しました。 市職員向けの研修を開催し、女性活躍推進や男女共同参画に取り組みました。女性が主体となった「女子カフェ」を定期的で開催し、女性活動推進に取り組みました。 ねひめカレッジによる日本語教室の運営、長期休暇中は学習をサポートします。また、ねひめニュースレターで情報発信をし、国際理解講座「世界のとびら」を開催しました。 人権文化をすすめる市民のつどいで、表彰や講演会を実施しました。地区人権学習会、まちかどフォーラム、加西市人権教育協議会と連携した太鼓づくり教室、人権フィールドワーク、人権問題の上映会などを開催し、また、自治会や事業所等が開催する研修会への講師派遣、資機材の貸出等を行い、公民館活動グループ等の人権研修会を実施しました。	令和2、3年度に男女共同参画計画書の策定にあたり、現状把握、啓発活動を実施します。女性管理職の割合が低いため、引き続き、ワーク・ライフ・バランスの研修を開催し、女性が活躍できる環境づくりと意識改革に取り組みます。 学校の授業についていけない児童や保護者に日本語教室を開室し、外国人に対応していきます。幅広く会員数を増やし、国際理解の輪を広げ、中高生の国際交流の場を実施します。地区人権学習会、まちかどフォーラムについて、内容等について工夫をしています。また、インターネット等新たな人権課題解決のために、人権学習会の必要性を伝えていきます。自主参加型の学習機会を実施し、講師派遣や資機材貸出などの支援策を充実し、自ら人権に興味、関心が高まるよう努めています。			
			2		204	②	B	53	35	C	②						
			3		205	②	B	60	60	C	②						
			4		206	②	S	453	408	S	②						
			5		207	②	S	117	113	A	②						

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】・・・S：予定より早く進行、A：予定通り進行、B：予定より遅延 ※掛付けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている

基本 政策	施策		基本 計画	戦略 アクション プラン	個票 ページ	行政内部による評価検証（１次評価）										審議会による外部評価（２次評価）	
						進捗 状況	目標数値の達成度			事業の 到達度	今後の 方針	総合 評価	R元取組状況	課題と今後の取組	総合 評価	意見・提案等	
							区分	単年 (R元)	最終 (R2)								
10	30	行政サービスの向上と効率経営		1		209	②	S	102	102	A	②	B	職員数の適正化において、行政職は新規採用を退職補充程度としつつ、技能労務職は再任用制度の活用し、当初目標と比較し正規職員を７名減としました。 第６次総合計画及び地域創生戦略の策定に向けて、市民・中高生アンケートやワークショップ、団体ヒアリング等を行い、元気なまちづくり市民会議を計６回開催し、検討を行いました。 定住自立圏の取組みでは、共生ビジョン懇談会（圏域内の有識者で構成）の回数を増やし、例年実施の評価検証・総括、次期計画事業の策定を行いました。 計画的な財政運営について、基金残高は、平成30年度決算の実質収支が黒字となり、うち1億6千5百万円を財政調整基金に積立てた結果、減債基金と合計で23億円となりました。 市債残高は、こども園・給食センターの建設事業、加西インター産業団地整備事業等の起債により増加したが、目標の範囲内となっています。 市税及び公共料金の収納の向上については、県整理回収チームから得た滞納整理のノウハウを活用し、生活状況の把握による適正な分割納付金額の設定、財産調査の強化、悪質滞納者に対しての様々な手法による積極的な差押等を実施しました。	市民ニーズの多様化に加え、新規事業の増加や制度改正等により業務量は増加している状況にあり、働き方改革を推進しつつ組織運営に必要な人員を確保する必要があります。 令和2年度の決算で基金の取崩のないように歳入確保・歳出抑制に努め、標準財政規模の２割程度の基金を維持するとともに、新たな起債の発行にも注意を傾けながら市債残高の増加を抑制し、持続可能な財政運営を目指します。 新型コロナウイルスの影響による収入の減少が考えられることから、納税相談のあった納税者の状況を丁寧に聞き取りの上、徴収猶予や分割納付、または分割納付金額の緩和など柔軟に対応していきます。一方、資力があながら納税しない悪質滞納者には、昨年度同様、様々な手法による積極的な差押等を実施していきます。 公共事業入札において、入札執行者及び入札参加者の人的負担を軽減するため電子入札システム導入を進めます。		
				2		210	②	B	33	33	C	②					
			3・8	6-95	211	②	B	93	93	A	②						
			4		212	②	—	—	—	B	②						
			5	6-94	213	②	B	96	96	B	②						
						②	S	105	103								
						②	B	95	95								
						②	S	104	107								
			6		215	②	S	173	172	S	②						
			7		216	②	S	131	131	B	②						

第5次加西市総合計画

評価シート

(令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括)

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括シートの見方

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

1
対象
項目

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり								
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 公民館を中心に生涯学習機会の充実と情報発信を推進します。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	生涯学習課		
評価検証									
実施スケジュール	2 基本計画を推進するためのR元取組内容		R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・積極的な情報提供 ・学習内容の充実及び多様な生涯学習機会の提供				・積極的な情報提供 ・学習内容の充実及び多様な生涯学習機会の提供			
	経費(千円)	3 R元決算(見込)額				3,505	3,430		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
★公民館主催年間講座数【5-88】 (1回だけの単発講座を除く)		目標	当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
		実績	—	40	39	37	39	44	R元の実績値
(指標及びR2目標値の設定理由) 生涯学習の中核機関である公民館の主催講座数。 現状数をほぼ維持。		目標数値の達成度	単年度	100%	93%	84%	85%	88%	
			最終年度	80%	78%	74%	78%	88%	
具体的な状況		R元取組状況							
		公民館主催講座として、連続講座44と単発講座10、合計54講座を開催し9,056人が受講しました。各公民館ごとに健康づくりから、歴史、地域、料理、趣味など様々な分野の講座を企画しました。 また、生涯学習に関する情報については、市広報誌やチラシのほか、公民館ブログや新たなアプリを含むSNS等、さまざまな媒体を活用し、情報提供を行いました。							
状況」を踏まえた課題とR2年度の取組		課題と今後(R2)の取組							
		自主的に学ぶ登録グループの高齢化と固定化が進み、解散する団体も出てきています。 公民館主催講座の参加者が、自主的なグループ活動を展開できるよう支援に努めます。 現行グループについては、引き続き出前講座のコーディネートに努めます。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	88%	88%	C：目標を下回っている			②継続	
備考		8 ①未着手 ②実行中 ③完了		9 S：予定より早く進行 A：予定通り進行 B：予定より遅延 評価の目安 ※単年(R元)参照 ・101%以上 → S ・100% → A ・99%以下 → B		10 基本計画の推進に対する自己評価 S：目標を大きく上回って達成 A：目標を上回って達成 B：目標を達成 C：目標を下回っている D：目標を大きく下回っている		11 ①完了 ②継続 ③見直し	
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
子どもから高齢者まで、学びたい人が学べるよう各世代を対象としたさまざまなテーマの講座を開催しています。特に高齢者の学習意欲が高く、年々シニアカレッジ「かしの木学園」の受講者が増えています。また、健康に意識が高い方が多いので、体操や健康の講座も充実させています。					社会問題や地域の課題を拾い上げ、地域の団体や関係機関等と連携し、それをテーマに講座を開催する必要があります。 引き続き、教養や趣味の講座と、社会や地域の課題をテーマにした講座を開催します。				

追加
項目

12 H28年度からR元年度までの取組の総括

13 残された課題・新たな課題と次期計画の方向性

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり								
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 公民館を中心に生涯学習機会の充実と情報発信を推進します。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	生涯学習課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・積極的な情報提供 ・学習内容の充実及び多様な生涯学習機会の提供					・積極的な情報提供 ・学習内容の充実及び多様な生涯学習機会の提供		
	経費(千円)	3,095					3,430		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★公民館主催年間講座数【5-88】 (1回だけの単発講座を除く)		目標		40	42	44	46	50	50
		実績	—	40	39	37	39	44	
(指標及びR2目標値の設定理由) 生涯学習の中核機関である公民館の主催講座数。 現状数をほぼ維持。		目標数値 の達成度	単年度	100%	93%	84%	85%	88%	
			最終年度	80%	78%	74%	78%	88%	
R元取組状況	公民館主催講座として、連続講座44と単発講座10、合計54講座を開催し9,056人が受講しました。各公民館ごとに健康づくりから、歴史、地域、料理、趣味など様々な分野の講座を企画しました。 また、生涯学習に関する情報については、市広報誌やチラシのほか、公民館ブログや新たなアプリを含むSNS等、さまざまな媒体を活用し、情報提供を行いました。								
課題と 今後(R2)の取組	自主的に学ぶ登録グループの高齢化と固定化が進み、解散する団体も出てきています。 公民館主催講座の参加者が、自主的なグループ活動を展開できるよう支援に努めます。 現行グループについては、引き続き出前講座のコーディネートに努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	88%	88%	C：目標を下回っている	②継続			
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
子どもから高齢者まで、学びたい人が学べるよう各世代を対象としたさまざまなテーマの講座を開催しています。特に高齢者の学習意欲が高く、年々シニアカレッジ「かしの木学園」の受講者が増えています。また、健康に意識が高い方が多いので、体操や健康の講座も充実させています。					社会問題や地域の課題を拾い上げ、地域の団体や関係機関等と連携し、それをテーマに講座を開催する必要があります。 引き続き、教養や趣味の講座と、社会や地域の課題をテーマにした講座を開催します。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり								
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 公民館登録グループによる社会貢献活動推進のため、研修会やコーディネート等の活動支援を行います。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	生涯学習課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・「公民館まちづくり出前講座」制度の拡充					・「公民館まちづくり出前講座」制度の拡充		
	経費(千円)	0					0		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
公民館登録グループ社会貢献活動コーディネート制度(公民館出前講座)参加グループ数		目標		30	35	40	45	50	60
		実績	—	25	29	21	26	33	
(指標及びR2目標値の設定理由) 出前講座実施グループ実数。10年後に約半数のグループが実施と設定。		目標数値の達成度	単年度	83%	83%	53%	58%	66%	
			最終年度	42%	48%	35%	43%	55%	
R元取組状況	地域や団体からの要請で、各公民館に所属している33の登録グループが出前講座を行いました。 今年度は特に老人クラブや各町の敬老会、サイサイまつりなどへの依頼が増え、昨年度より6,214名多い9,706人が受講しました。また、回数も昨年度の52回から87回に大きく増えています。								
課題と今後(R2)の取組	124の登録グループのうち、出前講座を実施しているグループは4分の1程度で、目標数値には達していません。 社会貢献活動を実施していない団体に対して、参加意欲を高めるよう、支援及び周知に努め、コーディネートをしていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	66%	55%	C：目標を下回っている			②継続	
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
公民館主催講座から自主活動となる登録グループを立ち上げるよう支援していますが、一方で既存の登録グループの高齢化が進み、解散する団体が年々増加しています。 出前講座を行ったグループは、地域を越えて全市を対象に積極的に活動をしています。					登録グループの高齢化と、社会情勢により、年々登録グループが減少しています。 公民館主催講座への参加者が登録グループを立ち上げ活動できるよう支援し、学んだことを地域住民に還元できるよう取り組みます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり								
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 幅広く高度な情報が提供できるよう館外における図書館サービスを拡充します。また、播磨管内図書館での貸出が可能となり、読書の機会充実に努めます。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	図書館			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・学校図書館コーディネーターの活用による学校図書館との連携の充実 ・各種イベントの充実					・学校図書館コーディネーターの活用による学校図書館との連携の充実 ・各種イベントの充実		
	経費(千円)	115,707					273,041		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
年間図書館来館者数(万人)		目標		23	23	23	24	24	25
		実績	26	23	22	23	22	21	
(指標及びR2目標値の設定理由) 図書館への来館者数の減少傾向をストップし、増加を目指す。		目標数値の達成度	単年度	100%	96%	100%	92%	88%	
			最終年度	92%	88%	92%	88%	84%	
R元取組状況	こども園・幼児園、小学校、中学校に出向き、ブックトークやおはなし会を開催しました。また、小・中・特別支援学校へ団体貸出託送サービスを行ったり、学校図書館の相談や本の整理作業を手伝いました。館内では、図書館まつりや絵本講座、子ども読書週間、夏休みキッズクラフトなどのイベントを開催、月ごとに、本の特集を各コーナーで設けました。また、小学校・特別支援学校から図書館見学があり、館内の案内と本の貸出しを行いました。								
課題と今後(R2)の取組	市内中学校対象に実施している巡回図書サービスを、R2年度から市内公立こども園へも拡大します。また、引き続き学校図書館や図書コーナーに関する相談に乗り、児童・生徒が利用しやすい魅力ある学校図書館になるようお手伝いします。館内においては、従来のイベントに加え、映画会等の新規来館者を開拓するイベントの開催、市民から利用したいと思われる図書館への環境整備や雰囲気づくりに取り組み、新たな来館者の増加に努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
		②実行中	B：予定より遅延	88%	84%	C：目標を下回っている		②継続	
備考									
経費については、空調設備改修工事に係る増額要求額です。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
学校に出向いてのおはなし会や学校図書館の整理等、学校との連携は順調に進んでいます。館内でも、季節ごとや時期にあった展示や特集、イベントを開催しています。しかしながら、来館者数は漸減しています。					少子高齢化や情報通信手段(パソコン・スマートフォン等)の普及による読書離れにより来館者数が減少しています。館内でのイベントも実施していますが、参加者は固定されているようです。もっと加西市立図書館をPRすることで、新規の来館者を呼び込む必要があります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり								
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 芸術文化の薫り高い市民生活を創出します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	文化・観光・スポーツ課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・加西市文化連盟の指導・育成 ・加西市文化祭の開催 ・加西市民会館コミュニティセンター耐震改修事業(改修工事) ・加西能の開催 ・東はりまみんよう大会					・加西市文化連盟の指導・育成 ・加西市文化祭の開催 ・加西市民会館コミュニティセンター耐震改修事業(改修工事) ・加西能の開催		
	経費(千円)	107,784					323,332		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
加西市文化祭参加者人数		目標		2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
		実績	—	2,440	2,791	2,875	2,505	2,505	
(指標及びR2目標値の設定理由) 加西市文化祭参加者人数(出演者・出品者)について一定の水準を維持するよう、27年度の実績をもとに目標値として設定した。		目標数値の達成度	単年度	102%	116%	120%	104%	104%	
			最終年度	102%	116%	120%	104%	104%	
R元取組状況	加西市文化祭参加者については、コミセン耐震改修工事のため、会場が善防公民館・地域交流センター・福祉会館及び文化ホールと分散したものの、目前年度と同水準の来場者がありました。令和元年度の持回り事業であった東はりまみんよう大会でも、東播磨北播磨より多数の来場者がありました。また、第4回加西能に加えて、御坂神社(三木市)での新作狂言「根日女」を披露、三木市との連携事業を実施しました。コミセン改修については、8月に工事請負契約を締結し、令和元年度中に46%の工程を完了しました。								
課題と今後(R2)の取組	加西市文化祭については、来場者も順調に推移していますが、今後は文化連盟内での相互交流等により、文化祭および文化連盟のさらなる活性化を図っていきます。加西能の今後については、新たな事業展開(舞台)を模索し、事業の継続・発展を目指します。また、令和2年度中にはコミュニティセンター耐震改修工事完了により、市民会館リニューアルが一段落するため、感染症流行の懸念はありますが、予防対策と会館利用率向上の両立を工夫します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	104%	104%	A：目標を上回って達成		②継続		
備考									
H30取組内容追加(ふれあいの祭典兵庫短歌祭) R元経費修正、取組内容追加(東はりまみんよう大会) R2経費修正、取組内容追加(加西市民会館コミュニティセンター耐震改修事業(改修工事))									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
加西市文化祭は秋の芸術文化事業として定着しており、多数の来場者が芸術の秋を満喫されるなど、一定の評価を得ています。					加西市文化祭は秋の恒例行事となっていることから、前例踏襲になりがちですが、このままでは関係団体の高齢化が懸念されます。そのため、芸術の裾野を広げるべく、時代の変化を反映しつつ、他団体と連携した事業開催や、これまでとは異なる世代を対象とした試みなどについて、関係団体と協力しながら少しずつでも進めたいと考えています。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり								
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 ★地域での子どもの共育活動を推進します。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	総合教育センター		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・学校家庭地域が連携し、土曜日に教育活動を実施 ・6校区で実施					・学校家庭地域が連携し、土曜日に教育活動を実施 ・子どものニーズに合わせた内容の充実		
	経費(千円)	2,707					3,036		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★土曜チャレンジ学習事業(校区)【5-83】		目標		3	5	5	5	5	5
		実績	—	3	5	7	7	6	
(指標及びR2目標値の設定理由) 学校家庭地域の連携協力推進事業のうち、代表的な事業の土曜日の教育活動事業の実施校数。小学校区の約半数と設定。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	140%	140%	120%	
			最終年度	60%	100%	140%	140%	120%	
R元取組状況	北条小、北条東小、下里小、九会小、富合小、泉小校区にて、学校や地域団体と連携し、土曜日等学校休業日に様々な教育活動を実施しました。延べ49教室を開催し、延べ1,968名もの小学生が参加する事業となっています。								
課題と今後(R2)の取組	今後も学校や地域団体、家庭との連携・協働を推進し、子ども達が地域で多様な他者と関わり、学ぶ教育活動を継続するとともに、魅力ある活動を目指します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	120%	120%	A：目標を上回って達成			②継続	
備考									
・内容の充実及び会計年度職員制度による報償費設定のため増額します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
実施校数の増減はありますが、目標値を達成するとともに、子どもたちのニーズに合わせながら、多様な活動が展開されています。多くの子ども達が参加し、好評を得ています。					多様な活動が展開される反面、それまでの打ち合わせや準備などに時間を要することがあります。特に学校担当者の負担軽減につながるよう、地域コーディネーターを活用しながら推進していきたいと考えています。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	2 主体的な青少年活動								
到達目標	青少年の健全かつ自主的な活動を推進するため、それを支える人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 様々な地域事業に参画し、青少年活動事業の充実を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	総合教育センター		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・地域事業に参画 ・うれしの春のフェスティバル ・東日本支援事業（ハチドリ祭り）に参画 ・夏祭り大作戦 ・クリスマス大作戦 ・成人式 ・交流会（年間7回）					・地域事業に参画 ・クリスマス大作戦 ・交流会（年間7回）		
	経費（千円）	158					88		
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
若者広場年間事業数（回）	目標			6	7	7	8	9	10
	実績	3	6	5	6	7	7		
（指標及びR2目標値の設定理由） 参画する地域事業の回数を示すもので、当初値から3倍を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	71%	86%	88%	78%	
			最終年度	60%	50%	60%	70%	70%	
R元取組状況	加西サイサイ祭りにおいて「お化け屋敷大作戦」を実施し、多くの人が来場しました。また、小学校や市外の団体にもお化け屋敷の備品を貸し出す等の活動を行いました。各事業を通して若者団体との交流を図っています。								
課題と今後(R2)の取組	青年連絡会の会員数減少に伴い、参画する事業数が減少しています。加西サイサイ祭りが中止となったため「お化け屋敷大作戦」も中止となり、他の事業の活性化が望まれます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	78%	70%	C：目標を下回っている			②継続	
備考									
会員数の減少に伴い、参画する行事を見直します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
「お化け屋敷大作戦」は加西サイサイ祭りの恒例行事となり、多くの来場者にも喜ばれています。					「お化け屋敷大作戦」以外の事業が他団体との交流会であったり、スタッフであったりと単独の事業がありません。会員数の増加と事業の活性化を図ります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	2 主体的な青少年活動								
到達目標	青少年の健全かつ自主的な活動を推進するため、それを支える人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 地域のお兄さん、お姉さん、あるいはおじさん、おばさんとして、より近い立場で青少年に接していく青少年団体連絡協議会の育成と支援を行います。また青少年活動指導者の確保・育成を行います。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	総合教育センター		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・デイキャンプ ・ご来光のつどい ・とんど焼き				・デイキャンプ ・ご来光のつどい ・とんど焼き			
	経費(千円)	230				230			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
青少年団体連絡協議会登録者数(人)		目標		30	30	30	40	40	50
		実績	—	30	30	30	30	30	
(指標及びR2目標値の設定理由) 青少年団体連絡協議会の各団体の登録者の合計人数を示し、事業内容をもとに50名を設定		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	100%	75%	75%	
最終年度	60%		60%	60%	60%	60%			
R元取組状況	青少年の健全育成を目指す団体の指導者が、長年にわたり熱心に活動しています。夏のデイキャンプも小学生には好評です。恒例の「新春のつどい」には、約500名が参加しています。								
課題と今後(R2)の取組	新規会員の獲得がないことが大きな課題です。新規会員の獲得につながるような広報活動が必要です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	75%	60%	C：目標を下回っている			②継続	
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
毎年恒例の「新春のつどい」には多くのスタッフが運営にあたり、多くの来場者を迎えています。来場者の多くは、毎年参加しており、楽しみにしています。					新規会員の獲得が大きな課題です。会員の獲得につながるような広報活動が必要です。また、「デイキャンプ」「新春のつどい」ともに、コロナウイルス感染の状況によっては、開催が危ぶまれます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	3 地域で楽しめる体力づくり								
到達目標	施設の活用と指導者の育成によって、誰もが気軽にスポーツ、レクリエーション活動に親しめるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 住民のニーズに合わせた施設の有効活用を行い、住民が身近な場所でスポーツを楽しめる機会を拡充します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・体育施設改修 ・スポーツ交流事業の実施 ・駐車場整備(アクアスカイ)					・体育施設改修 ・スポーツ交流事業の実施		
	経費(千円)	16,159					2,000		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市が所管するスポーツ施設の年間利用者数(人)		目標		89,000	89,200	89,400	89,600	89,800	90,000
		実績	78,000	88,890	83,896	86,293	86,848	79,887	
(指標及びR2目標値の設定理由) 多くの住民がスポーツを楽しめる機会の充実を図るため、1000人増を設定。		目標数値の達成度	単年度	100%	94%	97%	97%	89%	
			最終年度	99%	93%	96%	96%	89%	
R元取組状況	アクアスカイに日よけカーポート設置並びに駐車場整備、アラジンスタジアム水中ポンプ改修等、体育施設の改修・修繕を行い利用者の利便性を向上させました。								
課題と今後(R2)の取組	老朽化した体育施設の延命化を図るため、随時老朽箇所の修繕が必要です。また、利用者数の向上を図るため、市内スポーツ団体や指定管理者と連携したスポーツ教室やイベントを開催する必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	89%	89%	C：目標を下回っている		②継続		
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
施設の修繕については、指定管理者と調整しながら進めることができました。また、指定管理者においても利用しやすい施設を目指して対応いただき、利用者数も毎年増加しています。H31年度は新型コロナウイルス感染症の関係で施設を閉鎖したため減少しましたが、閉鎖前までは前年比を上回っていました。					施設の経年劣化が進んでいるため修繕費の増加が見込まれます。また、勤労者体育センターの耐震診断並びに耐震化が必要です。目標値について、近年増加傾向でしたが設定が高すぎて達成できません。目標値を現実的な数字に見直す必要があります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	3 地域で楽しめる体力づくり								
到達目標	施設の活用と指導者の育成によって、誰もが気軽にスポーツ、レクリエーション活動に親しめるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 地域に密着して活動しているグループのリーダーや指導者を養成し、活動を支援します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	文化・観光・スポーツ課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R 2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・指導者養成講座開催					・指導者養成講座開催		
	経費(千円)	254					200		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
指導者養成講座の参加人数		目標		100	105	110	115	120	125
		実績	－	110	93	40	102	84	
(指標及びR2目標値の設定理由) 指導者不足の解消のため指導者養成講座参加者を約100名増の125名とする。		目標数値 の達成度	単年度	110%	89%	36%	89%	70%	
			最終年度	88%	74%	32%	82%	67%	
R元取組状況	ヴィッセル神戸からプロのコーチを招いての指導者養成講座(スポーツ教室)を実施しました。								
課題と 今後(R2)の取組	「教室」形式の指導者講習会が指導者と競技者が共に参加できるので望ましいと考えます。 今後も競技種目を変えた講習会を開催していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	70%	67%	C：目標を下回っている		②継続		
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
当初は講演会を開催しましたが、実技希望の指導者が多かったため教室形式としました。実施競技によって参加者の増減はありますが、概ね好評を得ています。今後も指導者のニーズに合わせた講座を開催していきます。				指導者の高齢化やスポーツ人口の減少などにより指導者の数が減ってきています。北播磨広域定住自立圏域を巻き込んだ広域的な指導者講座の開催が必要です。					

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	3 地域で楽しめる体力づくり								
到達目標	施設の活用と指導者の育成によって、誰もが気軽にスポーツ、レクリエーション活動に親しめるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 高齢者や障がい者を含めたスポーツ、レクリエーション活動を推進します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	文化・観光・スポーツ課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・ニュースポーツ教室開催 ・各スポーツ教室開催					・ニュースポーツ教室開催 ・各スポーツ教室開催		
	経費(千円)	700					700		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
スポーツ教室の年間参加人数		目標		300	320	340	360	380	400
		実績	—	353	391	384	326	564	
(指標及びR2目標値の設定理由) 市及びスポーツ推進委員会が開催するスポーツ教室の参加者数をH32に100人増とする。		目標数値の達成度	単年度	118%	122%	113%	91%	148%	
			最終年度	88%	98%	96%	82%	141%	
R元取組状況	バンディオンセサッカースクールを開催しました(全10回) 西宮ストークスバスケットボール教室を開催しました。 バドミントン教室を開催しました(全5回)								
課題と今後(R2)の取組	子どもから大人まで幅広い年代層が参加できるスポーツ教室を開催し、市民誰もがスポーツに親しめる環境を創る。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	148%	141%	S：目標を大きく上回って達成			②継続	
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
サッカースクールやバドミントン教室など市民のニーズに合わせた教室を複数回開催することにより、競技人口の拡大を図るとともにスポーツを楽しむ環境を創出できました。					体育協会加盟団体と連携した教室の実施を検討し、競技人口の増加を目指すとともに、スポーツ実施率の向上を図ります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	4 出会いを求める若者の応援								
到達目標	出会いを求める人たちが「自分に合う」方法で幸福をつかむことができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 事業者と連携し、若者の出会いの場のサポート制度を構築するとともに、特色あるイベントの実施に努めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	ふるさと創造課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・加西市出逢いサポートセンター事業					・加西市出逢いサポートセンター事業		
	経費(千円)	5,322					5,517		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★カップル成立年間組数【1-17】		目標		19	20	20	20	20	20
		実績	－	22	3	16	7	16	
(指標及びR2目標値の設定理由) 婚活実施事業数を3～4回 1回あたりのカップル数を5として算定		目標数値の達成度	単年度	116%	15%	80%	35%	80%	
			最終年度	110%	15%	80%	35%	80%	
R元取組状況	平成29年度10月から加西市出逢いサポートセンターを立ち上げ民間業者に委託しています。 登録者同士のマッチングを行い、108回のお見合いの機会を設けました。 また、セミナーを3回、婚活イベントを3回開催しました。								
課題と今後(R2)の取組	令和元年中に4組が成婚されたが、さらに成婚に結びつけられるようお見合いの機会を作るようにします。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	80%	80%	B：目標を達成		②継続		
備考									
平成29年度より加西市出逢いサポートセンターを立ち上げ、イベントだけではなく、ひとりひとり丁寧に婚活をサポートするサポーターを養成して、支援にあたる体制を構築中です。その取り組みを通して、カップル成立組数を増やしていきます。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
平成29年度10月から加西市出逢いサポートセンターを立ち上げ、民間業者に事業を委託しています。 平成30年5月から登録者同士のマッチングを行い、234回のお見合いの機会を設け、令和元年に4組が成婚されました。					県内の中で未婚率が高く、結婚の世話をする人が少なくなっている現状では、出逢いサポートセンターの役割は重要となるので、さらに成婚に結びつけられるよう婚活サポーターの養成、育成を行い事業を展開していきます。一方、SNS、マッチングアプリ等出会う手段が多様化しており、サポートセンターへの登録者数が伸びていないのが課題です。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	4 出会いを求める若者の応援								
到達目標	出会いを求める人たちが「自分に合う」方法で幸福をつかむことができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 関係機関を通じて、企業や事業者等の協力を得ながら職域相互の若者交流等、若者が気軽に出会えるイベントや交流機会の創出を支援します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	ふるさと創造課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	ふるさと創造会議、市内事業所等とコラボした婚活イベントの開催					ふるさと創造会議、市内事業所等とコラボした婚活イベントの開催		
	経費(千円)	委託費に含む					委託費に含む		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
職域交流年間事業数(回)	目標			1	1	1	1	1	2
	実績		0	5	1	4	4	3	
(指標及びR2目標値の設定理由) 会議所との連携による。加西市の規模であれば1回が妥当であるため。		目標数値の達成度	単年度	500%	100%	400%	400%	300%	
			最終年度	250%	50%	200%	200%	150%	
R元取組状況	加西市出逢いサポートセンターの婚活セミナー、婚活イベントを、加西市商工会議所メンバーやふるさと創造会議と連携して開催しました。								
課題と今後(R2)の取組	引き続き、各地域のふるさと創造会議や商工会議所と連携し、イベントを開催していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	300%	150%	B：目標を達成		②継続		
備考									
加西市出逢いサポートセンターが開催するイベントとして、ふるさと創造会議や市内事業所などと共催して、地域ぐるみで婚活事業を取り組みます。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
加西市出逢いサポートセンターが開催するイベントとして、ふるさと創造会議や市内事業所などと共催して、地域ぐるみで婚活事業に取り組みました。					平成29年10月から加西市出逢いサポートセンターを立ち上げ、民間業者が商工会議所メンバーとともにイベント、セミナーなどを実施しています。今後も連携イベントを行っています。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	5 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 義務教育9年間を見通した小中連携強化及び小中一貫教育に対応した学習指導計画を推進し、保幼小、小中連携を強化します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	総合教育センター			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・小中連携推進プランに基づく取組の充実 ・9年間のカリキュラムに基づく取組の充実 ・保幼小中連携教育研修講座の実施				・小中連携推進プランの見直し ・教育課題別に系統性のある指導の連携 ・保幼小中連携教育研修講座の実施			
	経費(千円)	1,080				1,070			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★保幼小中連携強化に係る合同研修会の年間開催数【5-82】		目標		1	1	1	2	3	3
		実績	—	1	1	1	2	3	
(指標及びR2目標値の設定理由) 保幼小中連携強化に係る合同研修会の年間開催数を示し、当初値から3倍を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	100%	
			最終年度	33%	33%	33%	67%	100%	
R元取組状況		全4中学校区において、小中連携教育推進委員会及び部会での協議を基軸とした合同研修会や相互授業参観、さらには、小・小・小中合同授業・合同交流会が実施されるなど、小中連携教育が推進されました。また、小中連携推進プランに則り、4領域において9年間を見通した指導系統表を作成し、小中教員における共通理解を深めることができました。							
課題と今後(R2)の取組		昨年度作成した指導系統表に沿って取組を進めるとともに、教科指導における指導系統表を作成し、さらなる小中連携教育推進に向けて取り組みを深めます。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成	②継続			
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
小中連携推進プランに則り、教師力の向上、中1ギャップの解消、学力向上に向けて確実に前進しています。中学校区ごとに特徴的な取組も見られ、児童生徒の不安軽減にもつながっています。				小中連携推進プランに沿って取組を進め、すべての領域において指導系統表を作成し、教員の交流ならびに共通理解を図ることができるよう推進します。					

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	2	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり							
施策	5	特色ある教育							
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2	小中教員の連携、外国人語学指導助手（A L T）の増員により、小中学校の外国語教育を充実します。							
主管部課	部名	教育委員会				課名	学校教育課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 （決算額）					R2 （予算額（補正含む））		
	取組内容	・外国人英語指導助手配置事業 ・小学校6年間における外国語活動実施事業 ・幼稚園、幼児園および社会教育分野への外国人語学指導助手配置事業 ・地域人材を活用した小学校英語教育支援充実事業					・外国人英語指導助手配置事業 ・小学校6年間における外国語活動実施事業 ・幼稚園、幼児園および社会教育分野への外国人語学指導助手配置事業 ・地域人材を活用した小学校英語教育支援充実事業		
	経費（千円）	25,501					32,302		
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
外国語指導助手の配置人数		目標		6	6	6	6	7	7
		実績	6	6	6	6	6	7	
（指標及びR2目標値の設定理由） H32年度から全面実施される小学校における外国語の教科化に伴い、小学校への派遣講師を1名増やし充実にあてる。		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	100%	
			最終年度	86%	86%	86%	86%	100%	
R元取組状況		・派遣契約及び直接雇用で7名のALTを確保し、小中学校における英語科や外国語活動の充実を図りました。また、小学校では英語が堪能な地域住民を活用し、オンライン英会話授業のサポートや学級担任とのチームティーチング授業を行いました。 ・小学校外国語活動及び中学校英語科における研究授業、相互授業参観やカリキュラム作成を通じた教員研修を行い、小中連携の充実を図りました。 ・小学校外国語活動及び中学校英語科におけるALTの授業補助を実施し、異文化理解や主体的に外国語を用いたスピーキングテスト等コミュニケーションを図ろうとする態度の育成を目指しました。 ・幼稚園、こども園、特別支援学校及び夏期休業中の「kasai英語村サマーキャンプ」へALTの派遣を行い、幅広い外国語教育の展開を具現化しました。							
課題と今後(R2)の取組		・小学校における新学習指導要領の全面実施に伴い、小学校教員の外国語活動における指導力の向上を図るための教員研修の充実と校内研修の支援を行います。 ・R3年からの中学校の新学習指導要領の全面実施に向け、ALTを活用した4技能5領域を重視した教員研修の支援を行います。 ・こども園から小学校、中学校までの系統立てた指導により、外国語や異文化について興味関心を高めるとともに、体験的に理解を深め、積極的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育成します。 ・小学校における英語専科教員や中学校の英語科教員がALTと協働し、ハード面だけでなくソフト面についてさらなる充実を目指します。							
自己評価		進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針	
			区分	単年(R元)	最終(R2)				
		②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成		②継続	
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
・A L T派遣講師の増員により、小学校においては学級担任による新たな教科への対応や授業準備など、多忙である教師の時間的・精神的負担の軽減が図ることができました。 ・幼稚園、こども園、特別支援学校および社会教育施設への派遣により生涯学習社会における外国語教育の充実を図ることができました。					・小学校においては、新学習指導要領の全面実施に伴う外国語活動及び外国語科の全ての授業において、学級担任、英語専科教員とA L T、地域人材によるチームティーチング授業を実施します。 ・中学校においては、A L Tとともにスピーチコンテストやコミュニケーションを重視した授業を実施するなど4技能5領域を重視したソフト面での対応の充実を図ります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	5 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 情報端末の整備により、子どもたちの情報活用力を向上させます。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	教育総務課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	※リース				※リース			
	経費(千円)	44,000				61,662			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
教育用PC更新済校数		目標		2	8	12	13	16	18
		実績	－	2	8	12	12	12	
(指標及びR2目標値の設定理由) リース更新年により決定		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	100%	92%	75%	
			最終年度	11%	44%	67%	67%	67%	
R元取組状況	H29年度より学習用ICT機器の更新を「8年」に変更していたため、R元年度の教育用ICT機器更新は実施していません。文部科学省のGIGAスクール構想が開始され、整備計画を再検討しました。								
課題と 今後(R2)の取組	文部科学省のGIGAスクール構想に伴う補助金を活用し、すべての小中特別支援学校において、児童生徒一人一台パソコンの導入を実施します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	75%	67%	B：目標を達成		③見直し		
備考									
H29年度より教育用ICT機器の更新を「8年」に変更していましたが、国の教育情報化施策が急激に加速していることから、再度更新期間を「5年」に見直します。文部科学省のGIGAスクール構想にあわせ、整備台数の目標を完全一人一台に変更し、令和2年度には小4～小6に端末を整備します。 ※R5年度までにはすべての小中学校で一人一台端末の整備を完了する予定。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
計画途中であるH29年度に、利用状況等を考慮して更新期間を従来の5年から8年に変更したため、H30年度とR元年度には更新を行いませんでした。R元年度には、文部科学省のGIGAスクール構想を受けて整備方針を変更し、R2年度中にすべての小・中・特別支援学校で一人一台パソコンの整備を実施することになりました。					一人一台パソコンが実現することで、情報端末の整備としては充足することとなります。今後の課題としては、整備したパソコンの教育への有効活用と、パソコンの更新計画について検討する必要があります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	5 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 加西の風土、文化、自然を活かした環境教育カリキュラムの実施や関係団体との連携を深めていきます。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・各校における環境体験学習の実施 ・小学校における「あびき湿原環境学習」の実施				・各校における環境体験学習の実施 ・小学校における「あびき湿原環境学習」の実施			
	経費(千円)	2,122				1,942			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
小中学校での体験型環境教育の年間時間数		目標		10	10	10	10	10	10
		実績	8	8	10	10	10	10	
(指標及びR2目標値の設定理由) 1校あたりの年間授業時数を示すもので、数値設定のみならず、学習内容の充実を図ることをねらいとする。		目標数値の達成度	単年度	80%	100%	100%	100%	100%	
			最終年度	80%	100%	100%	100%	100%	
R元取組状況	3年生の環境体験事業を中心に、市内のすべての小学校が綱引湿原を通して、環境の学習を行う事ができました。また、環境教育について、6年間見通したカリキュラムを工夫して組んでいくことで、3年生だけの体験学習だけでなく、他学年の学習へつなげる取組を実践する学校も出てきています。あわせて、各校において地域の環境を取り上げる環境体験を継続して構築してきており、地元人材や専門家等を積極的に活用しながら、校区の特性を生かした学習を展開することができました。								
課題と今後(R2)の取組	令和2年度より、小学校で新たな学習指導要領が実施され、これまでより、より教科横断的に系統性を探りながらの学習が必要となっています。その中で学習とのつながりを考え、貴重な市内の自然環境とふれあいながら、継続して進めて行くことが大切です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成		②継続		
備考									
「あびき湿原環境学習」の実施について、当初、小学校及び中学校で実施すると計画していましたが、小学校のみ実施することに変更します。学級数の変動により経費を見直しました。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
・加西の風土、文化、自然を活かした環境教育カリキュラムの実施や関係団体との連携を深めました。 ・環境体験学習を小学校11校すべてで実施し、各校区の特色や人材を生かした環境体験学習や「あびき湿原環境学習」を実施し、貴重な市内の自然環境とふれあいながら、学びを深めました。					・環境体験学習を継続するための人材バンクや組織作りが必要です。 ・環境体験学習を実施するための交通費等の負担が増大しています。 ・あびき湿原から広がる加西の環境学習の素材の開発が必要です。 あびき湿原を中心としながら、継続して未来の加西の児童生徒までが学べる加西の環境学習の構築へとつなげます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	5 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 個々の能力に応じた特別支援教育の充実を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	学校教育課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・特別支援教育コーディネーター部会 ・特別支援教育担当者及び特別支援教育コーディネーター、特別支援学級担任合同研修会 ・特別支援教育コーディネーターネットワーク会議					・特別支援教育コーディネーター部会 ・特別支援教育担当者及び特別支援教育コーディネーター、特別支援学級担任合同研修会 ・特別支援教育コーディネーターネットワーク会議		
	経費(千円)	185					185		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
特別支援教育担当者や特別支援教育コーディネーター等を対象とした研修の年間開催数		目標		3	4	4	5	5	5
		実績	—	3	4	4	5	5	
(指標及びR2目標値の設定理由) 指標：専門研修の開催数 目標値設定理由：校内支援体制の充実		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	100%	
			最終年度	60%	80%	80%	100%	100%	
		R元取組状況		市内校園の特別支援教育コーディネーターが参加する「特別支援教育コーディネーター部会」を3回開催しました。県の施策と加西市の取組計画を推進するために、研修や情報交換を行いました。コーディネーターとしての役割を確認し、各校園内の支援体制が充実するよう管理職を中心に教職員の理解も進んできています。また、「特別支援教育ネットワーク会議」を2回開催し、健康課・地域福祉課・基幹相談支援センターなど関係機関との情報交換と、進学先への引継ぎを行いました。縦と横の連携を深め、切れ目のない一貫した支援・教育を進めています。					
課題と今後(R2)の取組		共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育システムの構築を目指し、市内校園の特別支援教育コーディネーターの協議会を引き続き開催します。経験や研修を通してコーディネーターとしての知識技能を身に着けた教員が中心になって、それぞれの学校で教職員全体が特別支援教育に対する理解を深め、学校内の協力体制を整えるとともに、学校外の関係機関と連携をとり、個々の能力に応じた教育を充実させるためにチームで取り組みます。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成	②継続			
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
各校園の特別支援コーディネーターと関係機関が参加し、情報交換や研修を行うことによって教職員の専門性が向上し、各校園内の支援体制や、障がいの状態や教育的ニーズに応じた配慮や支援が提供できるような教育環境整備が進んできました。					同じ場でともに学ぶインクルーシブ教育システムの構築を目指します。個々の能力や個別の教育的ニーズに応じた指導を提供できるよう、特別支援学校のセンター的機能やエリアコーディネーターを活用し、縦と横の連携をさらに深め、通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校の「多様な学びの場」の充実を図ります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	5 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 総合教育センターを活用し、校種間研修講座の増加と各種間の連携強化を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	総合教育センター		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・小中連携教育推進委員会開催 ・小中連携教育研修講座の開催 ・小中合同研修講座の開催					・小中連携教育推進委員会開催 ・小中連携教育研修講座の開催 ・小中合同研修講座の開催 ・特別研修講座の開催		
	経費(千円)	1,000					1,105		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①総合教育センターにおける年間研究講座数		目標		15	39	40	40	40	40
		実績	10	36	43	45	45	43	
(指標及びR2目標値の設定理由) 総合教育センターが主催する研修講座の年間開催数を示し、教育課題から内容回数を設定		目標数値の達成度	単年度	240%	110%	113%	113%	108%	
			最終年度	90%	108%	113%	113%	108%	
②★校内研修の実施回数(月あたり回数)【5-86】		目標		3	3	3	3	3	3
		実績	－	3	3	3	3	3	
(指標及びR2目標値の設定理由) 市内小中特別支援学校の校内研修の実施回数(月あたり)を示し、各月週1回開催をもとに設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	100%	
			最終年度	100%	100%	100%	100%	100%	
R元取組状況		・教職員のキャリアステージやニーズに応じた研修、新学習指導要領全面实施に向けた研修内容を検討し、35コース43講座を実施しました。 ・研修内容や講師については、兵庫教育大学や環太平洋大学、県立教育研修所など関係機関と連携し、研修講座を充実させました。							
課題と今後(R2)の取組		小中教員にアンケート調査をし、現場の声と教育を取り巻く喫緊の課題を照らし合わせながら、より良い研修の機会を設定します。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
①	②実行中	S：予定より早く進行	108%	108%	B：目標を達成		②継続		
②	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%					
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
教員のニーズや教育界の課題に沿った研修内容を設定し、受講者から好評を得ています。また、小中教員が同じ研修内容、時間を共有し、交流することで、それぞれの指導理念に触れ、教師力向上や授業改善につながるとともに、児童生徒の学力向上にもつながっています。					日々変化する教育の課題に対応できるよう、教員の教師力向上に向けて研修内容を深めるとともに、オンラインによる研修講座など、新しい形の研修形態を模索しながら教員の負担軽減にも努めたいと考えます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	5 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 ★特色のある部活や教室を設置します。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	学校教育課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・部活動指導者研修会の実施 ・部活動外部指導者及び部活動指導員の活用 ・部活動ガイドラインの点検評価					・部活動指導者研修会の実施 ・部活動外部指導者及び部活動指導員の活用 ・部活動ガイドラインの点検評価 ・学校外の活動主体や運営方法の在り方についての検討		
	経費(千円)	2,527					2,555		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★部活動の指導者研修会の実施数【5-85】		目標		-	1	1	3	3	3
		実績	-	-	1	1	1	0	
(指標及びR2目標値の設定理由) 総合教育センターとの連携により、職員研修の一環として講座を開設する		目標数値の達成度	単年度	-	100%	100%	33%	0%	
			最終年度	-	33%	33%	33%	0%	
R元取組状況	・加西市中学校部活動ガイドラインの見直しのための検討委員会を8月に開催しました。熱中症対策の具体的な取組、ノー部活デーの確実な設定に関する文言の追加・一部修正を行いました。 ・部活動指導者研修講座は開催できませんでした。 ・部活動外部指導者(市費)4名及び部活動指導員(国・県費一部負担)3名を任用しました。								
課題と今後(R2)の取組	・メンタルトレーニングやコーディネーショントレーニング等の部活動指導者研修会を総合教育センターと実施します。 ・部活動指導員の要綱を市で定め、単独で引率可能な部活動指導員の活用を一層促進し、部活動の活性化、顧問教員の負担軽減も含めた持続可能な部活動の在り方を検討します。 ・加西市中学校部活動ガイドラインの見直しだけではなく、地域主体の活動としての部活動の在り方を含めた加西市中学校部活動在り方の検討委員会を8月に開催する予定です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	0%	0%	C：目標を下回っている			②継続	
備考									
・従来の部活動外部指導者の配置に加えて、国・県費を補助金として活用した部活動指導員を配置し活用します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
・部活動ガイドラインを毎年度見直すことで、熱中症対策の具体的な取組やノー部活デーの確実な設定を図ることができました。 ・単独で引率可能な部活動指導員の要綱を市で定めることで、教職員の負担の軽減とともに、部活動の指導の充実を図ることができました。					・部活動指導員の人材確保とともに、社会教育団体等とも協力し、持続可能な形での地域主体の部活動運営に向けた方向性を関係部署、関係機関とともにつくります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	5 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	8 ★地元高校の活性化を支援します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	人口増政策課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・北条高校活性化協議会への支援（アフタースクールゼミ事業、通学バス事業、国際交流事業、兵庫県教育委員会への要望活動）					・北条高校活性化協議会への支援（アフタースクールゼミ事業、通学バス事業、国際交流事業、兵庫県教育委員会への要望活動）		
	経費（千円）	9,366					10,000		
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★アフタースクールゼミ受講者年間延べ人数【5-87】		目標		400	420	440	460	500	500
		実績	－	416	406	631	514	508	
（指標及びR2目標値の設定理由） 北条高校活性化協議会の柱となる取組みであるアフタースクールゼミの参加者数を示すもので、年々延べ20人増えと想定。		目標数値の達成度	単年度	104%	97%	143%	112%	102%	
			最終年度	83%	81%	126%	103%	102%	
R元取組状況	河合塾によるゼミを「受験コース」、兵庫教育大学の学生を講師としたゼミを「基礎コース」を開設し、よりきめ細やかな学習支援を行いました。 また、R元年度は受験コースにおいて、夏期講習を新たに実施し、より受験対策を意識した短期講習を設けました。								
課題と今後(R2)の取組	令和元年度入学の募集定員において、普通科が1クラス減となり、1学年3学級の学校規模となりました。1クラス増となるよう、兵庫県教育委員会へ引き続き要望活動をするだけでなく、北条高校活性化協議会が実施する他の事業についても見直しを行い、北条高校の生徒確保及び活性化を進めていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	102%	102%	B：目標を達成		②継続		
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
北条高校活性化協議会の事業では、学力の向上を目的としたアフタースクールゼミだけでなく、国際交流事業や市内小学校への出前講座支援など、生徒が様々な体験を通して成長できるよう支援をしています。 また、関関同立・産近甲龍の有名私大の合格者数についても、平成28年度から年々増加傾向にあります。					加西市内の中学3年生数の減少に伴い1学級減となりましたが、今後も中学3年生数が増える見込みがない中で、どのように生徒確保を図るかが課題です。 市内外の多くの中学生が進学したいと思うような魅力ある高校を目指して引き続き支援し、進学希望者の確保を図り、1学年4学級の回復に向けて取り組みます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	6 安全安心で潤いのある学校								
到達目標	小学校1年生から中学校3年生までの連続性を意識した学校整備を行い、安心して学べる緑豊かな教育環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 すべての小中学校の旧耐震施設の耐震化を完了させた後は、避難所としての機能回復や教育環境改善を継続します。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	教育総務課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	※耐震化完了					※耐震化完了		
	経費(千円)	—					—		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①学校耐震化率(鉄筋コンクリート・鉄骨造)	目標			100	—	—	—	—	—
	実績		58	100	—	—	—	—	—
(指標及びR2目標値の設定理由)		目標数値の達成度	単年度	100%	—	—	—	—	—
			最終年度	100%	100%	100%	100%	100%	—
②学校耐震化率(木造)	目標			100	—	—	—	—	—
	実績		0	100	—	—	—	—	—
(指標及びR2目標値の設定理由)		目標数値の達成度	単年度	100%	—	—	—	—	—
			最終年度	100%	100%	100%	100%	100%	—
③★学校施設における太陽光発電容量(kw) 【5-84】	目標			197	—	—	—	—	—
	実績		10	197	—	—	—	—	—
(指標及びR2目標値の設定理由)		目標数値の達成度	単年度	100%	—	—	—	—	—
			最終年度	100%	100%	100%	100%	100%	—
R元取組状況	なし								
課題と今後(R2)の取組	昭和56年以前に建築された建物は耐震化工事に合わせて、平成27年度までに改修を完了しました。 しかし、昭和56年以降に建設された建物は改修を行っていない為、老朽化が進んでおり計画的な改修が必要です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	③完了	—	—	100%	A：目標を上回って達成	①完了			
	③完了	—	—	100%					
	③完了	—	—	100%					
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
昭和56年以前に建築された建物は耐震化工事に合わせて、平成27年度までに改修を完了しました。					昭和56年以降に建設された建物は改修を行っていない為、老朽化が進んでいます。令和2年度策定予定の学校施設長寿命化計画に基づき、計画的に改修工事を実施していく必要があります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	6 安全安心で潤いのある学校								
到達目標	小学校1年生から中学校3年生までの連続性を意識した学校整備を行い、安心して学べる緑豊かな教育環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 ★学校施設の改修工事を計画的に行い、長寿命化を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	教育総務課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・日吉小北校舎				・富田小体育館、善防中屋外トイレ			
	経費(千円)	21,084				81,500			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
改修工事の完了棟数		目標		—	—	6	10	11	13
		実績	—	—	—	1	1	2	
(指標及びR2目標値の設定理由) 建築年度により計画棟数を設定		目標数値 の達成度	単年度	-	-	17%	10%	18%	
			最終年度	-	-	8%	8%	15%	
R元取組状況	特別支援学校 感覚学習室・体育館改修工事 加西中学校 職員トイレ改修工事 日吉小学校 特別教室改修工事								
課題と 今後(R2)の取組	昭和56年以前に建築された建物は耐震化工事に合わせて、平成27年度までに改修を完了しました。 しかし、昭和56年以降に建設された建物は改修を行っていない為、老朽化が進んでおり計画的な改修が必要です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	18%	15%	C：目標を下回っている			②継続	
備考									
事業実施計画により、取組内容を変更します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
昭和56年以前に建築された建物は耐震化工事に合わせて、平成27年度までに改修を完了しました。しかし、昭和56年以降に建設された建物については老朽化が進んでおり、事業実施計画に基づき改修を行っていますが、十分な改修を行うことができませんでした。					昭和56年以降に建設された建物は改修を行っていない為、老朽化が進んでいます。令和2年度策定予定の学校施設長寿命化計画に基づき、計画的に改修工事を実施していく必要があります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	6 安全安心で潤いのある学校								
到達目標	小学校1年生から中学校3年生までの連続性を意識した学校整備を行い、安心して学べる緑豊かな教育環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 ★南部学校給食センターの改築を行い、単独調理場の統廃合を行います。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	教育総務課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	—					(旧)南部学校給食センター 解体工事		
	経費(千円)	—					12,675		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
単独調理場数【減少指標】		目標		3	3	3	3	0	0
		実績	—	—	—	3	3	3	
(指標及びR2目標値の設定理由) 南部給食センターH29設計、H30建設工事、R元 解体工事 R元に単独調理場統合		目標数値 の達成度	単年度	—	—	100%	100%	0%	
			最終年度	—	—	0%	0%	0%	
R元取組状況		補助事業の採択により南部学校給食センター改築工事は開始されましたが、建築資材の調達に不測の期間が必要となったため完成予定が大幅におくれています。							
課題と 今後(R2)の取組		単独調理場施設が、建設後29年経過し老朽化が進んでいることから、南部学校給食センターの早期完成が必要です。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	0%	0%	C：目標を下回っている		②継続		
備考									
補助事業の採択に伴い、令和元年度より南部学校給食センター改築工事に着手する。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
南部学校給食センターの稼働により、現在、北部学校給食センター管内においてのみ実施しているアレルギー対応食をすべての小・中・特別支援学校に提供できることになり、安心安全な給食を実施することができるようになります。					継続して、安心安全な給食を提供し、さらに、新たな給食センターの活用方法として食育の拠点、災害時における非常食の提供などの手段、方法を模索していきます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	7 地域に開かれた学校づくり								
到達目標	学校が家庭や地域との連携を強化し、子どもたちとの活動や体験の場を共有できる開かれた学校づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 ゲストティーチャー等の活用により地域全体で学校の支援に取り組みます。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	学校教育課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・加西学校づくり応援事業 ・環境体験事業					・加西学校づくり応援事業 ・環境体験事業		
	経費(千円)	1,750					1,700		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★ゲストティーチャーの延べ人数【6-93】		目標		380	385	390	395	400	410
		実績	380	380	385	390	400	570	
(指標及びR2目標値の設定理由) 指標：ゲストティーチャーの延べ人数 目標値設定理由：地域に開かれた学校づくり		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	100%	101%	143%	
			最終年度	93%	94%	95%	98%	139%	
R元取組状況		・小・中・特別支援学校が、学校の特色や地域の特性を生かした教育活動の場面において、地域の人材を活用し、児童生徒の生きる力とふるさと意識の醸成を図っています。 ・H30年度に引き続き、県事業も活用しながら、小学校では総合的な学習の時間を中心に、中学校ではキャリア教育を中心に多くの地域人材にかかわっていただき、より学校・地域の特性を生かした取組を推進することができました。							
課題と 今後(R2)の取組		・教育課程を精査し、学校の実態に応じた地域人材をゲストティーチャーとして活用できる場面を意図的・計画的に推進します。 ・学習内容に照らし合わせながら、地域の人材をより有効的に活用できる取組を探るとともに、今後も継続して実施できるよう新たな人材の発掘にも取り組みます。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	143%	139%	A：目標を上回って達成		②継続		
備考									
事業実績に基づき、加西学校づくり応援事業の経費を見直しました。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
・「加西学校づくり応援事業」による各校の特色づくりとともに、各校の児童生徒の実情に合わせたゲストティーチャー等の活用により、地域一丸となって学校教育を推進する原動力をつくることができました。 ・環境体験事業…11校すべてでゲストティーチャーを活用し、各学校で工夫した取組により、活用人数が増加しました。					・目指す児童生徒像の実現に向け、資質・能力を身につけさせる手段としての教育課程の編成を通して、ゲストティーチャー等の活用を図ります。 ・地域の実情により活用人数に差があるため、内容を吟味しながら、今後も継続して地域と連携し、目指す資質・能力ベースで教育活動の充実を図ります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	7 地域に開かれた学校づくり								
到達目標	学校が家庭や地域との連携を強化し、子どもたちとの活動や体験の場を共有できる開かれた学校づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 小中学校内に地域の住民が立ち寄れる広場を設け、地域との交流を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	総合教育センター		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R 2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・学校・家庭・地域の連携協力推進事業					・地域と学校の連携・協働体制構築事業		
	経費(千円)	4,782					4,660		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
校内交流広場設置数		目標		16	—	—	—	—	
		実績	11	16	—	—	—	—	
(指標及びR2目標値の設定理由) 市内の小中特別支援学校の校内交流広場設置数を示し、全校設置を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	—	—	—	—	
			最終年度	100%	100%	100%	100%	100%	
R元取組状況	ワッショイスクール事業を展開する全小学校において、ワッショイスクール協力員の部屋が設置されています。また、市内全学校において地域住民が学校教育を支援できる環境が整うとともに、児童生徒や協力員の交流の場としての機能を果たしています。								
課題と今後(R2)の取組	コミュニティルームの設置など、地域の交流の場となることが期待される中、活動しやすい環境づくりを進めていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	③完了	—	—	100%	B：目標を達成		①完了		
備考									
昨年度、国・県の補助金が大幅に削減されたため、経費を事業内容に合った金額に変更します。 令和2年度から事業名が変更になりました。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
ワッショイスクール事業立ち上げより、協力員の皆様には教育支援や校内における見守り活動において多大な協力をいただいています。児童生徒が地域の方々など多様な他者と関わることは、社会に開かれた教育課程の推進の上でも効果を上げています。					今後も事業を継続するために、新規協力員の確保が必要となります。環境を整備し、持続可能な事業となるよう努めます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	7 地域に開かれた学校づくり								
到達目標	学校が家庭や地域との連携を強化し、子どもたちとの活動や体験の場を共有できる開かれた学校づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 学校評議員制度やオープンスクール等を通して地域に信頼される学校づくりを推進します。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	学校教育課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・オープンスクールの実施 ・学校評議員会の開催					・オープンスクールの実施 ・学校評議員会の開催		
	経費(千円)	315					318		
指標名		区分	目標(下段の() 書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
オープンスクール年間開催数(1校あたり)		目標		10	11	12	13	14	15
		実績	—	10	10	10	12	12	
(指標及びR2目標値の設定理由) 1校あたりのオープンスクールの開催回数を示しており、当初値から1.5倍増で設定。		目標数値の達成度	単年度	100%	91%	83%	92%	86%	
			最終年度	67%	67%	67%	80%	80%	
R元取組状況		・市内すべての小・中・特支学校において、オープンスクールを継続して行いました。兵庫の教育推進月間中(11月)には、各校でオープンスクールや各種行事の機会を通して、児童生徒の学習活動の様子を公開し、保護者や地域の住民に対して特色ある取組を周知するとともに、地域から信頼される学校づくりを推進しました。また、学校間においても、相互に参観等を意欲的に行うことで、異校種・同校種間の連携が、年々図られつつあります。							
課題と今後(R2)の取組		・実施内容については、児童生徒の姿を公開する機会を広げたり、さらに地域に周知する方法を検討、実践したりすることで、これまで以上に地域に信頼される学校づくりにつなげていきます。 ・校内評価委員会や学校評議員会、オープンスクールだけでなく、保護者や地域住民からの意見や感想をもとに、各校の学校目標に到達する取組を充実させるとともに、総合教育センターとも連携を図りながらより地域に開かれたコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の導入を進めています。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	86%	80%	C: 目標を下回っている	②継続			
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
・オープンスクールは、兵庫の教育推進月間を中心に、市内16校すべてで実施し、各校の特色ある取組を公開し、地域に信頼される学校づくりを推進しました。 ・学校評議員会を市内16校すべてで実施し、学校評議員会での意見を参考に、開かれた学校づくりの推進を図っていきます。					・地域に開かれた学校づくりをめざし、学校評議員会等を活用し、地域とともに歩んでいく学校づくりが必要です。 ・コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の導入に向け、総合教育センターとも、さらなる連携を図ります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	8 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 各機関と連携して、生産者等を対象とした公開講座を開催します。								
主管部課	部名	地域振興部				課名	農政課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・かさい農業塾の開催 ・神戸大学での小学生柿収穫体験 ・学術研究機関と連携した地域活動					・かさい農業塾の開催 ・神戸大学での小学生柿収穫体験 ・学術研究機関と連携した地域活動		
	経費(千円)	100					0		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①★「かさい農業塾」の年間開催回数【4-65】		目標		1	1	1	2	2	3
		実績	0	1	1	1	2	0	
(指標及びR2目標値の設定理由) 主要作物毎に塾の開催を目標とする。		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	0%	
			最終年度	33%	33%	33%	67%	0%	
②★大学等連携による農業分野での地域活動年間件数【3-60】		目標		1	1	2	2	2	2
		実績	—	1	2	3	3	3	
(指標及びR2目標値の設定理由) 現行の取り組み以外に学生と密に交流できる取り組みを行う。		目標数値 の達成度	単年度	100%	200%	150%	150%	150%	
			最終年度	50%	100%	150%	150%	150%	
R元取組状況	昨年に引き続き、小学生の柿収穫体験、播磨農高ダークホース栽培・ハボタンPRイベントへの参加に取り組みました。「農業塾」については、農閑期に開催計画していたが、新型コロナの影響で実施できませんでした。								
課題と今後(R2)の取組	農業関係者の集まる機会を増やし、グループが立ち上げられるように勧めたい。学校との連携を市内でもっとPRしていきたい。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
①	②実行中	B：予定より遅延	0%	0%	B：目標を達成	②継続			
②	②実行中	S：予定より早く進行	150%	150%					
備考									
農家団体が主催できるように移行するように取り組んでいる。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
地元高校や大学との連携を進めることができました。農家との交流については、おおむね実施できています。				引き続き、学校との連携や農家同士の交流の機会を作っていきます。					

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	8 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 生産、加工、販売の一体的な6次産業化に向け、講座や研修の充実を図り、起業家への支援を行います。								
主管部課	部名	地域振興部				課名	農政課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・アスパラガスの生産及び加工推進					・アスパラガスの生産及び加工推進		
	経費(千円)	866					2,000		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★高付加価値品種育成数【2-46】		目標		2	2	2	2	3	3
		実績	—	1	3	3	3	3	
(指標及びR2目標値の設定理由) 加西ブランド協議会の取り組みに加え、J Aによる産地形成の取り組みに協力する。		目標数値の達成度	単年度	50%	150%	150%	150%	100%	
			最終年度	33%	100%	100%	100%	100%	
R元取組状況	加西市でアスパラガスを新たに栽培を目指す農家のハウス補助をJ A兵庫みらいと連携し、上乗せ補助を実施し、J A兵庫みらい管内の中で、加西市が産地になるように取り組んだ。								
課題と今後(R2)の取組	引き続き、支援を実施。市民に加西市でアスパラガスが生産されているという認識を深めていく取り組みを行う必要がある。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	A：目標を上回って達成			②継続	
備考									
アスパラガスの特産品化をJAと連携して進めるため、パ°ハウスの整備補助を行う。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
アスパラガスの生産に取り組む農家が増え、JA兵庫みらい管内では、加西市が最も生産者が多くなっています。					アスパラガスへのハウス補助については、令和2年度をもって終了とします。今後は、産地をPRしていく取り組むが必要と考えています。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	8 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 新規就農希望者への研修受入制度や市民農園利用について、全国的なPRに努めます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・市民農園の設立支援 ・新規就農促進協議会				・市民農園の設立支援 ・新規就農促進協議会			
	経費(千円)	200				200			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①★市民農園年間利用区画数【3-62】 (指標及びR2目標値の設定理由) H28～30は西笠原による増。R元以降は新たな園による増を想定。		目標		40	50	60	60	70	70
		実績	－	43	46	43	47	50	
(指標及びR2目標値の設定理由) H28～30は西笠原による増。R元以降は新たな園による増を想定。		目標数値の達成度	単年度	108%	92%	72%	78%	71%	
			最終年度	61%	66%	61%	67%	71%	
②★新規年間就農者数【2-47】 (指標及びR2目標値の設定理由) 毎年2名以上の就農認定を想定。		目標		1	2	2	2	2	2
		実績	－	3	5	0	1	2	
(指標及びR2目標値の設定理由) 毎年2名以上の就農認定を想定。		目標数値の達成度	単年度	300%	250%	0%	50%	100%	
			最終年度	150%	250%	0%	50%	100%	
R元取組状況	・市民農園については、H28に開設された西笠原市民農園を就農相談会等でPRしました。 ・加西市新規就農促進協議会として、県内外の新規就農相談会等に積極的に参加し、市外の新規就農希望者に加西市の農業を広くPRするとともに、新規就農者向けPR冊子を作成するなど就農者増に繋がる取り組みを行いました。								
課題と 今後(R2)の取組	市民農園については、関係機関へのPRだけではなく、都市農村交流に係る多様な取り組みを通して様々な媒体を使ったPRが必要であると考えています。 新規就農支援施策では、市外の新規就農者にとっては、農地・住居の選定に時間を要することが多く、新規参入しやすい空き農地や空き家の情報収集に努め、きてみて住んで課と連携しながら進めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
①	②実行中	B：予定より遅延	71%	71%	C：目標を下回っている		②継続		
②	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%					
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
・市民農園については、引き続きPRを進めています。 ・新規就農については、加西市独自の支援策や積極的に相談会に参加したことにより、相談者は増え、これから地域を担っていく意欲の高い就農者も増えました。					・市民農園については、開設者による新たな取り組みと提案し、利用者を増やしていくように支援してきます。 ・農地や住居、出荷、栽培指導等について、各部署と連携を図りながら、有望な人材確保を進め、引き続き、相談会へ積極的に参加していきます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	8 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 法人の設立と参入を推進するとともに、新規就農希望者の雇用の促進に努めます。								
主管部課	部名	地域振興部				課名	農政課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・法人化を検討する組織との協議 ・就農プランに応じた研修誘導 ・新規就農者への各種補助					・法人化を検討する組織との協議 ・就農プランに応じた研修誘導 ・新規就農者への各種補助		
	経費(千円)	17,173					20,500		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①農業法人数		目標		9	9	9	10	10	10
		実績	1	9	9	10	10	11	
(指標及びR2目標値の設定理由) 指標は法人化した集落営農組織の数。農業生産法人はこれ以外にも多数あり。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	111%	100%	110%	
		最終年度		90%	90%	100%	100%	110%	
②★加西市就農研修生年間受入者数【2-49】		目標		2	2	2	2	2	2
		実績	－	3	11	6	5	5	
(指標及びR2目標値の設定理由) 安定して研修受入から就農に結びつけることを想定。		目標数値の達成度	単年度	150%	550%	300%	250%	250%	
		最終年度		150%	550%	300%	250%	250%	
③★新規就農者支援事業補助金の年間受給者数【2-50】		目標		1	2	2	2	2	2
		実績	－	5	3	3	2	2	
(指標及びR2目標値の設定理由) 就農認定に伴い補助制度の有効活用を図る。		目標数値の達成度	単年度	500%	150%	150%	100%	100%	
		最終年度		250%	150%	150%	100%	100%	
R元取組状況	新たにトマト農家が家族で就農。加西市2例目の夫婦型で就農しました。また、市外在住ですが、加西市でイチゴ農家として就農認定を行いました。 市内の農業法人に市内在住の22歳の学生がインターンシップ事業に取り組みました。								
課題と今後(R2)の取組	国の補助の要件が厳しくなり、新規就農希望者の確保が課題となっています。就農相談件数は多いので、加西市での就農に繋げていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
①	②実行中	S：予定より早く進行	110%	110%	A：目標を上回って達成		②継続		
②	②実行中	S：予定より早く進行	250%	250%					
③	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%					
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
加西市独自の就農支援策によって、新規就農者の経営を支えています。支援期間終了後も離農者は出ていません。 営農組合の法人化も増加して、法人化を検討している集落営農組織も存在し、引き続き支援していきます。					新規就農者の確保と法人化支援は継続していきます。 農の雇用事業やインターンシップ事業を活用して、そこから独立する農家を作っていきます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	8 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 認定農業者や農業法人への農地の利用集積を支援し、補助制度を充実します。								
主管部課	部名	地域振興部				課名	農政課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・認定農業者ならびに農業法人による利用集積の加速を図るため、担い手育成施設整備支援事業の拡充					・認定農業者ならびに農業法人による利用集積の加速を図るため、担い手育成施設整備支援事業の拡充		
	経費(千円)	13,091					14,000		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
農用地利用権設定面積(ha)		目標		570	300	350	400	450	600
		実績	241	286	290	621	638	668	
(指標及びR2目標値の設定理由) 認定農業者と認定就農者の増に伴う設定面積増を図る。		目標数値の達成度	単年度	50%	97%	177%	160%	148%	
			最終年度	48%	48%	104%	106%	111%	
R元取組状況	基盤法に基づく農地利用権設定による集積に加え、農地中間管理事業を通じた担い手への集積を推進しました。 (基盤法による集積 308ha、農地中間管理事業による集積 360ha) また、認定農業者や集落営農組織への支援として、担い手育成施設整備支援事業を拡充しました。								
課題と 今後(R2)の取組	集落営農組織や認定農業者が存在する地域とそうでない地域の集積率の差、また集落営農組合員の高齢化が著しい集落など、地域ごとに抱える問題は多くあります。 担い手となる農業者への支援、新規就農者の育成に一層注力し、効率的かつ持続性のある地域農業を目指し集積を図っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	148%	111%	A：目標を上回って達成		②継続		
備考									
高齢化による離農者の増に伴い、地域農地を守る担い手への負担も急激に増加しており、機械化による負担軽減と効率化が急務となっています。 また、集落営農組織や認定農業者数も毎年増加していることから、施設整備支援事業の拡充を図るものです。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
順調に集落単位で中間事業を活用した権利の設定が行われています。これにより営農組合への集積が進んでいます。					中間管理事業を通じた集積については、補助金の減額もあり、今後大きな権利設定が行われる可能性は少ないが、耕作が困難な事例については、中間管理事業を活用するとともに、市が行う集積も積極的に活用するようにしていきます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	8 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 多様な農家が共存し、安心して住み暮らせる共同体による農村環境を整備します。								
主管部課	部名	地域振興部				課名	農政課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・農地維持活動 109組織 ・共同活動 108組織 ・長寿命化活動 107組織				・農地維持活動 109組織 ・共同活動 108組織 ・長寿命化活動 107組織			
	経費(千円)	287,177				294,000			
指標名		区分	目標(下段の() 書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
多面的機能支払交付金事業への参加団体数		目標		110	110	110	110	110	110
		実績	—	110	110	110	110	109	
(指標及びR2目標値の設定理由) 市内全域の農地を地域住民が管理していく仕組み 作りのため。		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	99%	
			最終年度	100%	100%	100%	100%	99%	
R元取組状況		多面的機能支払交付金事業において、農地・農業用水等の資源と農村環境の保全活動及び農業用施設の長寿命化のための取り組みとして、農地維持活動109組織、資源向上(共同)活動108組織、資源向上(長寿命化)活動107組織が事業を行いました。							
課題と 今後(R2)の取組		現状、殆どの組織が多面的機能交付金事業に取り組んでいるので、事業完了予定の令和5年度まで維持継続に努めます。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	99%	99%	B：目標を達成		②継続		
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
交付金を活用することによって、農業基盤の長寿命化が図られています。また地域コミュニティの維持においても大きな成果があります。					交付金は地域活動の大きな助けとなっていますので、次期計画においても推進して行きます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	8 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 ★ I C T を利活用した施設園芸の普及に努めます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・大規模農業施設支援事業				・大規模農業施設支援事業			
	経費(千円)	17,095				14,211			
指標名		区分	目標(下段の() 書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★施設園芸新設数【2-48】		目標		1	1	1	1	2	2
		実績	—	1	0	0	0	0	
(指標及びR2目標値の設定理由) 大規模施設園芸の開設数 投資規模(1億円以上の投資)により設定		目標数値 の達成度	単年度	100%	0%	0%	0%	0%	
			最終年度	50%	0%	0%	0%	0%	
R元取組状況	IT技術を活用した施設園芸を目指す生産者への設備補助を行いました。(ただし、投資予定は1億円未満。)								
課題と 今後(R2)の取組	大規模施設園芸のみに拘らず、新技術の裾野を広げていくための取り組みを推進していきます。一方、味に拘り土耕栽培を行ってきた「加西とまと」「加西いちご」等の生産者が加西産農産物のブランドを作り上げてきました。両者のバランスを考えながら相乗効果を出せるような方向性が必要です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	0%	0%	C：目標を下回っている		②継続		
備考									
兵庫ネクストファームへの施設支援事業の減少によるものです。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
同規模施設の設定については、事業費等の関係で増加は難しいと考えます。現在の施設から独立して加西市で農業を始める人材が誕生することを期待しています。 市内事業者が加工品を開発し、ひょうご五つ星ブランドの認証をとりました。					同規模の施設の設置は困難です。市の支援終了後の運営を注視していきます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	8 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	8 ★「食と農」に関連する分野等の大学のサテライトキャンパスを加西市へ誘致します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	人口増政策課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・誘致協議					—		
	経費(千円)	0					—		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★サテライト機能の具体化(大学数)【3-59】		目標	—	—	—	—	—	1	1
		実績	—	—	—	—	—	0	
(指標及びR2目標値の設定理由) サテライトキャンパス機能を加西市に有する大学数が指標として最適である。		目標数値 の達成度	単年度	—	—	—	—	0%	
			最終年度	—	—	—	—	0%	
R元取組状況		神戸大学大学院農学研究科付属食資源教育研究センターが地元小学校に収穫体験を行ったり、学校給食として柿を提供しています。							
課題と今後(R2)の取組		神戸大学と市との食と農を通じた連携を今後も継続し、また拡大していきたいと考えます。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	0%	0%	D：目標を大きく下回っている	③見直し			
備考									
神戸大や県立大との連携のうえ引き続き検討していきます。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
少子化社会のなか、新たに大学等がサテライトキャンパスを持つことは非常に困難であるため、既にある神戸大学等と連携して何ができるかを考え、実施しました。					現実的に大学等のサテライトキャンパスを誘致するのは難しいため、次期計画では指標を変更し、「食と農」に関する大学等との連携について設定していくべきであると考えます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 地元農産物を食材利用する事業者を支援します。								
主管部課	部名	地域振興部				課名	農政課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・加西ブランド協議会及び加西市観光まちづくり協会と連携した取り組み推進。					・加西ブランド協議会及び加西市観光まちづくり協会と連携した取り組み推進。		
	経費(千円)	10,000					10,000		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★加西産農産物提供店舗数【4-66】		目標		4	15	15	15	20	20
		実績	－	12	12	12	12	12	
(指標及びR2目標値の設定理由) 地元産の食材を使用した加西カレーのPR・販売推進と新たな特産品開発を目標とする。		目標数値の達成度	単年度	300%	80%	80%	80%	60%	
			最終年度	60%	60%	60%	60%	60%	
R元取組状況	市外への販売を進めていくために、ふるさと納税の返礼品に登録。順調に販売されている。								
課題と今後(R2)の取組	加西産農産物を利用している飲食店は数多く存在するはずだが、それを公表、PRに活用している店舗は少ない。観光まちづくり協会との連携を強化して、さらに集客材料となるよう誘導していきたいと考えています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	60%	60%	C：目標を下回っている	②継続			
備考									
令和元年度からは、空がつなぐまち・ひとづくり事業（地方創生推進交付金）を活用し、地元ブランドづくり事業を行う。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
観光まちづくり協会との連携は継続しています。市内販売に加え、ふるさと納税の返礼品としても出荷が増えています。					鶏野関係の補助を活用し、新たな特産品の開発を支援していきます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 地元農産物の学校給食への提供等、地産地消事業を推進します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・教育委員会、生産者間との調整 ・学校における食育授業の推進				・教育委員会、生産者間との調整 ・学校における食育授業の推進			
	経費(千円)	806				1,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市内小中学校における食育授業の時間数 (指標及びR2目標値の設定理由) 現場で体感体験することが食育上最も効果が高いと考える。		目標		10	10	10	10	10	10
		実績	－	10	10	10	16	10	
		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	100%	160%	100%	
			最終年度	100%	100%	100%	160%	100%	
R元取組状況	学校給食にJA直売所会員生産者が栽培した加西産農産物(玉ねぎ、白菜、キャベツ、根日女みどり、アスパラガス等)を12種計9.5tを提供しました。また、食育授業については、今年度より新たに賀茂小学校が加西とまとの収穫体験に取り組んだほか、引き続き神戸大学、JA、地域の農業者等との連携により推進しました。								
課題と今後(R2)の取組	学校給食への食材を安定的に供給できるよう、愛菜館と協調し取り組みます。 食育授業については、教育委員会と調整のうえ環境体験の実施校の増加に努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成		②継続		
備考									
食育に関する関係部局と予算を調整									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
地元農産物の学校給食への使用を推進し、令和元年度においては、平成27年と比較して農産物提供量が約2倍となりました。 食育授業については、地域の農業者、大学との連携により、平成27年度から継続して実施できています。特に、加西とまとの収穫体験においては、実施校が3校から4校へ、協力農家数も4軒から5軒に増加しました。				地元農産物の学校給食の使用を引き続き支援していきます。 食育授業については、希望する小学校で実施できるよう、農家への協力依頼等を行っていきます。					

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 地域ビジネス講座を拡充します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・モノづくりセミナー等 ・国・県・市の支援制度紹介セミナー等 ・補助金申請手続き等 ・創業塾				・モノづくりセミナー等 ・国・県・市の支援制度紹介セミナー等 ・補助金申請手続き等 ・創業塾			
	経費(千円)	1,500				1,500			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
製造品出荷額等(億円)【2-52】		目標		2,420	2,480	2,540	2,600	2,662	2,662
		実績	2,538	2,514	2,516	2,487	2,586	2,948	
(指標及びR2目標値の設定理由) 工業力の指標となる数値で、現状値から10%程度増加を設定。		目標数値の達成度	単年度	104%	101%	98%	99%	111%	
			最終年度	94%	95%	93%	97%	111%	
R元取組状況	商工会議所と連携を図り、商工業の振興と地域経済の活性化を目指して、各種ビジネス講座を開講しました。 新規開拓営業事業セミナー、キャッシュレス決済対応セミナー、業務効率アップセミナー、かさい創業塾、経営計画作成支援、第二創業、金融相談、IT化支援等の専門家派遣を行いました。								
課題と今後(R2)の取組	本事業については、平成29年度から加西商工会議所に設置した加西市産業活性化センターと連携し拡充して実施しています。地域ビジネスのあり方、その必要性について検討し、その時々課題やテーマに即した役立つビジネス講座を開講していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
		②実行中	S：予定より早く進行	111%	111%	B：目標を達成		②継続	
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
商工会議所と連携を図り、新規開拓営業事業セミナー、キャッシュレス決済対応セミナー、業務効率アップセミナー、かさい創業塾、経営計画作成支援、第二創業、金融相談、IT化支援等、社会情勢に対応した施策を実施できている。					産業として成立する事業へまで支援できていない。 ウィズコロナの時代に向け、リモートワークやキャッシュレス決済等に対応した事業展開ができるよう、新たなセミナーや相談対応、支援施策を検討する必要がある。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 加西喝采みやげのブランド化を進め、イベントへの出展や各販売所での販売の促進に努めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・J A Fイベントへの参加 ・加西SAとの連携による商品の出展					・加西喝采みやげを活用できるようPR チラシの作成等 ・加西市内外でのイベントへの参加 ・通年通して販売するみやげの充実		
	経費(千円)	584					500		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①加西商品の販売店舗数		目標		35	37	39	41	43	45
		実績	27	30	30	36	43	59	
(指標及びR2目標値の設定理由) 加西産品を商品・食材として販売し、PRしている小 売店舗数をH32に10店舗増とする。		目標数値 の達成度	単年度	86%	81%	92%	105%	137%	
			最終年度	67%	67%	80%	96%	131%	
②★PRブース年間開設数【3-57】		目標		12	13	14	15	17	17
		実績	—	12	13	13	16	19	
(指標及びR2目標値の設定理由) 物産展に参加し、加西産品を販売した回数をH32 に5回増とする。		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	93%	107%	112%	
			最終年度	71%	76%	76%	94%	112%	
R元取組状況		紫電改実物大模型一般公開時に地元産品の販売を開始。県内外から多数の来場があり採れたて野菜や市民団体の出展がありました。 出展予定をしていたPRブースは、コロナウィルスの影響で2、3月の出店予定がキャンセルとなりました。							
課題と 今後(R2)の取組		新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント減少への対策。また、イベントの形態の変化に対応していきます。 鵜野飛行場跡に來られる方への物販を行います。 喝采みやげの更新と新しい土産物の開発します。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
①	②実行中	S：予定より早く進行	137%	131%	A：目標を上回って達成		②継続		
②	②実行中	S：予定より早く進行	112%	112%					
備考									
R2取組内容・経費修正(市外へ行くだけでなく紫電改一般公開やuzura-noなど市外の方も参加する市内で行うイベントへ来る人に効果的なPR)									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
喝采みやげの選定や発表により、加西土産のPRを開始しました。 ふるさと納税が好調で加西産の商品、取扱店舗が増えました。 市内外の物産展に積極的に参加し加西をPRしました。 鵜野飛行場跡を拠点とした観光PRが始まり、物販を開始しました。					かさい喝采みやげの品数を増やします。 ふるさと納税返礼品と喝采みやげの関連づけます。 人が集まるイベントの変化に対応したPRを実施します。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 ポイントカード事業、ネットモール運営事業を支援します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・ポイントカード事業、住宅リフォーム助成事業、プレミアム付市内商品券事業					・ポイントカード事業、住宅リフォーム助成事業、プレミアム付市内商品券事業		
	経費(千円)	13,000					13,000		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
卸売業・小売業年間販売額(億円)		目標		700	710	720	735	750	750
		実績	493	667	707	732	748	783	
(指標及びR2目標値の設定理由) 商業力の指標となる数値で、年間10億円程度の増加を設定。		目標数値の達成度	単年度	95%	100%	102%	102%	104%	
			最終年度	89%	94%	98%	100%	104%	
R元取組状況	ポイントカードや住宅リフォーム助成事業、市内共通商品券を発行し市内消費の喚起に努めました。								
課題と今後(R2)の取組	ポイントカード事業、住宅リフォーム助成事業やプレミアム付市内商品券事業の支援については、市内商業活性化に寄与していると考えられます。今後は、急速な人口減少により縮小するマーケットを補完するため、さらに効果的な事業運営を図ります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	104%	104%	B：目標を達成		②継続		
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
ポイント事業、共通商品券事業を定期的に実施し、市内商業の活性化を図りつつ、商工事業者支援を実施している。ネットモールはハードルが高い。個店ごとの温度差がある。					商品券事業は、おおむね好評であるが、利用者の年齢層は比較的高い傾向にある。 従来の商品券事業に加え、キャッシュレス決済や携帯アプリを活用したポイント還元事業等を検討し、新しい生活様式に対応した経済活性施策を検討する必要がある。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 中小企業事業資金融資制度の見直しと拡充を行います。								
主管部課	部名	地域振興部				課名	産業振興課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R 2 (予算額 (補正含む))		
	取組内容	・中小企業事業資金融資制度 ・保証料負担 ・利子補給					・中小企業事業資金融資制度 ・保証料負担 ・利子補給		
	経費 (千円)	205,358					218,908		
指標名		区分	目標 (下段の () 書きは、変更前の数値) ・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★製造品出荷額等 (億円) 【4-67】		目標		2,420	2,480	2,540	2,600	2,662	2,662
		実績	2,538	2,514	2,516	2,487	2,586	2,948	
(指標及びR2目標値の設定理由) 工業力の指標となる数値で、現状値から10%程度増加を設定。		目標数値 の達成度	単年度	104%	101%	98%	99%	111%	
			最終年度	94%	95%	93%	97%	111%	
R元取組状況	中小企業制度融資について、中小企業支援対策として市が0.4%を利子補給した。また信用保証協会保証料の20%を市が負担しました。令和元年度の中小企業事業資金融資の状況は、実行融資額27件・124,410千円。コロナウイルス感染症の拡大に伴い、セーフティネット保証制度による中小企業信用保険法第2条第5項に規定する4号認定を8件 (うち、コロナ関連 8件) 、5号認定を7件 (うち、コロナ関連 6件) 行いました。								
課題と 今後(R2)の取組	中小企業制度融資を改正し令和元年度から、利子補給を廃止し、限度額を2,000万円、保証料補助の補助率を2分の1に拡充しました。また、創業者への支援として、創業支援資金等保証料補給金交付制度を新設しました。また、3月よりコロナウイルス感染症対策の融資に対して、保証料を全額補助する制度を新設しました。今後も金融機関と調整会議を開催し、ニーズ把握を行い、適切に効果的な支援を行えるよう努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	111%	111%	A：目標を上回って達成		③見直し		
備考									
平成29年度の融資実績からH30年度当初予算要求額を試算するため減額しました。 ※実績値は推定値のため、実績値を把握次第修正します。 平成30年度の融資実績からR元年度当初予算要求額を試算しました。 令和元年度の融資実績から令和2年度の当初予算要求を試算しました。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
令和元年度に制度改正をし一定の成果を得た。 コロナウイルス感染症の拡大に伴い、中小企業の運転資金などの融資に対し、融資保証料全額補助を緊急的に実施し、中小企業の急激な経営状況悪化に対する支援を行った。					コロナウイルス感染症による企業の業績落ち込みを融資により支援する。終息後に企業活動が正常化するまでの対策が必要 サービス業、小売業等については、消費喚起等による経済対策を合わせて実施することが必要と考える。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 地元企業も進出しやすい新規産業団地を整備するとともに、市内企業の拡張の支援に努めます。								
主管部課	部名	都市整備部				課名	都市計画課、開発推進課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	(新産業団地関係) ・各種法令手続き許認可 ・用地取得 ・工事着手 (市内企業の拡張の支援) ・特別指定区域制度及び地区計画制度の活用				(新産業団地関係) ・1-2工区の造成工事 ・工事監理 ・調査設計			
	経費(千円)	1,113,000				1,781,833			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★市内総生産(名目)【2-39、4-68】		目標		1,931	1,940	1,950	1,960	1,980	1,980
		実績	1,823	1,770	1,925	2,128	2,103	未発表	
(指標及びR2目標値の設定理由) H23年度の1,796億円から10年間で10%増を目 安として設定		目標数値 の達成度	単年度	92%	99%	109%	107%		
			最終年度	89%	97%	107%	106%		
R元取組状況	(新産業団地関係)・・【開発推進課】 (市内企業の拡張の支援) ・令和2年度末の区域区分の変更(市街化区域の編入)を目標としている「鵜野飛行場跡地東部産業拠点地区」や、事業用地を拡張する「加西工業団地」、「加西東産業団地」の区域区分の変更(市街化区域の拡張)の手続きを進めました。 ・市街化調整区域である「東高室地区」において、商業施設の誘致を図るため地区計画を策定しました。 ・市街化区域である「中野・下宮木地区」において、用途地域の変更を行い、地元まちづくり協議会・市・事業者が協働し、第一目標である商業施設の進出内定が実現しました。 ・1-2工区及び1-1工区の一部の用地取得を行いました。 ・第1期事業の優先交渉事業者の募集を行い、そのうち1-2工区について、優先交渉事業者と用地売買契約を行いました。 ・各種法令手続き(農地転用許可、開発許可)を行いました。 ・1-2工区において埋蔵文化財発掘調査を行い、造成工事に着手しました。								
課題と 今後(R2)の取組	(新産業団地関係)・・【開発推進課】 (市内企業の拡張の支援) ・特別指定区域制度及び地区計画制度を活用し、地域の実情に沿った都市計画制度を選択し、市内企業の拡張等の規制緩和を推進します。 ・「鵜野飛行場跡地東部産業拠点地区」において、総合的なまちづくりを恒久的に行うため、区域区分の変更(市街化区域編入)を行います。 ・1-2工区の造成工事を完了し、進出企業への引き渡しを行います。 ・残りの1期事業対象地内の土地所有者の合意形成を図るとともに、引き続き企業誘致活動を行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	未発表			B: 目標を達成			②継続	
備考									

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策	
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	9 地域資源を活用した産業振興
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。
次期総合計画策定に向けた総括	
現行計画の実施内容と成果	残された課題・新たな課題と次期計画の方向性
（新産業団地関係）・・【開発推進課】 （市内企業の拡張の支援） ・市街化調整区域である「東高室地区」外7地区において、地区計画を定め、地域の実情に沿った規制緩和を実現させることができました。 ・市街化区域である「中野・下宮木地区」、「横尾南部地区」において、用途地域の変更を行い、商業施設の進出内定が実現しました。 ・平成28年度より、地元の合意形成及び関係機関との協議を開始しました。 ・平成30年度に設計に着手し、農振法・都市計画法等の法令手続きを経て、令和元年度より用地取得・優先交渉事業者と用地売買契約を行い、造成工事着手と第1期事業分のスタートをきることができました。	（新産業団地関係）・・【開発推進課】 （市内企業の拡張の支援） ・既に産業施設が立地し宅地化が進んでいる地区や、具体的な事業実施を計画している区域について、市街化区域への編入を検討します。 ・特別指定区域制度及び地区計画制度を活用し、地域の実情に沿った都市計画制度を選択し、市内企業の拡張等の規制緩和を推進します。 ・残りの第1期事業対象地内の土地所有者の合意形成を図るとともに、引き続き企業誘致活動を行うことにより、第1期事業の早期完了を目指します。

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	8 宿泊施設の充実とホテルの誘致を推進します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	—				—			
	経費(千円)	—				—			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★ホテル設置数		目標		—	—	1	1	1	1
		実績	—	—	—	0	1	1	
(指標及びR2目標値の設定理由)		目標数値の達成度	単年度	—	—	0%	100%	100%	
宿泊施設誘致による市内へのホテル設置数。1カ所を目標に設定。			最終年度	—	—	0%	100%	100%	
R元取組状況	ルートイン加西 北条の宿がH30年12月に開業。客室150室。								
課題と今後(R2)の取組	—								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	③完了	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成		①完了		
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
市が誘致したビジネスホテル「ルートイン加西 北条の宿」がH30年12月オープン以来、宿泊稼働率80%を超えており、ほぼ満室状態で大変好調である。				ビジネス目的、観光目的の来訪者が増加し、さらなる街の賑わいの創出が図られると考えている。これを機会として、地域経済の循環と持続性を高めるため、商業における事業環境の整備や地域課題の解決に向けたさらなる取り組みの支援を図る。					

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	9 ★魅力ある商業施設の誘致を図ります。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・商業施設誘致についての調査研究					・商業施設誘致についての調査研究		
	経費(千円)	0					0		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★卸売業・小売業年間販売額(億円)【3-56】		目標		700	710	720	735	750	750
		実績	493	667	707	732	748	783	
(指標及びR2目標値の設定理由) 商業力の指標となる数値で、年間10億円程度の増加を設定。		目標数値 の達成度	単年度	95%	100%	102%	102%	104%	
			最終年度	89%	94%	98%	100%	104%	
R元取組状況	事例集や事業者へのヒアリングを行うなど、商業施設誘致についての調査・研究を行いました。 中野地区の開発造成に伴い、複合商業施設が令和2年度春にオープン予定。								
課題と 今後(R2)の取組	引き続き、調査・研究を行い、商業施設の誘致を図ります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	104%	104%	B：目標を達成		①完了		
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
都市計画課との連携により中野町への商業施設誘致に成功。 引き続き西高室地区への商業施設誘致を進めていく。					複合商業施設の整備に伴い、近隣の住宅用地の供給が促進されるよう取り組む。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 新卒者等若者へ多様な媒体を通じて魅力ある市内企業就職情報を提供します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・大学訪問 ・加西市就職ナビ ・合同就職面接会 ・加西企業ガイドブックFit in ・インターンシップ雇用促進モデル事業				・大学訪問 ・加西市就職ナビ ・合同就職面接会 ・加西企業ガイドブックFit in			
	経費(千円)	2,590				1,800			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①若者の加西市残存定住率		目標		73	75	76	77	80	80
		実績	73	74	74	75	78	78	
(指標及びR2目標値の設定理由) 大学就学前の若者が10年後に加西市に残存する率。年間1%の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	101%	99%	99%	101%	98%	
			最終年度	93%	93%	94%	98%	98%	
②★勤労者の定住促進による市内事業所従業員市内居住率(%)【2-37】		目標		42	43	44	46	50	50
		実績	—	41	42	42	38	37	
(指標及びR2目標値の設定理由) 市内事業所で働く従業員が市内に居住する割合。年間2%の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	98%	98%	95%	83%	74%	
			最終年度	82%	84%	84%	76%	74%	
R元取組状況	兵庫労働局との雇用対策協定のもと、関係機関と連携して若者への就職支援に取り組みました。 兵庫県、大阪府、岡山県、鳥取県の兵庫県出身者の多い16大学を訪問し、Uターン、Iターンの推進に努めました。 加西市雇用開発福祉協議会、ハローワーク西脇と連携を図り、合同就職面接会を開催しました。 加西市雇用開発福祉協議会と連携を図り、就職ポータルサイトに市内の企業情報や採用情報を掲載しました。								
課題と今後(R2)の取組	全国的な人手不足により、地方の中小企業の人材確保が厳しい状況にあります。大学訪問や様々な媒体による市内企業のPRに努めています。また、ハローワーク西脇と協力して、加西市内で保育分野、介護分野の就職面接会(説明会)を実施します。 令和元年から、インターンシップ雇用促進モデル事業を始め、地方の大学生がUJIターンによる就職を考える機会を設けます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
①	②実行中	B：予定より遅延	98%	98%	B：目標を達成		③見直し		
②	②実行中	B：予定より遅延	74%	74%					
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
商工会議所と連携して、大学訪問を定期的実施し、令和元年度は、鳥取大学と連携して、インターンシップ雇用促進モデル事業を実施し、UJIターンの促進に取り組んだ。 また、高校生向けに職業講和を実施し、職業意識を醸成するとともに、地元企業の認知度の向上を図った。					雇用環境や若年者の生活様式や人生観の変化により就職活動の形態も変化している。ウィズコロナの時代に向けて、WEBサイトやICTを活用した採用活動を支援していく必要がある。リモート面接などの実施に伴う機材や技術の支援を行うなど、時代に合った就業支援を進めていかなければならない。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 働きたい仕事が見つかるよう求人情報を通勤手段別に整理し、情報量や提供範囲を広げて利用機会を高めます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・ふるさと就職支援事業 ・ふるさとハローワーク運営 ・就職支援セミナーの実施 ・企業訪問事業 ・SNSによる情報発信				・ふるさと就職支援事業 ・ふるさとハローワーク運営 ・就職支援セミナーの実施 ・企業訪問事業 ・SNSによる情報発信 ・地域若者サポートステーション事業			
	経費(千円)	9,588				14,777			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
ふるさとハローワークにおける就職者数		目標		568	620	640	660	680	700
		実績	—	600	506	565	479	463	
(指標及びR2目標値の設定理由) ふるさとハローワークからの紹介による就職者数。年間20名の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	106%	82%	88%	73%	68%	
			最終年度	86%	72%	81%	68%	66%	
R元取組状況	兵庫労働局との雇用対策協定のもと、求職者の就職支援に取り組みました。 小学生の親子を対象に夏休み産業観光ツアーを開催し、子どもたちに「市内のモノづくり優良企業」への興味や関心を高めてもらい、将来の加西への定住促進を図りました。 ふるさとハローワークを運営し、市民の就職の促進と生活の安定を図りました。また、就労支援員による相談を実施しました。 利用者と就職件数の増加を目指して、就職支援セミナーを月1回開催しました。								
課題と今後(R2)の取組	全国的に求職者が減少しており、それに伴いふるさとハローワークの来所者が減少しました。インターネットによる求人サイトも増え、主に若者が、求職活動の際にハローワークの窓口を利用しなくなる事が想定されます。 現在実施しているSNSによる情報発信や、区長発送での事業の案内等に加え、労働局主導でハローワークのシステム改築を行い、窓口利用に限らない就職活動を進めます。また、利用者に適したマッチングや就職支援セミナーの充実を図り、就職者の増を目指します。さらに、ハローワーク西脇と連携して、市内事業所を対象としたミニ就職面接会を2か月に1回程度開催し、マッチングの機会増に努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	68%	66%	B：目標を達成		②継続		
備考									
会計年度任用職員への移行に伴う人件費の増のため 地域若者サポートステーション事業の拡充による増額のため									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
ふるさとハローワーク業務の拡充を図った。 若者サポートステーション事業を拡充し、就職氷河期世代への対応を含めた支援を行い、より広範囲に支援できる体制を整えた。 加西商工会議所と連携事業を進めることができた。					都市部から地方への流れをつかむ施策を取り組む。 UJIターンの流れをつかみ、若年者の地方回帰を進めていく。 遠方に在住の加西市出身の学生や若者が加西市内の就職情報を得る手段を拡充し、就業機会を増やすための情報発信を検討する。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 若者が働きたくなる産業の創出、誘致を推進します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・新規採用等雇用現況調査 ・各産業(工業)団地連絡協議会への参加 ・商工会議所と連携し、若者が働きたくなるような産業創出を検討					・新規採用等雇用現況調査 ・各産業(工業)団地連絡協議会への参加 ・商工会議所と連携し、若者が働きたくなるような産業創出を検討		
	経費(千円)	53					59		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①市内企業における住民就労率(%)		目標		35	36	37	38	39	40
		実績	30	36	37	39	30	30	
(指標及びR2目標値の設定理由) 市内産業団地において就労する市民の割合を示す数値で、年間1%の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	103%	103%	105%	79%	77%	
			最終年度	90%	93%	98%	75%	75%	
②★若者就職支援事業による市内事業所従業員 市内居住率(%)【2-34】		目標		42	43	44	46	50	50
		実績	—	41	42	42	38	37	
(指標及びR2目標値の設定理由) 市内事業所において就労する市民の割合を示す数値で、年間2%の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	98%	98%	95%	83%	74%	
			最終年度	82%	84%	84%	76%	74%	
R元取組状況	産業(工業)団地を含む市内企業を対象に雇用アンケート調査を行い、若年者の新規雇用の状況及び就業形態、労働者の居住地域などの分析を行います。また県土地開発公社や商工会議所、各産業(工業)団地連絡協議会と連携を図りました。市内雇用を高めるため、各産業(工業)団地や市内企業に対して積極的に住民採用を働きかけました。								
課題と今後(R2)の取組	アンケートの調査結果を分析し、新たな定住促進施策を立案していく必要があります。また、施策立案に当たっては、産業(工業)団地連絡協議会と連携を図り、様々なニーズ調査等を行う必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
①	②実行中	B：予定より遅延	77%	75%	C：目標を下回っている		②継続		
②	②実行中	B：予定より遅延	74%	74%					
備考									
郵便料金改定による増のため									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
アンケート調査を実施し、若年就労者へ市内事業所への就労意欲の増進に努めた。					事業所のICT化はもとより若年就労者へアピールできるIT関連事業所の誘致を進める必要がある。また、情報環境の整備を行い、リモートワークや在宅ワークに対応した仕事環境づくりを促進する。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 ハローワークとの連携を強化し、再就職をめざす女性に情報提供や再就職講座を実施します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・就職支援セミナーの定期開催 ・子育て女性向けセミナーの開催 ・雇用対策協定運営協議会、ふるさとハローワーク担当者会の活用 ・子育てママ就職支援補助制度				・就職支援セミナーの定期開催 ・子育て女性向けセミナーの開催 ・雇用対策協定運営協議会、ふるさとハローワーク担当者会の活用 ・子育てママ就職支援補助制度			
	経費(千円)	900				700			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★就職支援助成年間件数【2-38】		目標		1	2	4	6	10	10
		実績	－	1	0	0	0	0	
(指標及びR2目標値の設定理由) 再就職をめざす女性の講座受講を示す数値で、年間2件の増加を目標設定。		目標数値 の達成度	単年度	100%	0%	0%	0%	0%	
			最終年度	10%	0%	0%	0%	0%	
R元取組状況	兵庫労働局と雇用対策協定を締結し、女性の再就職支援に取り組みました。 求職者に対する就職支援セミナーを月1回開催するとともに、保険・税金の仕組みに関するセミナー等の女性を対象としたセミナーを2回開催しました。 出産や子育てのために就業していない女性が就職のために受講する講座の経費の一部を助成する子育てママ就職支援補助制度を実施しました。								
課題と 今後(R2)の取組	関係機関との連携により、さらに女性の再就職支援に取り組んでいきます。 子育てママ就職支援補助制度の利用を図るため、平成31年4月1日から、助成対象者の拡大を図りました。また、市内小中学校へのチラシ配布等、積極的な制度の周知に努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	0%	0%	C：目標を下回っている		③見直し		
備考									
就職支援セミナー講師料および子育てママ就職支援事業の減額のため									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
就職支援セミナーの定期開催や子育て女性向けセミナーの開催、雇用対策協定運営協議会等の取組について、計画通り進めることができた。					女性就業に向けたニーズが取り込めておらず、雇用不足を補うための女性の社会進出に向けた取り組みが不足している。 子育てママ就職支援補助制度については、使いやすい制度にするなど制度の見直しが必要と考える。 国全体にもそうであるが市内にも推進役が必要と考える。(女性地位の向上全般について)				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 ★市内企業への高校生の就職を支援します。								
主管部課	部名	地域振興部				課名	産業振興課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・企業訪問 ・ハローワーク等の関係機関の連携 ・市内県立高校での職業講話					・企業訪問 ・ハローワーク等の関係機関の連携 ・市内県立高校での職業講話		
	経費(千円)	0					0		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★市内事業所高校新卒正規社員年間採用者数【2-32】		目標		71	75	80	85	100	100
		実績	-	-	72	70	91	73	
(指標及びR2目標値の設定理由) 市内事業所による高校生採用人数を示す数値で、年間5名の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	-	96%	88%	107%	73%	
			最終年度	-	72%	70%	91%	73%	
R元取組状況	兵庫労働局との雇用対策協定のもと、高校生を含む若者の就職支援を行いました。 高校生の職業意識の醸成を図るため、市内県立高校2校の高校2年生を対象に職業講話を実施しました。								
課題と今後(R2)の取組	関係機関と連携し、さらに高校生の就職支援に取り組みます。 加西市企業ガイドブックFIT IN等を活用し、高校生に対して市内企業情報の提供を行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	73%	73%	B：目標を達成		②継続		
備考									
雇用対策協定に伴う事業追加									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
市内高校生への職業講話を初めて実施し、職業意識の醸成を図るとともに、地元企業の紹介と魅力の発信を行った。					就職支援は市の魅力そのものによるところが大きい。 市の魅力発信を継続的に進めるべき。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★働く女性の雇用を推進します。								
主管部課	部名	地域振興部				課名	産業振興課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・就職支援セミナーの定期開催 ・子育て女性向けセミナーの開催 ・雇用対策協定運営協議会、ふるさとハローワーク担当者の活用 ・子育てママ就職支援補助制度 ・助成制度の検討				・就職支援セミナーの定期開催 ・子育て女性向けセミナーの開催 ・雇用対策協定運営協議会、ふるさとハローワーク担当者の活用 ・子育てママ就職支援補助制度 ・助成制度の検討			
	経費(千円)	900				700			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★市内事業所女性従業員正社員率(%)【2-33】		目標		43	43	45	47	50	50
		実績	—	41	46	46	45	46	
(指標及びR2目標値の設定理由) 市内事業所に勤務する女性従業員のうち正社員の割合。年間2%の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	95%	107%	102%	96%	92%	
			最終年度	82%	92%	92%	90%	92%	
R元取組状況	兵庫労働局と雇用対策協定を締結し、女性の再就職支援に取り組みました。 求職者に対する就職支援セミナーを月1回開催するとともに、保険・税金の仕組みに関するセミナー等の女性を対象としたセミナーを2回開催しました。 出産や子育てのために就業していない女性が就職のために受講する講座の経費の一部を助成する子育てママ就職支援補助制度を実施しました。								
課題と今後(R2)の取組	関係機関との連携により、さらに女性の再就職支援に取り組んでいきます。 子育てママ就職支援補助制度の利用を図るため、平成31年4月1日から、助成対象者の拡大を図りました。また、市内小中学校へのチラシ配布等、積極的な制度の周知に努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	92%	92%	B：目標を達成			②継続	
備考									
就職支援セミナー講師料および子育てママ就職支援事業の減額のため									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
就職支援セミナーの定期開催や子育て女性向けセミナーの開催、雇用対策協定運営協議会等の取組について、計画通り進めることができた。 補助制度については拡充が必要です。					女性就業に向けたニーズが取り込めていない。 国全体の取り組みとして、企業に働きかけが必要 雇用不足を補うための女性の社会進出に向けた取り組みは不足している。 子育てママ就職支援補助制度については、使いやすい制度にするなど制度の見直しが必要と考える。 国全体にもそうであるが庁内にも推進役が必要と考える。(女性地位の向上全般について)				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 ★返還している奨学金への助成により、U J I ターンによる定住を促進します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	人口増政策課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・Uターン等により加西市に定住している者が返還した奨学金の1/3を補助					・Uターン等により加西市に定住している者が返還した奨学金の1/3を補助		
	経費(千円)	9,745					13,000		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★U J I ターン者数【2-36】		目標		123	170	228	288	350	410
		実績	－	123	158	198	231	185	
(指標及びR2目標値の設定理由) 「UJIターン促進補助金」の交付を受けたUJIターン者を指標とし、年間60名程度の増加を想定。		目標数値の達成度	単年度	100%	93%	87%	80%	53%	
			最終年度	30%	39%	48%	56%	45%	
R元取組状況	令和元年度は、継続申請者数が131人、新規申請者数が54人、合計185人のUJIターン者に対し当該補助金を交付しました。								
課題と今後(R2)の取組	大学進学者の半数以上が奨学金の貸与を受けており、その返還問題が社会的に大きく取り上げられている状況の中、今後もその返還を支援することによりUJIターンを促進する必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	53%	45%	B：目標を達成		②継続		
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
加西市では子育て支援等、他の若者支援施策の充実が図られていることや、近年の加西市の財政状況等を踏まえ、令和元年度より所得制限を設けました。 所得制限を設けることにより、所得の低い若者世代に対してより長く支援できる制度となりました。					毎年50人程度の新規申請者が増えており、加西市のUJIターン者への支援策として一定の効果がみられるため、今後も継続して実施します。また、市内出身者だけでなく、市外や県外の方に向けた情報発信を強化し、新規申請者を増やすための取り組みも検討する必要があります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	8 ★若者の夢の実現や地域活性化、定住促進を図るための支援に努めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課、文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・若者チャレンジ事業				・②街角コンサート事業			
	経費(千円)	205				300			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①★若者チャレンジ事業助成制度による支援年間件数【2-41】		目標		5	5	5	5	5	5
		実績	－	5	5	7	2	1	
(指標及びR2目標値の設定理由) 若者事業予算に即して5とする。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	140%	40%	20%	
			最終年度	100%	100%	140%	40%	20%	
②コンサート等の入場者数		目標		－	500	900	1,110	1,110	1,110
		実績	－	－	508	692	730	500	
(指標及びR2目標値の設定理由) はりま縁の芸術家の育成と芸術文化鑑賞機会の創出のため、はりま縁の人による芸術文化イベントへの入場者数を3年間で1000人増を目指す。		目標数値の達成度	単年度	－	102%	77%	66%	45%	
			最終年度	－	46%	62%	66%	45%	
R元取組状況	①若者チャレンジ事業助成金について、広報・ホームページ・チラシで配布、周知しました。 ②年度途中で、図書館隣接のオープンスペースでのコンサート実施について、音に対する苦情があり、会場を主に多目的ホールとしたことと、年度末の新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、最大規模のスプリングコンサートを中止としたことで、入場者が大きく減っています。								
課題と今後(R2)の取組	①助成することにより若者がチャレンジでき、地域が盛り上がるよう、広報・ちらし・SNSなどで今後も周知していきます。 ②感染症拡大防止のためにも、オープンスペースでのコンサート実施に向けて図書館との調整を行い、早期復活を目指します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
①	②実行中	B：予定より遅延	20%	20%	C：目標を下回っている		②継続		
②	②実行中	B：予定より遅延	45%	45%					
備考									
若手音楽家によるコンサートの開催については、文化観光スポーツ課で芸術の振興を支援する。									
R2取組内容追加、経費修正									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
①若者チャレンジ助成金により、これまで20団体による地域活動が行われています。若者自らが地域の課題解決に取り組むことにより、地域活性化が図られるとともに、今後の当市を引っ張っていくリーダーの育成にも繋がっていると考えています。 ②播磨緑の若手音楽家に観客と触れ合える演奏の場を提供すると同時に、市民にも気軽に生の音楽を聴くことができ、双方にとって貴重な経験の場となっている。					①今後も助成することにより若者がチャレンジでき、地域活性化が図られているので、支援件数を増やしていけるような様々な機会でご広報し、今後も継続していきます。 ②出演者の意欲向上にも貢献できるよう、新たな来場者勧誘に向けて、様々な媒体での周知に努める。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	9 ★若者等の起業支援や後継者育成のための支援に努めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	ふるさと創造課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・若者起業調査助成事業					・若者起業調査助成事業		
	経費(千円)	0					300		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★若者起業支援年間件数【2-42】		目標		4	5	5	5	5	5
		実績	—	4	1	1	1	0	
(指標及びR2目標値の設定理由) 予算・人員に伴い、全体で5件程度が限界であるため。		目標数値 の達成度	単年度	100%	20%	20%	20%	0%	
			最終年度	80%	20%	20%	20%	0%	
R元取組状況	若者起業調査助成金について、ホームページや広報等で周知しました。								
課題と 今後(R2)の取組	令和元年度は申請がなかったため、様々な機会でアピールして、若者の起業支援を行っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	0%	0%	C：目標を下回っている			③見直し	
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
若者起業調査助成金を活用し、市場調査を行うことにより、起業に結びついている。若者の起業を促進することで、市内の経済の活性化及び雇用の確保につながっています。					産業振興課で創業支援を行っており、起業前から起業にあたる窓口をひとつにする必要があると考えます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	10 ★創業希望者に対する支援体制を構築します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・ワンストップ相談窓口 ・かさい創業塾 ・創業支援相談窓口 ・創業支援施策の調査研究 ・産業活性化センター事業				・ワンストップ相談窓口 ・かさい創業塾 ・創業支援相談窓口 ・創業支援施策の調査研究 ・産業活性化センター事業			
	経費(千円)	4,000				4,120			
指標名		区分	目標(下段の() 書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★年間創業者数【2-45】		目標		3	5	5	7	7	7
		実績	－	5	5	6	12	7	
(指標及びR2目標値の設定理由) 創業支援事業を受けて創業した人数で、最終年度に年間7名(倍増)の創業を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	167%	100%	120%	171%	100%	
			最終年度	71%	71%	86%	171%	100%	
R元取組状況	産業競争力強化法に基づく創業支援計画により、ワンストップ相談窓口(産業振興課)、かさい創業塾(加西商工会議所)、創業支援相談窓口(加西商工会議所)等の創業希望者に対する支援を行った。								
課題と今後(R2)の取組	平成29年度から加西商工会議所に設置した加西市産業活性化センターの事業の一つとして、さらなる創業の促進を図るため、創業者向けの支援の充実を図っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成		②継続		
備考									
令和2年度当初予算において、ワンストップ相談窓口の専門相談員の報償費を要求したため増額しました。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
産業振興課が窓口となってワンストップで支援を行っている。また、商工会議所と連携し、互いに情報共有できている。かさい創業塾や専門的な個別相談を行うなどし、継続的な支援をしている。					需要をつかみきれない。専門性が必要であり知識が不足している。 空き店舗活用による創業支援があるが、空き店舗でない場合は補助対象とならない。空き家活用や在宅、リモートワークによる開業創業も視野に入れ、有効な支援策を再度検討する必要がある。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	11 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 地域文化財保存会や研究会等の団体による歴史文化遺産を継承・活用する活動を支援します。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	生涯学習課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・文化財等看板設置					・文化財等看板設置		
	経費(千円)	265					300		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
文化財の新規指定・登録件数		目標		10	11	12	13	14	15
		実績	5	8	17	17	28	33	
(指標及びR2目標値の設定理由) H32までに3倍増の累計15件を指定する。		目標数値 の達成度	単年度	80%	155%	142%	215%	236%	
			最終年度	53%	113%	113%	187%	220%	
R元取組状況	市指定文化財として3物件を新指定しました。 県指定文化財として1件が指定され、県登録として1件が登録されました。 文化財説明看板1基を新設し、玉丘史跡公園の看板1件を修繕しました。								
課題と 今後(R2)の取組	新たに指定された文化財の説明看板を設置する等、継承・活用の取り組みを進めていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	236%	220%	S：目標を大きく上回って達成		②継続		
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
継続的に市指定文化財を増やし、重要な文化財は県指定に格上げされました。併せて、新指定物件等には適宜説明看板を設置するなど、目に見える形で「地域の宝」を周知しました。 また、地域の保存活動が認められ、青野原俘虜収容所将校用風呂棟が兵庫県初の近代戦争遺産として県登録文化財に登録されました。					令和元年度に作成した「加西市文化財保存活用地域計画」（令和2年度文化庁認定予定）に基づき、令和3年度より包括的な文化財保存と活用、継承支援を進めていきます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	11 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 ★歴史文化基本構想を策定し、歴史文化を活かしたまちづくりと観光資源化を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	生涯学習課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・「文化財保存活用地域計画」の策定 ・歴史文化遺産の調査					・「文化財保存活用地域計画」の国認定申請 ・歴史文化遺産の調査		
	経費(千円)	5,725					173		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★歴史文化遺産の調査		目標		0	10	15	18	20	20
		実績	-	-	27	32	34	36	
(指標及びR2目標値の設定理由) 歴史文化遺産20件の調査を実施する		目標数値の達成度	単年度	-	270%	213%	189%	180%	
			最終年度	-	135%	160%	170%	180%	
R元取組状況	「加西市文化財保存活用地域計画」を作成しました。併せて、計画を推進検証する機関として『加西市文化財保存活用地域計画協議会』を設置しました。 大信寺の庫裏の測量調査、五百羅漢石仏3体のレーザー測量調査を実施しました。								
課題と今後(R2)の取組	作成した地域計画を法定計画とするため、国へ認定申請を行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	180%	180%	B：目標を達成			②継続	
備考									
平成30年度の文化財保護法の改正に伴い、平成29年度に策定した「加西市歴史文化基本構想」を、文化庁の推奨に従い「文化財保存活用地域計画」へグレードアップします。R2年度に国に計画の認定申請を行います。計画が認定を受けることで、文化庁国庫補助金等の優遇を受けることができます。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
平成29年度に「加西市歴史文化基本構想」の策定、令和元年度に「加西市文化財保存活用地域計画」の作成と協議会の設置、令和2年度には法定計画に向けた国への認定申請と、歴史文化遺産を活かしたまちづくりの枠組みが出来上がっています。					計画開始年度となる令和3年度から、地域計画に基づき事業を実施していきますが、行政・市民・団体の三者がいかに協働して進めていけるかが課題です。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	11 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 ツーリズムによる地域資源をつなげる観光ツアーや着地型のふるさと再発見ツアーを実施し、市内外に魅力を情報発信します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・ハイキングなど企画・開催（加西市歴史街道ボランティアガイドらと共催） ・FaceBookとInstagramで加西の旬な情報を発信 ・鶺野飛行場跡への観光バスツアー助成拡充					・ハイキングなど企画・開催（加西市歴史街道ボランティアガイドらと共催） ・FaceBookとInstagramで加西の旬な情報を発信 ・飛行場跡地周辺の情報発信 ・宿泊を伴った加西への観光開発 ・バス助成		
	経費（千円）	1,550					5,500		
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①観光まちづくり協会と連携する観光ツアー等の参加者数		目標		2,000	2,200	2,400	2,600	2,800	3,000
		実績	1,450	1,990	2,146	2,008	2,666	1529	
(指標及びR2目標値の設定理由) H32の参加者数を1000人増の3000人を想定		目標数値の達成度	単年度	100%	98%	84%	103%	55%	
			最終年度	66%	72%	67%	89%	51%	
②★フェイスブック「いいね！」件数【3-58】		目標		736	1,100	1,200	1,800 (1,300)	1,900 (1,400)	2,000 (1,500)
		実績	－	1,011	1,434	1,588	1,761	1,969	
(指標及びR2目標値の設定理由) H32の目標値をH27に達成したため、倍増の目標に変更する		目標数値の達成度	単年度	137%	130%	132%	98%	104%	
			最終年度	51%	72%	79%	88%	98%	
R元取組状況	年間を通してハイキングを実施（共催を含む）。多数の参加があり、複数回参加もありました。 バス助成を、単価を上げて鶺野飛行場跡地へ行くようにしたが、利用数が減少しました。 SNSを活用した情報発信を実施。外国人の誘客に向けて多言語での掲載も実施しました。 鶺野飛行場跡へのモニターツアーやバスツアーを実施し、多くの来場がありました。								
課題と今後(R2)の取組	観光ガイドを有料化します。後継ガイドを育成します。SNSのフォロワー数を増やします。 加西で宿泊をするツアーを実施し、経済効果を生み出します。 観光が大きく変化するのに対応した助成制度を構築します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
①	②実行中	B：予定より遅延	55%	51%	C：目標を下回っている		②継続		
②	②実行中	S：予定より早く進行	104%	98%					
備考									
R2取組内容追加、経費修正									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
SNSを使った加西ファンの獲得に成功しました。 ハイキングやバスツアーを実施することで加西のいいところに触れてもらえる機会をつくりました。 鶺野飛行場跡を観光拠点としていく基礎を作り始めました。					宿泊を伴うツアーを実施します。 加西での飲食を伴うツアーを構築します。 鶺野飛行場跡の情報発信を行い、見学旅行の誘致を行います。 利用しやすい助成制度を構築します。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	11 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 特色ある観光サービスを推進し、住民との協働により観光推進基本計画による事業展開を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・物産展等での加西喝采みやげブースの出展 ・イベントなど鶺野飛行場跡地周辺を活用するオープン会議の開催 ・鶺野飛行場跡地を活用したツアー構築等					・鶺野飛行場跡地を活用したツアー構築等		
	経費(千円)	5,567					5,300		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
加西喝采ブランド品数		目標		30	30	30	35	35	35
		実績	－	30	30	30	30	30	
(指標及びR2目標値の設定理由) 加西喝采みやげ数を増やすため現状の30品をH32に35品に増やします。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	86%	86%	
			最終年度	86%	86%	86%	86%	86%	
R元取組状況	鶺野飛行場跡で喝采みやげの物販を実施しました。 鶺野飛行場との魅力を多角的に発信しました。(アニメ巻末への鶺野飛行場跡の掲載・モニターツアーの実施・アートイベント・動画制作) 観光まちづくり協会HPに鶺野飛行場跡のページを作成しました。								
課題と今後(R2)の取組	鶺野飛行跡の魅力の多角的な発信を継続します。戦争に興味の少ない方たちが鶺野を訪れるような企画を実施します。 鶺野にある戦争遺跡のプロモーションをします。 市民をまきこんだ鶺野飛行場跡の観光地化を継続します。 喝采みやげの商品の更新と追加をします。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	86%	86%	C：目標を下回っている		②継続		
備考									
R2経費修正 (R1から鶺野飛行場跡地周辺の観光活用を推進していく) 鶺野飛行場跡でのイベント等への助成金事業									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
加西喝采みやげのPRしました。 鶺野飛行場跡地のPRしました。 鶺野飛行場跡地を使ったイベントを開催しました。 市民団体が鶺野飛行場跡地を活用したイベントへの補助金を交付し、活性化を図りました。					周遊・滞在ができる観光地への進化を継続してすすめます。 鶺野飛行場跡とフラワーセンターを活かした観光事業を構築します。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	11 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 ★田舎体験の実施により、地域振興を図るとともに、地域の魅力を発掘し高めることにより、交流を促進します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	文化・観光・スポーツ課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・かさいまちあそび体験交流プログラムの開催 ・期間外の1日イベント プログラム主催者セミナー開催					・かさいまちあそび体験交流プログラムの開催 プログラム主催者セミナー開催		
	経費(千円)	2,000					2,000		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★かさいまちあそび年間参加人数【6-92】 ★田舎体験プログラム年間参加人数【2-51】		目標		400	850	900	950	1,000	1,050
		実績	—	843	836	466	931	565	
(指標及びR2目標値の設定理由) H32の目標値をH27に達成したため、約倍増の目標に変更する		目標数値の達成度	単年度	211%	98%	52%	98%	57%	
			最終年度	80%	80%	44%	89%	54%	
R元取組状況	かさいまちあそびを実施。のべ565人が参加しました。うち、田舎体験には、のべ122人が参加しました。 プログラム主催者やまちづくり人材育成のための講座を実施しました。 これからのまちあそびを創るまちあそび研究会を立ち上げました。								
課題と今後(R2)の取組	まちあそびの通年開催します。 主催者が収益を意識したプログラムを作れるように導き、プログラムの事業化をすすめます。 加西らしさを出した特色あるプログラムを作成します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	57%	54%	C：目標を下回っている		②継続		
備考									
R2取組内容変更・経費修正（参加者を増やすために、定期イベント外のまちあそびを実施とプログラム主催者のレベル向上セミナー開催）									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
1月に集中して、かさいまちあそびを実施しました。 かさいまちあそびが、浸透し、開催を楽しみにする人がいました。また、主催者（マチアソビニスト）に対して、まちあそび大学を開講しスキルアップを目指しました。					通年開催します。 加西らしさを出し、さらなる観光展開を図ります。 プログラムを事業化、継続化させます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	11 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★観光拠点のネットワーク化を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	文化・観光・スポーツ課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・観光拠点10カ所のWi-Fi施設の運営					・観光拠点10カ所のWi-Fi施設の運営		
	経費(千円)	30					66		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★観光施設Wi-Fiスポット数【3-54】		目標		1	1	4	6	10	10
		実績	—	1	10	10	10	10	
(指標及びR2目標値の設定理由) 観光施設の利便性向上のため現状1箇所を10箇所に増やします。		目標数値の達成度	単年度	100%	1000%	250%	167%	100%	
			最終年度	10%	100%	100%	100%	100%	
R元取組状況	設置したWifiの維持しました。								
課題と今後(R2)の取組	Wi-Fiを活用した取組を実施します。 Wi-Fi設置個所のPRします。 未設置個所への広報します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	③完了	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成			④完了	
備考									
R2経費修正									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
兵庫県の補助金を活用して、市内観光地を中心に10カ所のWi-Fi施設を整備しました。 来場者がWi-Fiを使える環境を提供することができました。					Wi-Fiを利用したデータの活用し、観光客の動向の把握をします。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	11 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 ★緑豊かな森の中に、市のキャラクターをモチーフとするアート空間の整備を推進します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	人口増政策課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・構想策定					—		
	経費(千円)	0					—		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★根日女の森整備構想とりまとめ【3-55】		目標		—	—	—	—	1	1
		実績	—	—	—	—	—	0	
(指標及びR2目標値の設定理由) 整備推進の前段となる基本構想のとりまとめが第1段階の目標となる。		目標数値の達成度	単年度	—	—	—	—	0%	
			最終年度	—	—	—	—	0%	
R元取組状況	国の動向や他事例の把握に努めました。								
課題と今後(R2)の取組	根日女の森整備基本構想策定に向けた調査研究の前段階として、事例等の資料収集を行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	0%	0%	D：目標を大きく下回っている		③見直し		
備考									
・事業を再検討します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
財政上の問題、ハード整備の優先順位などの問題から根日女の森構想の実現は厳しいという判断をしています。					全国的には、菓子会社等の森整備の例もあることから、展開による可能性を探るとともに、未来型児童館の建設と併せて検討していく必要があると考えます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 市所有未利用地の住宅開発を促進するとともに、効果的な活用方法について検討します。								
主管部課	部名	総務部				課名	管財課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R 2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・北条東南医師住宅解体 ・北条西保育所跡地売却					・遊休市街地の積極的売却		
	経費(千円)	5,000					0		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市所有未利用地の住宅開発年間箇所数		目標		－	－	－	1	1	3
		実績	0	－	－	1	1	3	
(指標及びR2目標値の設定理由) 計画期間内に市有未利用地の解消を目標とする。 (累計)		目標数値 の達成度	単年度	－	－	－	100%	300%	
			最終年度	－	－	33%	33%	100%	
R元取組状況	永年遊休地として管理してきた国正町・常吉町普通財産は、売却が完了となりました。 一般競争入札で応募者がなかった市有財産(普通財産)については、先着順の随時募集で公募を進めています。 北条東南医師住宅については、売却について具体的な交渉を行いました。契約締結に至りませんでした。								
課題と 今後(R2)の取組	北条東南医師住宅については、解体又はリホーム等を含め売却方法を再考します。 先着順の随時募集で公募で進めている市有財産(普通財産)については、鑑定評価等を含め売却方法を再考します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	300%	100%	B：目標を達成		②継続		
備考									
市有財産(普通財産)の適正な管理を行うため、不要な財産については測量等を実施の上、公売等により売却方法を検討します。もしくは有効活用を検討し、不要と判断されるものについても解体・公売等による処分を検討します。(R1売却実績：国正・常吉普通財産 2件) 旧北条西保育所跡地については、R1一般競争入札の応募者がなかったため、先着順の随時募集に切り替え継続して公売を進めます。 北条東南医師住宅については、解体又はリホーム等を含め売却方法を再考します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
H29年度 旧消防署跡地売却完了 R1年度 国正町・常吉町普通財産売却完了 R1年度 旧北条西保育所跡地等入札を執行するが、応募者がなかったため 先着順の随時募集に切り替え継続公売					市有財産(普通財産)の適正な管理を行うため、不要な財産については測量等を実施の上、公売等により売却方法を検討します。もしくは、有効活用を検討し不要と判断されるものについても解体・公売等に処分します。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 住宅供給会社等と連携し、土地区画整理事業済み地内の住宅化を促進支援します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	開発推進課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・換地処分・登記業務 ・組合解散認可業務				※R2年度に事業完了の予定			
	経費(千円)	0				-			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
西高室地区区画整理事業により整備された住宅戸数【1-31】		目標		-	-	30	40	50	50
		実績	0	-	-	42	50	70	
(指標及びR2目標値の設定理由) 保留地において整備された住宅戸数を指標としているが、完売には日数が必要なため、7割を設定(目標値は延べ件数)		目標数値の達成度	単年度	-	-	140%	125%	140%	
			最終年度	-	-	84%	100%	140%	
R元取組状況	令和元年7月26日に換地処分の公告が行われ、これに付随する登記業務を行うとともに清算金の徴収交付を行いました。								
課題と今後(R2)の取組	早期に保留地を完売し、組合解散認可申請及び組合清算業務を行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
		②実行中	S：予定より早く進行	140%	140%	A：目標を上回って達成		②継続	
備考									
事業の安全性を確保するため、H30年度に施行予定であった「3号公園 遊具・トイレ整備」は、地元協議により遊具整備のみを実施した。 R元年度は換地処分、保留地の所有権移転登記手続等を終え、西高室土地区画整理組合の解散認可に向けた清算事務を行っている。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
平成24年度末の組合設立以来、仮換地指定、造成工事を行い、R1.7に換地処分の公告が行われ、土地の権利が確定しました。 また、その間に事業成功のカギである保留地の販売もほぼ完了し、事業地内の住宅化のスタートをきることができました。					・令和2年度に組合の解散認可申請及び組合清算業務を行います。 ・保留地の住宅化をほぼ完了したが、今後は、換地された土地における住宅化の促進が課題となっています。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 北条地区(旧市街地)の街道筋で、歴史的な街並みを残している区域について、地域住民と行政の協働で、県の景観形成地区や文化財の指定を受け、規制、誘導方策によって旧市街地の歴史的街並みを継承、保全します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・地区及び制度のPR ・歴史的景観形成建築物修景助成のPR				・地区及び制度のPR ・歴史的景観形成建築物修景助成のPR			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①景観形成に関する条例届出年間受付件数		目標		20	20	20	20	20	20
		実績	—	16	5	4	14	4	
(指標及びR2目標値の設定理由) 区域内での建築確認申請見込み件数より設定		目標数値の達成度	単年度	80%	25%	20%	70%	20%	
			最終年度	80%	25%	20%	70%	20%	
②景観形成支援事業修景助成金年間交付件数		目標		1	1	1	1	1	1
		実績	—	1	1	1	0	2	
(指標及びR2目標値の設定理由) リフォーム、耐震改修なども兼ねて工事を行う見込み件数より設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	0%	200%	
			最終年度	100%	100%	100%	0%	200%	
R元取組状況	・北条地区歴史的景観形成地区における、助成制度のPRや県景観条例に基づく指導を行いました。								
課題と今後(R2)の取組	・北条地区歴史的景観形成地区における、助成制度のPRを行うなど、北条旧市街地の景観保全に努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
①	②実行中	B：予定より遅延	20%	20%	C：目標を下回っている		②継続		
②	②実行中	S：予定より早く進行	200%	200%					
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
・北条地区歴史的景観形成地区における、助成制度のPRや県景観条例に基づく指導を行いました。					・北条地区歴史的景観形成地区における、助成制度のPRを行うなど、北条旧市街地の景観保全に努めます。 ・景観形成支援事業の修景助成について、助成の可否を決定する兵庫県まちづくり技術センターの審査基準が非常に厳しく、重要助成はおろか中間助成、一般助成ですらなかなか認められない。また、修景のための工事には多額の申請者負担が必要となるため、修景を断念されるケースもしばしば見られる。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 空き店舗やオフィス補助制度をはじめとした創業支援を実施します。								
主管部課	部名	地域振興部、ふるさと創造部			課名	産業振興課、人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・店舗・オフィス立地補助 ・空き店舗活用補助 ・創業支援事業 ・産業活性化センター事業 ・空き店舗・空き工場バンク				・店舗・オフィス立地補助 ・空き店舗活用補助 ・創業支援事業 ・産業活性化センター事業 ・空き店舗・空き工場バンク			
	経費(千円)	11,000				12,500			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①市街化区域内の商業店舗立地件数		目標		250	250	250	250	250	250
		実績	244	211	211	217	218	218	
(指標及びR2目標値の設定理由) 中心市街地に立地する商業店舗数で、当初数値並の店舗数維持を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	84%	84%	87%	87%	87%	
		最終年度		84%	84%	87%	87%	87%	
②★宅地供給促進補助制度を活用した新設店舗数【2-40】		目標		0	1	2	3	5	5
		実績	－	0	0	0	0	0	0
(指標及びR2目標値の設定理由) 市街地区域の土地の流動化を図ることにより年間1件程度の店舗新設を想定。		目標数値の達成度	単年度	0%	0%	0%	0%	0%	
		最終年度		0%	0%	0%	0%	0%	
③★店舗等立地促進補助金受給件数【2-43】		目標		－	1	2	3	5	5
		実績	－	－	1	0	1	1	1
(指標及びR2目標値の設定理由) 補助金を活用して立地した件数で、年間1件の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	-	100%	0%	33%	20%	
		最終年度		-	20%	0%	20%	20%	
④★空き店舗活用補助金受給件数【2-44】		目標		4	3	6	9	15	15
		実績	－	4	2	2	3	6	6
(指標及びR2目標値の設定理由) 補助金を活用して立地した件数で、年間1件の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	100%	67%	33%	33%	40%	
		最終年度		27%	13%	13%	20%	40%	
R元取組状況	空き店舗補助制度及び店舗・オフィス立地補助制度の周知及び運用に取り組みました。また、創業支援事業計画(平成27年度策定)に基づき、創業希望者に対する支援を実施しています。								
課題と今後(R2)の取組	空き店舗補助制度及び店舗・オフィス立地補助制度について、更なる制度周知を図るとともに、創業支援事業についても、関係機関と連携した取り組みを進めていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
①	②実行中	B：予定より遅延	87%	87%	C：目標を下回っている		②継続		
②	②実行中	B：予定より遅延	0%	0%					
③	②実行中	B：予定より遅延	20%	20%					
④	②実行中	B：予定より遅延	40%	40%					

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策	
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12 魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。
備考	
平成30年度当初予算要求において店舗・オフィス立地補助等の見込件数を増としたため。 平成31年度当初予算要求において店舗・オフィス立地補助等の見込件数を増としたため。 令和2年度当初予算要求において店舗・オフィス立地補助等の見込件数を増としたため。	
次期総合計画策定に向けた総括	
現行計画の実施内容と成果	残された課題・新たな課題と次期計画の方向性
商業施設誘致は出来ているが、権利調整に時間を要しているため、計画通りには進んでいない。	誘致するには専門性と計画性が必要であり、交渉に時間を要するため、計画通りに進めることが出来ないのが実態である。

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 空き家バンク制度の定着を図り、情報提供に努めます。								
主管部課	部名	地域振興部				課名	きてみて住んで課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・固定資産税納付者への空き家バンク制度のPRを実施 ・空き家バンクHPの保守					・固定資産税納付者への空き家バンク制度のPRを実施 ・空き家バンクHPの保守		
	経費(千円)	131					132		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
空き家バンクの年間登録数【4-77】		目標		2	5	5	5	5	5
		実績	3	2	6	12	9	13	
(指標及びR2目標値の設定理由) 空き家バンクへの年間登録物件数について、約倍増を想定		目標数値の達成度	単年度	100%	120%	240%	180%	260%	
			最終年度	40%	120%	240%	180%	260%	
R元取組状況	空き家の利活用を検討されている相談者へ制度周知を行いました。また、電話や窓口での個別相談については、丁寧な対応を心がけ可能な範囲内で空き家バンクへ掲載していただくよう誘導し、バンク取扱物件となるよう努めました。								
課題と今後(R2)の取組	利用者の選択肢が増えるよう物件登録を増やしていく必要がありますので、引き続き、PRに努めます。 また、加西空き家対策専門家協議会「エーがい加西」と連携し、居住可能物件については空き家バンクの登録に繋いでいきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	260%	260%	S：目標を大きく上回って達成			②継続	
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
市外在住の固定資産税納付通知書の封筒に、空き家バンクに係るPRチラシを同封したり、空き家の利活用を検討されている相談者へ制度周知を行い、丁寧に対応していった結果として、目標値よりも多くの物件を空き家バンクに登録することができました。 また、その結果として、加西市への移住・定住につなげることにできました。					加西市への移住・定住を進めるうえで、今後も空き家バンクにより多くの物件に登録していく必要があります。 今後も「エーがい加西」や市内土地建物取引業者と協力して、より多くの物件を空き家バンクに登録していくことで、より多くの移住・定住につなげていきます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★新たな土地区画整理事業等を推進します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・地区計画道路用地取得補助 ・測量、設計補助 ・開発事業者の募集				・地区計画道路工事補助			
	経費(千円)	7,500				29,300			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★新たな土地区画整理事業等の推進により確保した住宅戸数【1-25】		目標		－	－	－	－	70	70
		実績	－	－	－	－	－	0	
(指標及びR2目標値の設定理由) 中野地区にある一団の未利用地の面積より設定		目標数値の達成度	単年度	－	－	－	－	0%	
			最終年度	－	－	－	－	0%	
R元取組状況	・住居系地域から工業地域へ用途変更を行った「中野・下宮木地区」において、市街化区域にふさわしい利便性の高い魅力あふれるまちづくりを目指し、地元まちづくり協議会・市・事業者が協働し、まず、第一目標である商業施設の進出を実現させることができました。								
課題と今後(R2)の取組	・商業施設の進出が実現した「中野・下宮木地区」において、地元まちづくり協議会が作成した「まちづくり構想」に基づき、地元まちづくり協議会・市・事業者が協働し、住宅団地整備を推進します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
		②実行中	B：予定より遅延	0%	0%	C：目標を下回っている		②継続	
備考									
(H30) アンケートの結果を踏まえ、土地利用の有効促進を図るため、用途地域・地区計画の見直しを行います。 (R元) 地区内公共施設の整備に向けた、地区計画道路用地取得補助、測量・設計補助を実施します。 中野・下宮木地区は、まちづくり構想に基づき、都市計画(用途地域、地区計画)の変更を行いました。住・商・工がバランスよく配置された活気溢れる良好なまちづくりを目指します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
・「中野・下宮木地区」について、第5次総合計画(後期計画)の策定後にまちづくりの方針を住宅団地から市街化区域にふさわしい住・商・工がバランスよく立地する活気あふれるまちづくりを目標に変更しました。用途地域を住居系地域から工業地域へ都市計画変更し、地元まちづくり協議会・市・事業者が協働し、まず、第一目標である商業施設の進出を実現させることができました。					・次期計画より、中野地区の土地利用の推進を施策として、中野地区の市街化区域において、地域と協働し、商業施設・事業所・住宅地がバランスよく立地する良好なまちづくりを推進します。 ・指標の「新たな土地区画整理事業等の推進等により確保した住宅戸数の目標値70戸」について、地元まちづくり協議会が作成したまちづくり構想に基づき、「20戸」に修正し、次期計画での達成を目指します。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 ★市街化区域において土地利用を推進し、住宅地等の整備と確保に努めます。 8 ★市街化区域での低未利用地の利用促進による土地の流動化を図り、住宅地の供給量を確保します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	人口増政策課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	—					※事業終了		
	経費(千円)	—					※事業終了		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★宅地供給促進補助制度を活用した宅地供給面積(mi)【1-27】		目標		10,000	13,000	15,000	15,000	15,000	15,000
		実績	—	10,028	15,803	22,700	22,700	22,700	
(指標及びR2目標値の設定理由) 「住宅建築のための宅地供給促進補助金」の交付を受けた対象土地の面積を指標とし、補助制度の期限のH29年度まで面積が増加する見込み。		目標数値の達成度	単年度	100%	122%	151%	—	—	
			最終年度	67%	105%	151%	151%	151%	
R元取組状況	宅地供給促進補助制度は平成29年度で受け付けを終了しました。								
課題と今後(R2)の取組									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	③完了	—	—	151%	S：目標を大きく上回って達成	④廃止			
備考									
宅地供給促進補助制度は平成29年度で受け付け終了となります。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
平成29年度の受付をもって制度が終了しましたが、目標数値を大幅に上回って達成していることから、市街化区域における土地の利活用を図ることができました。					—				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	9 ★賃貸共同住宅の建設促進による供給戸数の増加を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	人口増政策課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・賃貸共同住宅を建設した者に対し当該建物に係る固定資産税等を5年間(単身用については10年間)補助					・賃貸共同住宅を建設した者に対し当該建物に係る固定資産税等を5年間(単身用については10年間)補助		
	経費(千円)	12,424					10,000		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★賃貸共同住宅等建設促進補助制度を活用した賃貸供給戸数【1-28】		目標		110	200	300	300	300	300
		実績	—	106	216	294	294	294	
(指標及びR2目標値の設定理由) 定住促進を推進するため、賃貸共同住宅建設促進補助制度を活用した賃貸供給戸数を現状の約3倍増を想定		目標数値の達成度	単年度	96%	108%	98%	—	—	
			最終年度	35%	72%	98%	98%	98%	
R元取組状況		令和元年度は、27件の継続申請に対して補助金の交付を行いました。27件の内訳としては、世帯用の賃貸共同住宅が16件、単身者用が11件となっています。							
課題と今後(R2)の取組		賃貸共同住宅等建設促進補助制度の新規申請については、平成29年1月1日完成分までが対象のため、今後は継続申請分のみに対する補助金交付となります。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	③完了	—	—	98%	B：目標を達成		④廃止		
備考									
賃貸共同住宅等建設促進補助制度の新規申請は平成29年度までとなっております。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
制度の実施により当初目標としていた賃貸戸数をおおむね確保することが出来ました。不動産事業者へのヒアリングにおいても市内の賃貸戸数の供給は一定充足しており、平成29年度をもって新規申請の受付を終了としました。					インター周辺産業団地の整備等、今後の社会情勢を見極めながら、場合によっては補助制度の再開も含めた対応を考える必要があります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	10 ★空き家・空き店舗を幅広く活用したまちづくりを進めます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	きてみて住んで課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・空き店舗改修の側面支援				・空き店舗改修の側面支援			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★空き家・空き店舗年間助成数【4-74】		目標		—	—	—	1	1	1
		実績	—	—	—	2	2	0	
(指標及びR2目標値の設定理由) 28年度中に、ブランディングの方針を定め、29年度に助成施策を決定し30年度以降1件の助成を目指す。		目標数値の達成度	単年度	—	—	—	200%	0%	
			最終年度	—	—	200%	200%	0%	
R元取組状況	ハード面の整備は完了したため、R元年度の助成はありませんでしたが、平成29年度・平成30年度に整備した計4か所のモデル拠点が互いに連携できる関係づくりが必要なため、R元年度は側面支援を行いました。								
課題と今後(R2)の取組	運営主体が、建物を維持しながら自走するためには行政や地域住民等の協力が不可欠であることから、今後も側面支援を継続していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	③完了	B：予定より遅延	0%	0%	A：目標を上回って達成		①完了		
備考									
街歩きにかかる整備情報発信は、H30の北条旧市街地元気なまち再生事業で実施するため、R元以降は、新規開業希望者へ空き店舗等の物件紹介や補助金情報の提供などの支援を行います。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
平成28年度策定の北条旧市街地ビジョン及び北条旧市街地リノベーション計画に基づく4か所のモデル拠点の整備が完了し、北条旧市街地のまちの賑わいにつなげることができました。					今後も側面支援を実施するとともに、新規開業希望者へ空き店舗等の物件紹介や補助金情報の提供などの支援を行います。 また、R元年度より3か年事業で、都市部住民との関わりを持つことで、「交流」から「関係」、そして将来の「移住定住」への加速を進める「加西市関係人口創出事業支援業務」を、モデル拠点のメンバーを中心に実施していきます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	11 ★住環境整備による定住促進を図ります。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・制度のPR ・空き家及び支障物除却 ・狭あい道路整備				・制度のPR ・空き家及び支障物除却 ・狭あい道路整備			
	経費(千円)	9,800				5,150			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★北条市街地の住環境整備を図った住宅戸数【4-78】		目標		2	9	16	23	30	30
		実績	－	9	21	26	30	32	
(指標及びR2目標値の設定理由) 年間の空き家除却及び狭あい道路整備件数から推測した数値を設定(目標値、実績値は延べ戸数)		目標数値の達成度	単年度	450%	233%	163%	130%	107%	
			最終年度	30%	70%	87%	100%	107%	
R元取組状況	・危険空き家の除去や狭あい道路の拡幅工事を行うことにより、北条市街地の安全・安心のまちづくりの推進に努めました。								
課題と今後(R2)の取組	・助成制度のPRを行うなど、住民への制度の周知を図り、より一層の安全・安心のまちづくりの推進に努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	107%	107%	A：目標を上回って達成		②継続		
備考									
(H30、R元) H29年度の実績により、経費の変更を行います。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
・北条市街地の安全・安心のまちづくりを積極的に推進するため、住環境整備対象区域の拡幅対象路線において、令和元年度までに32箇所の狭あい道路整備工事を実施しました。					・助成制度のPRを行うなど、住民への制度の周知を図り、より一層の安全・安心のまちづくりの推進に努めます。 ・住環境整備対象区域の拡幅対象路線について、重点整備路線を定め狭あい道路整備工事を進めていますが、工事に着手できる箇所は既存家屋の建て替えや危険空き家の除去時となるため、計画的に路線全体の整備を行うことが困難であるのが現状です。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 移住体験施設（お試し住宅）の整備に取り組み、定住促進に結び付けます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部、地域振興部		課名	ふるさと創造課、きてみて住んで課				
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 （決算額）			R 2 （予算額（補正含む））				
	取組内容	・お試し居住の整備に向けた調査・研究			・お試し居住の整備に向けた調査・研究				
	経費（千円）	2,067			0				
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①★お試し滞在施設数【3-63】	目標		—	1	1	2	3	3	
	実績		—	0	0	0	0		
	（指標及びR2目標値の設定理由） 市北部、市街地、南部の3ヶ所で、創造会議による 立ち上げを目指す	目標数値 の達成度	単年度	—	0%	0%	0%	0%	
		最終年度	—	0%	0%	0%	0%		
②★移住マッチング支援相談年間件数【3-64】	目標		5	25	30	35	50	50	
	実績		20	31	54	83	105		
	（指標及びR2目標値の設定理由） 移住相談会等への参加体制を整えることで年間50 件の相談を受けることを目指す	目標数値 の達成度	単年度	400%	124%	180%	237%	210%	
		最終年度	40%	62%	108%	166%	210%		
③★空き家改修年間助成数【4-76】	目標		1	3	3	3	5	5	
	実績		1	2	4	1	4		
	（指標及びR2目標値の設定理由） 制度の周知を図り、登録物件を増やし、マッチングの 成果を年間5件と設定	目標数値 の達成度	単年度	100%	67%	133%	33%	80%	
		最終年度	20%	40%	80%	20%	80%		
④★お試し滞在補助年間助成組数【3-63】	目標		—	—	—	5	5	5	
	実績		—	—	—	2	1		
	（指標及びR2目標値の設定理由） 制度の周知を図り、移住希望者の負担軽減を図る ため、助成数を年間5組と設定	目標数値 の達成度	単年度	—	—	—	40%	20%	
		最終年度	—	—	—	40%	20%		
R元取組状況	お試し滞在施設については、モデル地区を決め、設置に向けた検討を行いました。 移住相談会だけではなく、電話、窓口、メールなどにより移住に関する相談を受け付けました。 空き家改修については相談件数は多くありましたが、実際に対象となったのは4件でした。 空き家バンク登録者に対して、お試し滞在補助制度の案内を行いました。								
課題と 今後(R2)の取組	お試し滞在施設については、ふるさと創造会議と協力して、モデル地区を設定し、設置に向けて、改修補助等の側面支援を実施していきます。 移住・定住のマッチングを引き続き行いながら、物件や転入希望者に合わせて、最も効果的な補助制度を案内することで、より多くの定住に繋がっていきます。								

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策						
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり					
施策	13 周辺地域の定住促進					
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。					
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(R元)	最終(R2)		
①	②実行中	B：予定より遅延	0%	0%	C：目標を下回っている	②継続
②	②実行中	S：予定より早く進行	210%	210%		
③	②実行中	B：予定より遅延	80%	80%		
④	②実行中	B：予定より遅延	20%	20%		
備考						
・整備を31年度に変更 ・移住・定住促進のため、指標「お試し滞在補助年間助成組数」を追加しました。 ・ふるさと創造会議では自らの拠点整備を進める動きとなっています。お試し居住整備にはまだハードルが高いため先進地事例の調査研究から取り組みます。						
次期総合計画策定に向けた総括						
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性		
マッチング支援は、計画以上の件数となっており、丁寧な対応により、移住定住者の増加につながっています。 また、空き家の状況により、改修補助が活用されています。 お試し滞在補助についても、県外からの移住・定住希望者に活用され、そのまま移住定住につながったケースもあるため、今後も活用を進めていきます。				お試し滞在施設については、移住定住希望者の短期滞在に利用でき、ふるさと創造会議でも利用できる施設を、改修費補助等の側面支援により、まずはモデル地区に1件設置を進めていきます。 また、移住・定住マッチング支援を行いながら、空き家改修補助やお試し滞在補助についても、より多くの人に活用されるように周知を図っていきます。		

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 県の特別指定区域制度 における「新規居住者の住宅区域」の地区指定を支援します。								
主管部課	部名	都市整備部				課名	都市計画課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・開発事業者の調査、募集					・宇仁小グランド跡地の特別指定区域指定 ・開発事業者の調査、募集		
	経費(千円)	0					0		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
新規居住者地区住宅戸数		目標		3	4	4	6	8	10
		実績	0	3	4	4	4	4	
(指標及びR2目標値の設定理由) 宇仁地区新規居住者の住宅区域の見直しによる区域拡大等の販売を見込んで設定(目標値、実績値は延べ戸数)		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	67%	50%	
			最終年度	30%	40%	40%	40%	40%	
R元取組状況	・新規居住者住宅区域の見直し(区域拡大)を行いました。 ・移住促進による地域活性化を図るため、県下初となる住宅系加西独自基準となる店舗兼用住宅の建築が可能となる地域生活利便性回復型・増進型、地域住民小規模事業所などの指定を行いました。								
課題と今後(R2)の取組	・地域勤労者住宅区域や社宅への用途変更を可能とする制度について、関係機関と協議を進めます。 ・宇仁地区への定住促進を図るため、地域活力維持定住促進補助制度を活用していきます。 ・宇仁小学校グランド跡地活用土地利用計画を引き続き検討していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	50%	40%	C：目標を下回っている	②継続			
備考									
(H30) 宇仁地区新規居住者に対し、新しい定住補助制度を実施します。 (R元) 宇仁小学校グランド跡地において、民間事業者調査、募集を行います。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
・新規居住者住宅区域の見直し(区域拡大)を行いました。 ・移住促進による地域活性化を図るため、県下初となる住宅系加西独自基準となる店舗兼用住宅の建築が可能となる地域生活利便性回復型・増進型、地域住民小規模事業所などの指定を行いました。					・地域勤労者住宅区域や社宅への用途変更を可能とする制度について、関係機関と協議を進めます。 ・宇仁地区への定住促進を図るため、地域活力維持定住促進補助制度を活用していきます。 ・宇仁小学校グランド跡地活用土地利用について、民間事業者調査・募集を引き続き行います。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 若者向けの持ち家促進のための取り組みを推進します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・若者世帯定住促進住宅補助制度 ・新婚世帯向け家賃補助制度					・若者世帯定住促進住宅補助制度 ・新婚世帯向け家賃補助制度		
	経費(千円)	56,000					54,600		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①★加西市若者世帯持家促進補助制度の受給者数【1-26】		目標		35	40	40	45	50	50
		実績	7	37	76	74	103	67	
(指標及びR2目標値の設定理由) 市内に持家を取得した若者世帯の数で、平成27年度の1.5倍を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	106%	190%	185%	229%	134%	
			最終年度	74%	152%	148%	206%	134%	
②★新婚世帯向け家賃補助金の年間新規受給者数【1-30】		目標		52	60	60	65	70	70
		実績	－	57	65	49	50	49	
(指標及びR2目標値の設定理由) 将来市内に持家を取得する可能性のある新婚世帯の数で、平成27年度の1.5倍を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	110%	108%	82%	77%	70%	
			最終年度	81%	93%	70%	71%	70%	
R元取組状況	新婚世帯向け家賃補助制度、若者世帯持家補助制度を継続実施しました。定住促進施策として、産業(工業)団地及び市外在住者等へ制度の周知を図りました。								
課題と今後(R2)の取組	新婚世帯向け家賃補助制度及び若者世帯定住促進住宅補助制度を活用し、若者世帯の流出を防ぐとともに、加西市への定住促進施策として、産業(工業)団地及び市外在住者等へ周知徹底していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
①	②実行中	S：予定より早く進行	134%	134%	B：目標を達成		②継続		
②	②実行中	B：予定より遅延	70%	70%					
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
制度の運用については、見直しを行うなど事業推進を図れました。					新婚世帯が減少傾向であり、新たに移住者を誘致する仕組みづくりを検討する。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画	4 交通の要所として、市民と協働で加西インター周辺の土地利用計画を作成します。								
主管部課	部名	都市整備部				課名	開発推進課、都市計画課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・ほ場整備事業で創出可能な非農地を活用した土地利用の検討 ・事業化検討・調査					・ほ場整備事業で創出可能な非農地を活用した土地利用の検討 ・事業化検討・調査		
	経費(千円)	0					0		
指標名		区分	目標(下段の() 書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★加西インター周辺の土地利用計画の作成数【4-75】		目標		-	-	-	1	1	1
		実績	-	-	-	1	1	1	
(指標及びR2目標値の設定理由) 土地利用計画の策定数		目標数値 の達成度	単年度	-	-	-	100%	100%	
			最終年度	-	-	100%	100%	100%	
R元取組状況	・加西インター地区農村地域産業導入実施計画に定める導入すべき産業の業種に基づいた事業者の進出を決定しました。								
課題と 今後(R2)の取組	・加西インター地区農村地域産業導入実施計画に基づき、ほ場整備事業と整合を図った土地利用を推進します。 ・第1期事業(中国自動車道北側)における早期の企業立地を図り、第2期事業(中国自動車道南側)の土地利用計画を作成します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成	②継続			
備考									
平成29に土地利用計画は策定済みのため、H30の目標値を「-」から「1」に変更します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
平成28年度より、地元の合意形成及び関係機関協議を開始しました。 平成29年度に加西インター産業団地の基本計画及び農村産業法に基づく実施計画の素案を作成し、平成30年度に同実施計画を策定するとともに、農業振興地域整備計画による総合見直しの手続きを経て、令和元年度より産業団地整備に着手しました。					ほ場整備事業と整合を図りながら、第1期事業における早期の企業立地を図り、早期に第2期事業の土地利用計画を作成することを目指します。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 鵜野飛行場跡地周辺の有効活用を進めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	鵜野未来課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・都市再生整備計画に基づく事業実施 ・空がつなぐまち・ひとづくり推進事業					・空がつなぐまち・ひとづくり推進事業		
	経費(千円)	219,377					333,000		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★鵜野飛行場跡地周辺整備による観光誘客年間数【3-53】		目標		8,000	8,000	8,000	8,000	16,000	16,000
		実績	－	8,000	8,000	8,000	8,000	32,596	
(指標及びR2目標値の設定理由) 都市再生整備計画の目標値(現状の倍増)を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	204%	
			最終年度	50%	50%	50%	50%	204%	
R元取組状況	鵜野飛行場跡地及び周辺の歴史遺産を一体としたフィールドミュージアムとして整備するため、都市再生整備事業として、散策用歩道整備工事や防災備蓄倉庫外構工事、展望広場駐車場整備工事、法華口駅歩行者用踏切設置、及び戦争遺跡めぐりガイドマップ作成等を行いました。また、空がつなぐまち・ひとづくり交流事業として、地域活性化拠点施設建設工事設計、鵜野飛行場巨大防空壕におけるシアター映像制作、鵜野飛行場関連資料調査・映像記録、モバイルガイドシステム(アプリ)の機能追加等を行いました。 その他、6月より毎月第1・第3日曜日に紫電改実物大模型の一般公開を行っています。								
課題と今後(R2)の取組	同地域周辺の歴史遺産を一体とした地域活性化のための利活用を検討、実施し、鵜野飛行場跡地を活用した加西市地域活性化拠点施設の整備を行います。 R元年度事業で制作した鵜野飛行場巨大防空壕におけるシアター映像の一般公開を開始し、観光誘客数の増加および来場者の満足度向上を図ります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	204%	204%	B：目標を達成		②継続		
備考									
(H30) 散策用歩道整備、展示施設(トイレ)整備、防空壕等サイン整備、紫電改レプリカ製作、地域活性化拠点施設実施設計等を行います。									
(R元) 散策用歩道整備、防空壕等整備、地域活性化拠点施設実施計画等を行います。									
地方創生推進交付金(先駆タイプ)への変更が採択を受けて事業名称が変更となった。									
(R2) 計画見直しにより給排水管布設工事、案内看板設置工事等の事業が追加となります。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
散策用歩道整備、防空壕等整備、展示施設兼公衆用トイレ建築、備蓄倉庫建築、防空壕等サイン整備、法華口駅を拠点としたレンタサイクル用ガイドマップ作成、戦争遺跡めぐりガイドマップ作成、平和祈念史作成、モバイルガイドシステム(アプリ)の開発、紫電改実物大模型製作、地域活性化拠点施設実施設計、巨大防空壕シアター映像制作、鵜野飛行場関連資料調査・映像記録等を行いました。 歴史遺産の整備や活用、紫電改実物大模型の一般公開は、認知度の向上や来訪者の増加につながっています。取組が多くのメディアに取り上げられたことも促進要因になりました。					・人々がさまざまな交流を行うための地域活性化拠点を整備します。 ・来訪者の意見を踏まえ、より多く来訪されるよう、さらなる人材育成、広報活動に努めます。 ・地域住民が参加しやすい環境を整え、地域住民や若年層を巻き込むさまざまなイベント開催などを行い、誰もが知る鵜野飛行場跡地となるように努めます。 ・鵜野飛行場跡地への公共交通を整備する等、利便性向上を図ります。 ・交通量増加に伴い、鵜野飛行場跡周辺の安全管理を行い、周辺住宅街の生活圏を守ります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 住民が住まい物件の情報を適切に得られるよう、不動産情報の発信や各種制度の周知に努めます。								
主管部課	部名	都市整備部				課名	都市計画課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・住宅区域のPR ・定住促進まちづくり活動助成金制度のPR ・特別指定区域制度を活用した新しい建築ルール策定の検討					・住宅区域のPR ・定住促進まちづくり活動助成金制度のPR ・特別指定区域制度を活用した新しい建築ルール策定の検討		
	経費(千円)	0					0		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市街化調整区域における新築住宅戸数		目標		40	40	40	40	40	40
		実績	—	43	63	33	40	47	
(指標及びR2目標値の設定理由) 周辺地域の定住促進の状況を示すもので、過去5年の平均値を設定		目標数値の達成度	単年度	108%	158%	83%	100%	118%	
			最終年度	108%	158%	83%	100%	118%	
R元取組状況	・市ホームページで、地縁者の住宅区域、新規居住者の住宅区域、定住促進まちづくり活動助成金制度のPRを行いました。 ・新規居住者住宅区域の見直し(区域拡大)を行いました。 ・移住促進による地域活性化を図るため、県下初となる住宅系加西独自基準となる店舗兼用住宅の建築が可能となる地域生活利便性回復型・増進型、地域住民小規模事業所などの指定を行いました。								
課題と今後(R2)の取組	・市ホームページで、地縁者の住宅区域、新規居住者の住宅区域、定住促進まちづくり活動助成金制度のPRを行います。 ・地域勤労者住宅区域や社宅への用途変更を可能とする制度について、関係機関と協議を進めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	118%	118%	A：目標を上回って達成			②継続	
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
・指標目標である市街化調整区域における新築住宅戸数(40軒/年)を概ね達成することができました。					・市ホームページで、地縁者の住宅区域、新規居住者の住宅区域、定住促進まちづくり活動助成金制度のPRを行います。 ・地域勤労者住宅区域や社宅への用途変更を可能とする制度について、関係機関と協議を進めます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 ★若者世帯が住みやすい住宅分譲地の整備を進めます。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・民間住宅団地開発事業について開発調整条例に基づいた協議の実施 ・市街化調整区域内の各小学校区における住宅団地開発事業者の募集、決定 ・定住促進補助の実施					・道路改良整備工事(測量、設計費)の検討		
	経費(千円)	1,300					0		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★住宅分譲地の整備により確保した住宅戸数【1-24】		目標		28	60	100	110	120	130
		実績	－	28	63	78	95	103	
(指標及びR2目標値の設定理由) 市街化区域内での開発見込み戸数＋市街化調整区域内の各小学校区毎での開発目標戸数※実績はH27からの合計戸数です(目標値、実績値は延べ戸数)		目標数値の達成度	単年度	100%	105%	78%	86%	86%	
			最終年度	22%	48%	60%	73%	79%	
R元取組状況	・民間住宅団地開発について、開発調整条例に基づく協議を行いました。 ・地域活力維持定住促進補助制度に基づく、補助金交付を行いました。								
課題と今後(R2)の取組	・民間住宅団地開発について、開発調整条例に基づく協議を行います。 ・尾崎町北条高校前地区の早期の分譲完売を積極的に推進します。 ・中野地区まちづくり構想に基づき、区画道路6号線を整備する民間事業者に対し、道路整備負担金を交付し新しい住宅団地のためのインフラ整備を積極的に推進します。 ・市街化調整区域内の各小学校区における住宅団地整備の可能性について検討を行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	86%	79%	C：目標を下回っている		②継続		
備考									
(H30) 尾崎町北条高校前地区への定住促進補助を実施します。民間住宅団地開発に伴う市道整備負担金を交付します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
・民間住宅団地開発について、開発調整条例に基づく協議を行いました。 ・市街化調整区域における住宅団地整備として、尾崎町北条高校前地区において、地区計画を策定し、自治会・市・事業者の三者連携の手法により事業を実施しました。					・尾崎町北条高校前地区の早期の分譲完売を積極的に推進します。 ・中野地区において、住宅団地整備を積極的に推進します。 ・市街化調整区域内の各小学校区における住宅団地整備の可能性について検討を行います。 ・指標目標の「住宅分譲地の整備により確保した住宅戸数の令和2年度200戸」については、現状にそぐわないため下方修正し、平成30年度から10戸/年の増加を目標値とします。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	8 ★定住先の決まっていないカップルを対象に市内の不動産情報の提供等を通じて定住促進を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	ふるさと創造課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	—					※事業終了		
	経費(千円)	—					※事業終了		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★かさいふたリズム推進事業年間利用件数【1-29】		目標		6	6	6	6	10	10
		実績	—	6	0	0	※事業終了		
(指標及びR2目標値の設定理由) 現状6件の利用件数を5か年で10件に増加させる		目標数値の達成度	単年度	100%	0%	0%			
			最終年度	60%	0%	0%			
R元取組状況		—							
課題と今後(R2)の取組		—							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	※事業終了							④廃止	
備考									
空き家バンク登録者が利用できる「加西市お試し居住制度」を、加西市出逢いサポートセンターの支援で成立したカップルに情報提供を行います。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
カップルや家族を対象とした定住促進を図るため、保育所・小学校・病院などを回り、市内にある賃貸マンションに宿泊して加西市での日常生活を体験することができる「かさいふたリズム推進事業」を実施しましたが、連携業者との調整により、終了となりました。					—				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	9 ★近隣市町等と連携し情報発信の強化を図り、便利な田舎としての魅力のPRに努めます。								
主管部課	部名	地域振興部				課名	きてみて住んで課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・移住相談会に参加(神戸・大阪・東京)					・移住相談会に参加(神戸・大阪・東京)		
	経費(千円)	185					220		
指標名		区分	目標(下段の())書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★出張相談会年間参加数【2-35】		目標		1	3	3	3	3	3
		実績	-	2	3	5	5	6	
(指標及びR2目標値の設定理由) 移住希望者に対する相談・PRを神戸・大阪・東京の3箇所で開催することを想定		目標数値の達成度	単年度	200%	100%	167%	167%	200%	
			最終年度	67%	100%	167%	167%	200%	
R元取組状況	移住相談会は、カムバックひょうごセンターやひょうご田舎暮らし・多自然居住支援協議会の一員として、兵庫県北・中・西播磨県民局合同移住相談会(7/13・大阪)、おいでや!!いなか暮らしフェア2019(7/27・大阪)、就農希望者向けセミナー・相談会(7/28・神戸)、住まいと仕事の移住相談会(11/17・大阪)、ひょうご田舎暮らし臨時相談所in大阪(11/30・大阪)、兵庫県播磨地域移住交流会-はり-IJUカフェ-(2/1・大阪)の計6回参加しました。								
課題と今後(R2)の取組	R2.5月時点で、コロナの影響により相談会は当面中止となっていますが、再開後は出張相談会に引き続き積極的に参加し、丁寧な対応に努めて参ります。また、イーナカサイ(冊子)やPR動画を効果的に活用し、京阪神地区を中心にPRし、加西市の魅力を発信してまいります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S:予定より早く進行	200%	200%	A:目標を上回って達成		②継続		
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
相談会の場を通じて、加西市をPRし、加西市の魅力を発信することで、移住定住先の候補になるケースを作り出すことができました。					コロナの影響により、当面は相談会の開催は困難な状況です。しかし、開催できる状況になった際は、引き続き、出張相談会には積極的に参加し、移住・定住につながるよう丁寧な対応に努めて参ります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	14 公共交通網の構築								
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 都市核と地域核を結ぶ市内幹線路線の効率化を図ります。 2 市内幹線交通網へ接続する地域主体型公共交通の導入を進めます。 6 交通結節点（駅・バス停）の整備を進めます。 9 ★北条鉄道各駅へのアクセスの改善を図るため、コミュニティバスの再編等を実施し、公共交通ネットワークを構築します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	人口増政策課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 （決算額）					R2 （予算額（補正含む））		
	取組内容	・交通結節点の整備（高速泉バス停パーク&ライド等） ・地域主体型交通の導入支援					・交通結節点の整備 ・地域主体型交通の導入支援		
	経費（千円）	7,298					6,908		
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①★コミバス等の年間利用者数（千人） 【1-1、4-71】		目標		19	20	22	24	30	30
		実績	14.7	18	22.8	27.5	30.3	31.7	
（指標及びR2目標値の設定理由） 公共交通の利用頻度としてコミバスの利用者数を設定しました。		目標数値 の達成度	単年度	95%	114%	125%	126%	106%	
			最終年度	60%	76%	92%	101%	106%	
②★北条鉄道の年間利用者数（千人）【4-69】		目標		360	364	368	372	380	380
		実績	306	351	340	328	332	334	
（指標及びR2目標値の設定理由） 公共交通の利用頻度として北条鉄道の利用者数を設定しました。		目標数値 の達成度	単年度	98%	93%	89%	89%	88%	
			最終年度	92%	89%	86%	87%	88%	
R元取組状況	公共交通ガイド「かさいおでかけナビ」を作成し、コミバス・北条鉄道・路線バス・高速バスなどの時刻表や京阪神・関西3空港への行き方や市内の公共施設・医療施設・商業施設などへの交通機関でのアクセスを掲載するなど、分かりやすい情報提供に努めました。 子どもだけではなく、高齢者へのバスの乗り方教室などを開催し、コミバス利用者増への営業活動を行いました。 高速泉バス停南駐車場の整備に着手しました。 宇仁郷まちづくり協議会と地域主体型交通の導入に向けた検討会を毎月開催しました。								
課題と 今後(R2)の取組	・各交通機関の時刻改正にあわせて交通ガイドの更新を行います。 ・市内各施設に特化した時刻情報等の提供を行いより分かりやすい情報提供を行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
①	②実行中	S：予定より早く進行	106%	106%	B：目標を達成		②継続		
②	②実行中	B：予定より遅延	88%	88%					
備考									
・宇仁地区において地域主体型交通の導入を支援します。 ・バス停の整備を順次行います。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
コミバスについては年々利用者も増加し、順調に推移しています。 北条鉄道については、人口減少下、通勤・通学客の減少により利用者数は横ばいです。 泉バス停南駐車場をR2年度にかけて整備を行い、阪神地区へのパーク＆ライドをすすめます。					宇仁地区において地域主体型交通の導入を図ります。 交通結節点の整備の他、北条鉄道との連絡の改善等を順次図っていきます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	14 公共交通網の構築								
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 民間事業者が運行する広域幹線路線バスを維持します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・バス対策費補助				・バス対策費補助			
	経費(千円)	26,221				26,584			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★コミバス等の年間利用者数(千人) 【1-1、4-71】		目標		19	20	22	24	30	30
		実績	14.7	18	22.8	27.5	30.3	31.7	
(指標及びR2目標値の設定理由) 広域幹線のフィーダー路線となるコミバスの利用者数を設定しました。		目標数値 の達成度	単年度	95%	114%	125%	126%	106%	
			最終年度	60%	76%	92%	101%	106%	
R元取組状況	公共交通ガイド「かさいおでかけナビ」を作成し、コミバス・北条鉄道・路線バス・高速バスなどの時刻表や京阪神・関西3空港への行き方や市内の公共施設・医療施設・商業施設などへの交通機関でのアクセスを掲載するなど、分かりやすい情報提供に努めました。交通事業者と連携して、路線の変更やバス停の新設を行いました。								
課題と 今後(R2)の取組	・各交通機関の時刻改正にあわせて交通ガイドの更新を行います。 ・市内各施設に特化した時刻情報等の提供を行いより分かりやすい情報提供を行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	106%	106%	A：目標を上回って達成		②継続		
備考									
予算要求額へ変更します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
民間事業者が運行する広域幹線路線バスを維持するため、国、県、市より継続して補助を行いました。					バスロケーションシステムの導入や、利用者の需要にあったダイヤ設定など、利用しやすい公共交通を目指していく必要があります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	14 公共交通網の構築								
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 公共交通のわかりやすい情報提供に努めるとともに、利用促進を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・総合時刻表の作成 ・公共交通の利用促進 ・通学定期券購入補助事業				・総合時刻表の作成 ・公共交通の利用促進			
	経費(千円)	13,845				1,500			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①★コミバス等の年間利用者数(千人) 【1-1、4-71】		目標		19	20	22	24	30	30
		実績	14.7	18	22.8	27.5	30.3	31.7	
(指標及びR2目標値の設定理由) 公共交通の利用頻度としてコミバスの利用者数を設定しました。		目標数値 の達成度	単年度	95%	114%	125%	126%	106%	
			最終年度	60%	76%	92%	101%	106%	
②★北条鉄道の年間利用者数(千人)【4-69】		目標		360	364	368	372	380	380
		実績	306	351	340	328	332	334	
(指標及びR2目標値の設定理由) 公共交通の利用頻度として北条鉄道の利用者数を設定しました。		目標数値 の達成度	単年度	98%	93%	89%	89%	88%	
			最終年度	92%	89%	86%	87%	88%	
R元取組状況	公共交通ガイド「かさいおでかけナビ」を作成し、コミバス・北条鉄道・路線バス・高速バスなどの時刻表や京阪神・関西3空港への行き方や市内の公共施設・医療施設・商業施設などへの交通機関でのアクセスを掲載するなど、分かりやすい情報提供に努めました。 子どもだけではなく、高齢者へのバスの乗り方教室などを開催し、コミバス利用者増への営業活動を行いました。 大学生等の通学定期券購入助成制度を開始しました。								
課題と 今後(R2)の取組	・各交通機関の時刻改正にあわせて交通ガイドの更新を行います。 ・市内各施設に特化した時刻情報等の提供を行いより分かりやすい情報提供を行います。 ・大学生等通学定期券購入助成制度の広報および市内公共交通機関の利用促進策を検討します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
①	②実行中	S：予定より早く進行	106%	106%	B：目標を達成		②継続		
②	②実行中	B：予定より遅延	88%	88%					
備考									
予算要求額へ変更します									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
総合時刻表「かさいおでかけナビ」を毎年更新を行い、全戸配布を行いました。 R元年度より開始した大学生等通学定期券購入助成制度は予想以上の利用者となりました。					・今後も継続して分かりやすく、利用しやすい公共交通事業を進めていく必要があります。 ・大学生等通学定期券購入助成制度については、市内公共交通機関利用者へのインセンティブ付与を検討していきます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	14 公共交通網の構築								
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 北条鉄道の経営支援と利用促進策を実施します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・北条鉄道設備等整備補助 ・駅舎等WiFi整備負担金 ・交差施設整備事業					・北条鉄道設備等整備補助 ・駅舎等WiFi整備負担金		
	経費(千円)	57,652					4,764		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★北条鉄道の年間利用者数(千人)【4-69】		目標		360	364	368	372	380	380
		実績	306	351	340	328	332	334	
(指標及びR2目標値の設定理由) 北条鉄道の利用促進効果をはかるため利用者数を設定しました。		目標数値 の達成度	単年度	98%	93%	89%	89%	88%	
			最終年度	92%	89%	86%	87%	88%	
R元取組状況		・鉄道安全輸送設備の整備に対する支援を行いました。 ・法華口駅行き違い施設整備の支援を行いました。 ・北条町駅、法華口駅および車両内のWi-Fi整備への支援を行い北条鉄道の利用促進を行いました。							
課題と今後(R2)の取組		老朽化している鉄道施設や安全輸送設備を適切に整備更新していきます。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	88%	88%	C：目標を下回っている	②継続			
備考									
交差施設整備事業を終了します。 予算要求額へ変更します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
まずは安全安心できる輸送体制を整えるため、設備補助を継続して行い、設備更新は計画的に進んでいます。 そして、戦略的に利用者の利便性の向上を目的に、法華口駅において行き違い施設整備を支援しました。R2年9月から朝3便、夕2便が増便される予定です。					・今後も継続して設備更新を支援していくことが重要です。 ・行き違い施設の整備に伴い、特に通勤・通学客の増加を図る方策が必要です。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	14 公共交通網の構築								
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	自動車を手軽に利用できない人の移動にかかる運賃軽減を実施します。 7・8 ★子育て世帯等の移動手段を確保するため、妊婦及び未就学の子どもの保護者について、コミュニティバスの運賃を無料化します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・コミバス・路線バス運賃軽減				・コミバス・路線バス運賃軽減			
	経費(千円)	4,649				1,800			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①★コミバス等の年間利用者数(千人) 【1-1、4-71】		目標		19	20	22	24	30	30
		実績	14.7	18	22.8	27.5	30.3	31.7	
(指標及びR2目標値の設定理由) 運賃軽減による効果をコミバスの利用者数で測ります。		目標数値の達成度	単年度	95%	114%	125%	126%	106%	
			最終年度	60%	76%	92%	101%	106%	
②★北条鉄道の年間利用者数(千人)【4-69】		目標		360	364	368	372	380	380
		実績	306	351	340	328	332	334	
(指標及びR2目標値の設定理由) コミバスの運賃軽減による北条鉄道への波及効果を利用者数で測ります。		目標数値の達成度	単年度	98%	93%	89%	89%	88%	
			最終年度	92%	89%	86%	87%	88%	
R元取組状況	・高齢者や子育て世帯を対象にコミバス等の運賃を無料化しました。 ・子どもだけではなく、高齢者へのバスの乗り方教室を行ったり、老人クラブ総会で営業をするなど周知活動を実施しました。								
課題と今後(R2)の取組	・コミバス利用者の新規開拓として免許返納者への利用促進を行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
①	②実行中	S：予定より早く進行	106%	106%	B：目標を達成		②継続		
②	②実行中	B：予定より遅延	88%	88%					
備考									
予算要求額へ変更します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
75歳以上や中学生以下、妊産婦など市内バス無料の対象を広げたことに伴い、利用者数は順調に増加しています。					・交通弱者が安心して利用できる交通網の構築を目指すため、コミバスの充実とともに、地域主体型交通の導入が今後の課題です。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	15 住みよい住環境								
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 都市公園等の計画的な管理と保全により、活用を促進します。								
主管部課	部名	都市整備部				課名	都市計画課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・指定管理者の活用による適切な公園管理 ・イベント開催等 ・ウッドデッキ等修繕工事(第2期)					・指定管理者の活用による適切な公園管理 ・イベント開催等 ・ウッドデッキ等改修工事(第3期) ・公園長寿命化計画に基づく実施設計策定の検討		
	経費(千円)	26,277					29,568		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
都市公園利用者数		目標		27,500	28,000	28,500	29,000	29,500	30,000
		実績	－	27,500	32,568	28,500	29,200	31,400	
(指標及びR2目標値の設定理由) 安心・快適な施設の目安としてH22年度の都市公園の利用者数を超えることを目標に設定した		目標数値の達成度	単年度	100%	116%	100%	101%	106%	
			最終年度	92%	109%	95%	97%	105%	
R元取組状況	・指定管理者と協働し、適切な公園管理に努めました。また、イベントを開催することで利用者の増加に取り組みました。 ・公園施設の経年劣化に対応した修繕を適時実施しました。 ・丸山総合公園において、ウッドデッキ・転落防止柵の修繕、管理棟の防犯カメラ設置工事を実施しました。								
課題と今後(R2)の取組	・指定管理者と協働し、公園利用者の更なる増加に向けた取り組みを進めます。 ・公園利用者の安全を確保するため、遊具などの施設の経年劣化に対し迅速な修繕を行い、更新についても検討を進めます。 ・丸山総合公園の老朽化したウッドデッキについては、撤去も視野に入れた対策を検討します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	106%	105%	A：目標を上回って達成		②継続		
備考									
(H30) 都市再生整備事業を活用し、丸山総合公園整備工事を実施します。									
(R元) 丸山総合公園のウッドデッキ修繕工事を行う。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
・指定管理者と協働で、適切な公園管理を行ったことにより、指標目標である「都市公園利用者数」を概ね達成することができた。					・指定管理者と協働し、公園利用者の更なる増加に向けた取り組みを進めます。 ・公園利用者の安全を確保するため、遊具などの施設の経年劣化に対し迅速な修繕を行い、更新についても検討を進めます。 ・丸山総合公園の老朽化したウッドデッキについては、撤去も視野に入れた対策を検討します。 ・丸山総合公園の老朽化した施設(大蛇の道、ジャブ・ジャブ池など)について、公園長寿命化対策支援事業を活用した大規模改修も視野に入れ、根本的な安全対策を検討します。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	15 住みよい住環境								
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 史跡を計画的に整備し、活用を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	生涯学習課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・笹塚公園供用開始					・史跡整備委員会の開催		
	経費(千円)	0					64		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
史跡玉丘古墳群における整備する古墳の基数		目標		-	-	1	2	3	4
		実績	-	-	-	1	2	2	
(指標及びR2目標値の設定理由) 史跡整備基本計画による整備スケジュールに基づく		目標数値 の達成度	単年度	-	-	100%	100%	67%	
			最終年度	-	-	25%	50%	50%	
R元取組状況	笹塚公園は、平成31年4月1日から史跡公園として供用を開始しました。 笹塚公園を地域の夏休みラジオ体操の場として開放しました。								
課題と 今後(R2)の取組	補助事業のため、国・県の状況によりスケジュールの遅れが発生しています。 国・県とスケジュールを調整し整備計画を変更する必要があります。 玉丘古墳整備に向け県との協議および史跡整備検討委員会を開催し、整備スケジュールを検討します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	67%	50%	C：目標を下回っている		②継続		
備考									
整備スケジュールの変更に伴い、取組内容・経費を変更します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
平成27年度に作成した「史跡玉丘古墳群整備（修復）基本計画」に基づき、29年度、30年度と2カ年で笹塚古墳の整備は完了しました。 次に予定していた玉丘古墳の整備については、県からの要請により計画を後ろに遅らせることになりました。					国庫補助事業であるため、国・県と協議しスケジュールについて調整していく必要があり、整備基本計画策定から5か年目となるため、現状に即した計画の見直しが必要です。 整備計画の見直しについては、整備スケジュールと共に、加西市文化財保存活用地域計画に併せた周辺整備や、デジタル技術を活用した整備方法など、総合的に検討していく必要があります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	15 住みよい住環境								
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 国道372号や主要幹線道をはじめとする道路網を整備します。								
主管部課	部名	都市整備部				課名	土木課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・西谷坂元線、鶉野飛行場線、豊倉日吉線、山下鎮岩線、大村笠原線、北条西上野線、段下4号線外					・西谷坂元線、鶉野飛行場線、豊倉日吉線、山下鎮岩線、北条西上野線、段下4号線外		
	経費(千円)	117,509					336,095		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①★基幹道路網の整備延長距離(km)【4-70】		目標		0.2	1.0	1.7	2.5	4.0	4.5
		実績	－	0.2	0.3	0.5	0.6	0.8	
(指標及びR2目標値の設定理由) 事業実施計画に基づき、基幹道路の計画整備延長を目標値に設定		目標数値の達成度	単年度	100%	30%	29%	24%	20%	
			最終年度	4%	7%	11%	13%	18%	
②★集落道路の改良延長距離(km)【4-70】		目標		0.5	0.9	1.2	2.4	4.5	4.5
		実績	－	0.5	0.8	1.3	1.4	1.4	
(指標及びR2目標値の設定理由) 事業実施計画に基づき、集落道路の計画改良延長を目標値に設定		目標数値の達成度	単年度	100%	89%	108%	59%	31%	
			最終年度	11%	18%	29%	32%	31%	
R元取組状況	地域の生活や産業を支える基盤となっている基幹道路網整備と集落道路の改良工事に取り組みました。								
課題と今後(R2)の取組	「安心・安全で利便性の高い道路づくり」を目標に、計画的に道路網整備を実施していくとともに、現道の適切な維持管理に努めてまいります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
①	②実行中	B：予定より遅延	20%	18%	C：目標を下回っている	②継続			
②	②実行中	B：予定より遅延	31%	31%					
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
西谷坂元線については、実施設計を完了し、整備工事を実施しました。鶉野飛行場線については、計画区間の南側半分の実施設計及び用地買収を行いました。豊倉日吉線については、実施設計が完了しており適時に工事着手を行う予定です。山下鎮岩線外の集落道整備については、緊急性を考慮して順次整備を行いました。					鶉野飛行場線及び豊倉日吉線は、特に重要性が高いため順次工事を進めて行く予定ですが、既設道路との交差点部分において、地元及び関係機関(兵庫県、公安委員会等)との調整が必要となっています。そのため、早期に協議を進め北側部分についても、実施設計に着手できるように進めていきます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	15 住みよい住環境								
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 自転車歩行者道やガードレール等の安全施設の整備を行います。								
主管部課	部名	都市整備部				課名	土木課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・西谷坂元線、鵜野飛行場線、豊倉日吉線					・西谷坂元線、鵜野飛行場線、豊倉日吉線		
	経費(千円)	97,315					315,095		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
歩道設置総延長(m)		目標		34,500	34,820	35,140	35,460	35,780	36,100
		実績	32,808	34,500	34,699	34,699	34,787	34,891	
(指標及びR2目標値の設定理由) 事業実施計画に基づき、基幹道路整備に伴う計画歩道整備延長を目標値に設置		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	99%	98%	98%	
			最終年度	96%	96%	96%	96%	97%	
R元取組状況	基幹道路を利用する自転車歩行者の安全確保のため、歩道整備に取り組みました。								
課題と今後(R2)の取組	「安心・安全で利便性の高い道路づくり」を目標に、計画的に歩道整備を実施していくとともに、交通反則金充当事業を活用し、ガードレール等の安全施設整備に積極的に取り組んでまいります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	98%	97%	B：目標を達成		②継続		
備考									
事業の進捗を図るため。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
西谷坂元線については、実施設計を完了し、道路改良工事に合わせ歩道整備を実施しました。					鵜野飛行場線及び豊倉日吉線は、特に重要性が高いため道路改良工事に合わせ歩道整備を進めて行く予定ですが、既設道路との交差点部分において、地元及び関係機関（兵庫県、公安委員会等）との調整が必要となっています。そのため、早期に協議を進め北側部分についても、実施設計に着手できるように進めていきます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	15 住みよい住環境								
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 長寿命化計画を作成して計画的な維持補修を行います。								
主管部課	部名	都市整備部				課名	土木課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・橋梁修繕(2橋)				・橋梁修繕(2橋)			
	経費(千円)	23,056				12,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
修繕工事を実施する橋梁数(橋)		目標		5	9	13	15	21	25
		実績	—	9	13	14	16	18	
(指標及びR2目標値の設定理由) 長寿命化計画に基づき、計画橋梁修繕工事箇所数を目標値に設定		目標数値の達成度	単年度	180%	144%	108%	107%	86%	
			最終年度	36%	52%	56%	64%	72%	
R元取組状況	橋梁利用者の安全確保のため、点検結果に基づき橋梁修繕工事に取り組みました。								
課題と今後(R2)の取組	長寿命化計画に基づき、計画的に橋梁修繕工事を実施してまいります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	86%	72%	C：目標を下回っている		②継続		
備考									
事業の進捗を図るため。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
市の管理する橋梁242橋を、年間約50橋ごとに5年サイクルで点検を行い、修繕工事を実施しました。					加西市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的な補修を進めることで、安全性の確保とコスト縮減を行っています。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	15 住みよい住環境								
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 河川の維持管理の強化と未改修河川を整備します。								
主管部課	部名	都市整備部				課名	土木課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・河川浚渫等					・河川浚渫等		
	経費(千円)	300					500		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
河川修繕工事及び河川浚渫の実施(箇所)		目標		2	3	4	5	6	7
		実績	—	2	5	6	2	9	
(指標及びR2目標値の設定理由) 標準的な年間浚渫要望箇所数を目標値に設定		目標数値 の達成度	単年度	100%	167%	150%	40%	150%	
			最終年度	29%	71%	86%	29%	129%	
R元取組状況	河川修繕工事及び河川浚渫に取り組みました。								
課題と 今後(R2)の取組	河川修繕工事及び河川浚渫を実施してまいります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	S: 予定より早く進行	150%	129%	A: 目標を上回って達成			②継続	
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
定期的な河川の点検と、自治会にも草刈り等の協力をお願いして適正な管理を行いました。					定期的な河川の点検の継続と、危険箇所については優先的に整備を行います。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	15 住みよい住環境								
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 公共施設等に関するわかりやすい案内表示板等、ユニバーサルデザイン の導入を推進します。								
主管部課	部名	都市整備部				課名	土木課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	案内表示版等の設置について検討					・案内表示板等 1箇所		
	経費(千円)	0					122,000		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
案内表示板等、ユニバーサルデザインの導入(箇所)		目標		0	1	2	3	4	5
		実績	—	0	1	1	1	1	
(指標及びR2目標値の設定理由) 1箇所/年(必要に応じて適宜実施)		目標数値 の達成度	単年度	0%	100%	50%	33%	25%	
			最終年度	0%	20%	20%	20%	20%	
R元取組状況	案内表示版等の設置について検討しました。								
課題と 今後(R2)の取組	泉バス停南駐車場整備にあわせて、案内表示を移設します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	25%	20%	C: 目標を下回っている			②継続	
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
公共施設に関する案内表示については、一定水準の整備がなされています。					今後は、案内表示の劣化による更新に合わせて、ユニバーサルデザインの導入を進めていきます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	16 社会参加を通じた生きがいづくり								
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 定年退職世代の技能を役立てる情報提供や就労講座を実施します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R 2 (予算額 (補正含む))			
	取組内容	・高齢者学級・講座の充実				・高齢者学級・講座の充実			
	経費 (千円)	940				880			
指標名		区分	目標 (下段の () 書きは、変更前の数値) ・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
高齢者講座年間受講者数		目標		460	470	470	480	490	500
		実績	426	493	533	558	577	600	
(指標及びR2目標値の設定理由) 「かしの木学園」「生き活き元気塾」受講者実数。当初から2割増加と設定。		目標数値 の達成度	単年度	107%	113%	119%	120%	122%	
			最終年度	99%	107%	112%	115%	120%	
R元取組状況	年々高齢者人口の増加に伴い、高齢者を対象とした講座の受講者数も増加しています。 かしの木学園の運営委員会が自主的に講座等を開催し、自ら企画・運営をしている館もあります。								
課題と 今後(R2)の取組	引き続き、魅力ある講座の開催や情報提供を図るとともに、高齢者の知識や技能を生かし、社会参加や地域貢献の一助となる講座を開催し、学習や仲間づくりに終始しない学級運営を目指します。 「生き活き元気塾」は健康に関心が高い参加者が多く、健康増進の一助となっている。一方で、サポートボランティアの確保が難しく課題となっています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	122%	120%	A：目標を上回って達成		②継続		
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
高齢者の学習の場として、かしの木学園では幅広い分野の講座を設定しています。 また、人生100年時代を想定し、高齢者の健康を目的とした生き活き元気塾は、健康意識が高い高齢者が多く、定員を超える申し込みがあります。				「かしの木学園」の講座で、人権、社会課題、地域の問題など、幅広い学びを提供していきます。 「生き活き元気塾」は高齢化に伴い要望に応じていく必要がありますが、サポートボランティアが足りないのが現状です。ボランティアの確保のため、関係機関と連携しボランティア養成講座の開催を検討します。 なお、基本計画の退職世代の就労講座については、現代の社会情勢に合わないため、計画の変更が必要と考えます。					

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	16 社会参加を通じた生きがいづくり								
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 シルバー人材センターとの事業連携を進め、高齢者の就業機会の開拓、拡充を支援します。								
主管部課	部名	健康福祉部				課名	長寿介護課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・シルバー人材センター運営補助					・シルバー人材センター運営補助		
	経費(千円)	9,541					10,459		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
シルバー人材センター会員数		目標		440	425	445	465	485	500
		実績	517	404	393	382	342	339	
(指標及びR2目標値の設定理由) H27年度の数値を基準として目標値を設定		目標数値 の達成度	単年度	92%	92%	86%	74%	70%	
			最終年度	81%	79%	76%	68%	68%	
R元取組状況	地域に質の高いサービスを提供し、又働く意欲のある高齢者が、年齢にかかわらずその能力や経験を生かして、生涯現役で活躍し続けるよう支援しました。								
課題と 今後(R2)の取組	雇用延長等の影響で60歳から69歳の新入会員数が減少しています。シルバー人材センター事業拡大のため、補助金を増額します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	70%	68%	C：目標を下回っている			②継続	
備考									
・実施計画中、「経費」・・・H30 9,641→9,541、R元 9,641→9,541 R2 9,661→10,459に変更します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
会員数は年々減少していますが、積極的な事業の取組、情報提供により、就業人員、就業率とも増加しています。					高齢者の健康で生きがいのある生活の実現や地域福祉の向上と活性化に貢献できるよう支援に努めます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	16 社会参加を通じた生きがいづくり								
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 高齢者自身が企画運営を進める事業を支援します。								
主管部課	部名	健康福祉部				課名	長寿介護課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・生活支援サポートセンター運営					・生活支援サポートセンター運営		
	経費(千円)	4,000					4,000		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
高齢者ボランティア数		目標		450	485	520	575	610	650
		実績	350	453	404	411	332	388	
(指標及びR2目標値の設定理由) 高齢者ボランティア数を当初の約倍増となる300人増を設定		目標数値の達成度	単年度	101%	83%	79%	58%	64%	
			最終年度	70%	62%	63%	51%	60%	
R元取組状況	住民同士の支え合い活動を広げ、また高齢者の社会参加により介護予防へ繋げるため、生活支援サポーター養成講座を開催しました。								
課題と今後(R2)の取組	新型コロナウイルスの影響により、依頼会員・協力会員ともに不安を覚えています。両者ともに安心できるよう、配慮していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	64%	60%	C：目標を下回っている		②継続		
備考									
・実施計画中、「経費」・・・H30 6,260→5,060、R元 6,260→4,000 に変更します。 ・実施計画中、「取組内容」・・・介護予防リーダー養成講座を削除します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
依頼数は増加していますが、依頼会員の希望通りにサービスを提供できています。					依頼数の増加に対応できるよう、引き続き養成講座を実施していきます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	16 社会参加を通した生きがいづくり								
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 障がい者団体の活動活性化と支援を拡充します。								
主管部課	部名	健康福祉部				課名	地域福祉課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・障がい者社会参加促進事業（サロン事業）の実施					・障がい者社会参加促進事業（サロン事業）の実施		
	経費（千円）	600					700		
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
障がい者サロン年間参加者数		目標		450	460	470	480	490	500
		実績	430	540	717	488	515	301	
（指標及びR2目標値の設定理由） 事業の浸透とともに参加者が徐々に増加しているため、さらに50人増を設定		目標数値の達成度	単年度	120%	156%	104%	107%	61%	
			最終年度	108%	143%	98%	103%	60%	
R元取組状況	6団体による実施でした。それぞれの団体で座談会や交流事業、ダンスイベント等の工夫した取組みを実施しています。								
課題と今後(R2)の取組	今後も、広報等を行い新規参加者を増やしていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	61%	60%	C：目標を下回っている			②継続	
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
各団体で取組み内容を工夫され、活動の活性化に成果をあげています。					引き続き、広報やHP等によるPRを行い、各団体による取組の参加者が増えるように支援していきます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	16 社会参加を通じた生きがいづくり								
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 社会参画機会の拡大と環境づくりを進めます。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・企業や事業所への障害者雇用の啓発、相談支援 ・自立支援協議会の運営				・企業や事業所への障害者雇用の啓発、相談支援 ・自立支援協議会の運営			
	経費(千円)	27,050				27,298			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
就労系サービス利用者数(延月人数)		目標		1,445	1,520	1,640	1,800 (1,760)	1,824 (1,880)	1,872 (2,000)
		実績	—	1,445	1,627	1,681	1,777	1,793	
(指標及びR2目標値の設定理由) 就労系サービス人数を示すもので、H27年度から5年間で555人増の数値を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	107%	103%	101%	95%	
			最終年度	77%	87%	90%	95%	96%	
R元取組状況		障害者就労支援員と連携し、窓口での就労支援のほか、ハローワークや特別支援学校、関係事業所と連携しての就労支援、定着支援を行いました。また、市役所内外における職業訓練事業による就労支援や庁内バザーを継続して実施しました。							
課題と今後(R2)の取組		障害者雇用に不安を持つ企業も存在するため、そのような企業に対し、一般就労の拡大や雇用継続を図る支援を行っていきます。就労支援員と連携し、特別支援学校の生徒の進路指導を支援します。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	95%	96%	B：目標を達成	②継続			
備考									
第5期加西市障害福祉計画（H30.3月策定）を策定する際に指標における計画の見直しを行い、その目標数値と合わせるため。消費税増税による増額分について経費を増やしています。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
委託相談支援事業の中に、就労支援員を配置し、関係機関との連携や相談者への丁寧な関わりを行うことができ、成果をあげています。					引き続き、事業所等と連携して、一般就労のための職場開拓や、職業訓練の拡大等を図ります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	16 社会参加を通じた生きがいづくり								
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★シニア世代の定住化の推進の一環として、地域資源を活かした加西市に相応しいC C R C構想の具体化を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	人口増政策課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・構想策定					—		
	経費(千円)	0					—		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★C C R C整備構想とりまとめ【3-61】		目標	—	—	—	—	—	1	1
		実績	—	—	—	—	—	0	
(指標及びR2目標値の設定理由) 構想推進のための基本構想のとりまとめが第1段階の目標となる		目標数値の達成度	単年度	—	—	—	—	0%	
			最終年度	—	—	—	—	0%	
R元取組状況	国の動向や他事例の把握に努めました。								
課題と今後(R2)の取組	中高齢者の人口移動状況だけでなく、既存ストックの活用方策、さらには民間活力の有効活用の可能性等についても十分に検証し、併せて、今後国が提示する予定の参考となるビジネスモデルや参考事例、経済効果・自治体財政への影響の分析結果等も踏まえながら、施策の検討を進めていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	0%	0%	C：目標を下回っている	③見直し			
備考									
・事業を再検討します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
基本的に事業の実施は民間企業や団体となり、それを市が支援する体制となります。そのためには、市の状況やニーズ、民間企業の進出意欲等の情報を合致させ、お見合いをさせるような中間支援組織の存在が必要であると感じます。					国の「第2期まち・ひと・しごと創生戦略」において、これまで「生涯活躍のまち」については、中高年齢者の移住に重点を置いていましたが、今後は全世代・全員活躍型の「コミュニティづくり」に重点を置くようになります。今後も国の動向を注視しながら、加西市にあった「生涯活躍のまち」を推進していかなければなりません。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり									
施策	17 こころとからだの健康づくり									
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	1 特定健診やがん検診、歯周疾患検診等の受診率向上のための制度を充実します。									
主管部課	部名	健康福祉部				課名	健康課、国保医療課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・がん検診無料クーポン券発行と未利用者への受診勧奨 ・20～30歳代の子宮頸がん検診個別受診勧奨 ・土日の町ぐるみ健診で託児を実施 ・国保加入者の特定健診料金の無料化 ・39歳以下で国保加入者以外の特定基本健診の無料化 ・胃がんリスク検診の実施					・がん検診無料クーポン券発行と未利用者への受診勧奨 ・40～50歳代の乳がん検診個別受診勧奨 ・土日の町ぐるみ健診で託児を実施 ・国保加入者の特定健診料金の無料化 ・39歳以下で国保加入者以外の特定基本健診の無料化 ・胃がんリスク検診の実施			
	経費(千円)	32,570					40,590			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
①がん検診受診率(%)		目標	胃 9.3 大腸 23.4 肺 29.6 子宮 13.9 乳 16.0	胃 11.0 大腸 25.0 肺 30.0 子宮 13.9 乳 16.6	胃 13.0 大腸 25.5 肺 30.0 子宮 14.0 乳 18.0	胃 15.0 大腸 25.5 肺 30.0 子宮 16.0 乳 20.0	胃 17.0 大腸 26.0 肺 30.0 子宮 18.0 乳 22.0	胃 19.0 大腸 26.0 肺 30.0 子宮 21.0 乳 23.0		
		実績	胃 12.6 大腸 22.4 肺 28.2 子宮 13.3 乳 11.6	胃 9.4 大腸 23.8 肺 31.2 子宮 11.1 乳 14.9	胃 7.9 大腸 22.3 肺 30.7 子宮 14.4 乳 14.5	胃 6.7 大腸 22.7 肺 30.9 子宮 15.7 乳 17.0	胃 5.8 大腸 22.0 肺 28.5 子宮 14.9 乳 17.1	胃 5.3 大腸 21.8 肺 30.0 子宮 14.0 乳 17.6		
(指標及びR2目標値の設定理由)		目標数値の達成度	単年度	98%	93%	93%	83%	80%		
健康かさい21計画(国の目標値に準拠)			最終年度	76%	76%	78%	74%	74%		
②★がん検診の無料クーポン利用率(%)【5-80】		目標	男14.8 女36.0	男15.0 女37.0	男16.5 女38.0	男18.0 女39.0	男20.0 女40.0	男20.0 女40.0		
		実績	男15.8 女45.5	男15.7 女45.6	男17.5 女55.5	男17.2 女46.2	男20.0 女38.8			
(指標及びR2目標値の設定理由)		目標数値の達成度	単年度	120%	118%	134%	111%	97%		
市重点事業として5%の増を目指す			最終年度	87%	102%	122%	106%	97%		
③特定健診受診率		目標	－	－	40.0	44.0	48.0	52.0		
		実績	29.7	34.5	39.1	39.6	38.8			
(指標及びR2目標値の設定理由)		目標数値の達成度	単年度	－	－	98%	90%	81%		
特定健診受診率の向上を図るため、年4%増を設定			最終年度	－	66%	75%	76%	75%		

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策						
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり					
施策	17 こころとからだの健康づくり					
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。					
R元取組状況	・平成29年度より特定健診の受診料を無料化しました。併せて、老人会と連携した戸別訪問や電話勧奨による受診促進を行ったほか、年度中、未受診者全員に対する積極的な受診勧奨を複数回行いました。 ・がん検診無料クーポン券は5月に対象者に送付し受診勧奨と受けやすい体制を整備しました。しかし、クーポン券の送付だけでは利用率は低く、再勧奨により向上しました。また、子宮頸がんの好発年齢を対象に個別勧奨を実施したことで、若い世代の受診を促進することができましたが、全体受診数は前年度と大きな変化はありませんでした。					
課題と今後(R2)の取組	・主な未受診理由が「医療機関で日常的に受診しているから」であったことから、定期受診と健診の違いや受診方法について、今後も丁寧に説明していく必要があります。また、健診の受診が運動ポイントの付与対象になる等、健診を受診することのメリットを更にアピールし、目標達成に向けて積極的な未受診者対策を実施していきます。 ・市民に病気の早期発見・治療につながる「がん検診」を定期的に継続して受診する意識づけが必要です。広報や個別勧奨等の取り組みに加え、啓発活動も実施します。また、より受けやすくなるようなシステム・体制を整備していきます。					
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(R元)	最終(R2)		
①	②実行中	B：予定より遅延	80%	74%	C：目標を下回っている	②継続
②	②実行中	B：予定より遅延	97%	97%		
③	②実行中	B：予定より遅延	81%	75%		
備考						
変更なし 平成30年度より一部を除き、乳がん検診での視触診を実施しません。 平成29年度より指標として「特定健診受診率」を追加しています。 令和元年度に若い世代の子宮頸がん検診個別勧奨を実施します。						
次期総合計画策定に向けた総括						
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性		
・積極的な健診の受診勧奨を実施した結果、健診受診率は平成28年度の34.5%から令和元年度の38.8%と大幅に上昇させることができました。 ・がん検診については、好発年齢層を焦点に勧奨通知、クーポン券送付しており、対象年齢については、受診行動につながることが多く、一定の成果はあります。しかし、年々受診率は伸び悩んでいます。託児サービス等についても利用者は少ないものの、利用者には好評です。女性ががんについては個別勧奨を令和元年度から開始し、若い世代の受診は少し増えました。				・平成29年度に健診の受診費用を無料化して以降、受診率が横ばいで推移しているため、勧奨方法を工夫する必要があります。 ・現在も実施している未受診者対策は継続しつつ、わかりやすく注目されやすい文書・チラシの作成や運動ポイント事業との関連性をアピールしていきます。 ・今後も健診受診対象者全員に勧奨を実施し、受診率の向上に努めます。 ・がん検診受診者数は年々微減傾向であり、受診率も伸び悩んでいます。特に女性ががんについては、県下でも受診率が低いため、重点的な取り組みが必要です。がんや生活習慣病については、健康寿命やQOLにかかわる健康問題につながりやすいため、若い世代から健康づくりや病気の予防を意識して生活できるよう、市民に啓発することが必要です。		

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 こころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 予防接種の助成制度を拡充します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・定期外の乳幼児ワクチン助成の継続実施 ・高齢者肺炎球菌ワクチンの助成				・定期外の乳幼児ワクチン助成の継続実施 ・高齢者肺炎球菌ワクチンの助成			
	経費(千円)	867				1,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★接種助成制度の創設数【1-2】		目標		-	-	-	1	1	1
		実績	-	-	-	-	1	1	
(指標及びR2目標値の設定理由) 当面は、種類の追加を目指す		目標数値 の達成度	単年度	-	-	-	100%	100%	
			最終年度	-	-	-	100%	100%	
R元取組状況	1歳～3歳未満の方を対象に引き続きおたふくかぜの予防接種費用を助成(上限3,000円)しました。対象者への個別通知や広報で広く周知しました。また、1歳6か月児健診ではおたふくかぜの予防接種の周知状況や接種状況を確認しました。								
課題と 今後(R2)の取組	令和2年度より子ども(年少～小学6年)のインフルエンザ予防接種の助成を開始します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成		②継続		
備考									
平成30年度に助成対象ワクチンの決定と対象者数より経費を再算出しています。 令和2年度より子どものインフルエンザワクチンの助成を開始									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
平成26年度から実施している肺炎球菌任意接種の助成に加えて、平成30年度よりおたふくかぜの予防接種の助成を開始しました。おたふくかぜの予防接種については、個別勧奨等を実施した事により、接種者は増加しています。					接種助成制度の創設は、令和2年度から子どものインフルエンザ予防接種の助成により、目標は、達成出来ました。次期計画では、創設数ではなく助成率を指標に設定し、市民の経済的負担の軽減に努めています。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 こころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 健診後の結果を生活に活かせるように食生活、運動の相談支援体制を充実します。								
主管部課	部名	健康福祉部				課名	健康課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・「健診のお知らせ」(全戸配布)に健診後の健康相談場の情報提供 ・町ぐるみ健診会場での個別相談 ・スマイル健康相談の実施 22回/年 ・健康講座の開催 4回/年 ・健診結果説明会 1回/年 ・運動短期教室での実施					・「健診のお知らせ」(全戸配布)に健診後の健康相談場の情報提供 ・町ぐるみ健診会場での個別相談 ・スマイル健康相談の実施 22回/年 ・健康講座の開催 4回/年 ・健診結果説明会 1回/年 ・運動短期教室での実施 ・運動機器の充実		
	経費(千円)	2,414					4,132		
指標名		区分	目標(下段の() 書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①運動を心がけている人の割合(%)		目標		31.4	(5年に1回の調査)				35
		実績	34	—	—	—	—	—	
(指標及びR2目標値の設定理由) 第2次健康かさい21		目標数値の達成度	単年度	—	—	—	—	—	
			最終年度	—	—	—	—	—	
②健康相談事業の利用者数		目標		574	1,000	1,025	1,050	1,075	1,100
		実績	—	574	962	791	679	549	
(指標及びR2目標値の設定理由) スマイル健康相談、町ぐるみ健診結果説明会、町ぐるみ健診個別相談利用者数		目標数値の達成度	単年度	100%	96%	77%	65%	51%	
			最終年度	52%	87%	72%	62%	50%	
R元取組状況	全戸配布や広報により、健診や運動教室等の情報を市民に提供しました。運動については、教室やポイント事業等で意識している人を増やす取り組みを行いました。健康相談は町ぐるみ健診受診時やスマイル相談等で多くの市民に実施できました。保健師・栄養士が対象者の生活背景や志向を確認しながら、生活習慣改善に向け具体的な助言を心がけましたが、利用数は減少傾向です。								
課題と今後(R2)の取組	第2次健康かさい21(中間評価)を実施する年度となる為、市民調査の結果を踏まえ、効果的な事業実施を検討します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
①	②実行中	—	—	—	C：目標を下回っている			②継続	
②	②実行中	B：予定より遅延	51%	50%					
備考									
平成30年度は北播磨圏域医師会の事業で「北播磨健康大学」で健康講座を開催したが、令和元年度については、医師会の協力を得て健康講座を開催します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
町ぐるみ健診会場や健康教育の後等、利用しやすい場所での相談機会を設けています。健診時の相談は若い世代の利用も多いため、生活習慣病予防につながる良い機会です。一方、スマイル健康相談の利用者数の減少傾向にある為、周知や実施方法を工夫していきます。運動については、運動教室やポイント事業等の取り組みを継続していきます。					市民の健康づくりを推進するため、運動習慣の定着、生活習慣病予防のための相談・指導を今後も継続していきます。広く市民に啓発することも必要であるため、第2次健康かさい21中間評価結果を確認し、これまでの取り組みを評価するとともに地域の状況に応じた対策を講じていきます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 こころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 地域の健康づくりを目的とした自主的な地区組織活動を支援します。								
主管部課	部名	健康福祉部				課名	健康課・国保医療課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・いずみ会による地域での活動において、より多くの方へのバランスのとれた朝食の摂取を普及啓発 ・ゆうゆう会による健康福祉まつりでの運動普及を継続					・いずみ会による地域での活動において、より多くの方へのバランスのとれた朝食の摂取を普及啓発 ・ゆうゆう会による健康福祉まつりでの運動		
	経費(千円)	120					148		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
自主組織(いずみ会・ゆうゆう会)による健康づくり普及実績数(健康課との共同実施した事業)		目標		2,499	2,550	2,600	2,650	2,700	2,750
		実績	—	2,499	2851	2,849	2,682	2,860	
(指標及びR2目標値の設定理由) 健康づくり普及実績数の増減がみられるため維持向上を目標とする。		目標数値の達成度	単年度	100%	112%	110%	101%	106%	
			最終年度	91%	104%	104%	98%	104%	
R元取組状況	市内各園では健康ピラミッドを使ってバランスの良い朝ご飯の普及も行いました。また、子育て世代の親子や学生には、朝食の大切さや食事バランスについて伝えるため調理実習、高齢者にはバランスのとれた簡単にできる料理を普及するため調理実習を行いました。また、会員の研修会を数回開催し、会員の知識と技術向上に努めています。ゆうゆう会については、健康福祉まつりや市主催のウォーキング事業やラジオ体操事業等で普及活動を行いました。								
課題と今後(R2)の取組	R2年度は新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、事業数が減ることが予想されます。会員や市民の健康と安全を第一に考え、第2次食育計画に基づき、今後も子供から高齢者までを対象に、バランスの良い朝食や正しい食習慣を啓発していきます。ゆうゆう会については、H30年度から会員数が大幅に減ったため、運動ポイント事業等を活用し、新規会員の獲得を図ります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	106%	104%	A：目標を上回って達成			②継続	
備考									
いずみ会研修会等のためのバス借上料も経費とする。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
毎年地域から継続して依頼があるので、いずみ会の活動が地域に広がり定着していることが、活動実績の増加につながっていると考えられます。ゆうゆう会については、令和元年度から普及活動の機会を大幅に増やし、会の活動が活発になってきました。					いずみ会活動を更に地域へ広め、多くの市民に活動を知ってもらい、食育や食生活改善活動を充実させていきます。また、会員のモチベーションアップを図るため、会員にとって楽しく活動しやすい環境づくりが必要です。ゆうゆう会については、普及活動に取り組む機会の充実に加え、会員のスキルアップに取り組めます。また、若い世代の会員獲得に取り組めます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 こころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 健康づくりのための拠点施設を充実します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・運動事業の推進、保健事業の実施					・運動事業の推進、保健事業の実施		
	経費(千円)	55,956					57,885		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
運動事業参加者実人員		目標		364	380	400	420	440	460
		実績	－	364	403	390	384	337	
(指標及びR2目標値の設定理由) 健康福祉会館事業のため。毎年5%の利用者増		目標数値の達成度	単年度	100%	106%	98%	91%	77%	
			最終年度	79%	88%	85%	83%	73%	
R元取組状況	「チャレンジ筋トレ」に変わって、筋力トレーニングと体幹トレーニングを主に行う「誇れるカラダづくり」、「チャレンジソフトエアロ」に変わってステップ台を使ったステップエクササイズと簡単なリズム体操を行う「リズム＆ステップ」を新たに開催しました。新規参加者を対象とした「健康づくり入門教室」、継続者を対象とした「ステップアップ教室」は引き続き開催しています。								
課題と今後(R2)の取組	新たに「トレーニング利用証」を発行される人数が少ないため実人員が減少しています。特定保健指導や運動ポイント事業などを利用し、新規参加者の獲得を図ります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	77%	73%	C：目標を下回っている		②継続		
備考									
運動教室の開催内容について見直し、「自主トレーニング」に取り組みやすい環境整備を進め、自主的な健康づくりの推進を図ります。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
運動教室に参加された方が、自主的に健康づくりに取り組めるように、前期・後期制度を取り入れたり、自主トレーニングを支援する「チャレンジ自主トレ」を開催することで自主トレーニングに取り組みやすい環境整備を進めてきた成果として、自主トレーニングの利用については増加傾向があります。					既存の参加者の自主的な健康づくりの推進では一定の成果が出ていますが、利用者の実人員はここ数年の間で減少傾向にあり、利用者数を増やすという目標は達成できていないため、新規利用者の獲得に取り組み利用者数の増加を目指します。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 こころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 こころの健康についての理解を深め、こころの問題を早期に対応できるよう、支援体制を整えます。								
主管部課	部名	健康福祉部				課名	健康課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・自殺対策強化週間・月間での庁外への普及啓発 ・睡眠・休養講座等でこころの健康づくりの周知					・自殺対策強化週間・月間での庁外への普及啓発 ・ゲートキーパー研修等普及啓発		
	経費(千円)	454					882		
指標名		区分	目標(下段の() 書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
自殺率の減少(3か年・人口10万対) 【減少指標】		目標		24.7	24.0	23.0	22.0	21.0	20.0
		実績	29.5	24.7	18.7	18.8	17.5	17.9	
(指標及びR2目標値の設定理由) ・加西市は自殺率が県下でも高く推移していた。現在は減少傾向にあるが、動向を確認していく必要がある。 ・自殺率は3か年ごとに評価。1年前のデータが最新となるため1年前の数値とする。		目標数値の達成度	単年度	100%	122%	118%	120%	115%	
			最終年度	77%	107%	106%	113%	111%	
R元取組状況	平成30年度に策定した加西市自殺対策計画に基づき、庁内関係各部署と加西市の自殺の現状を踏まえ対策を検討しました。自殺予防週間、予防対策強化月間等に合わせ横断幕やのぼりの設置、庁内、健康福祉会館にこころの健康に関する冊子を設置しました。「こころの体温計」システムの最後に、相談窓口についても掲載し、窓口について周知しました。成人式等においてこころの健康へ関心が高まるよう啓発を行いました。職員を対象に、ゲートキーパー研修を開催し、自殺対策意識の向上を図りました。								
課題と今後(R2)の取組	自殺率は平成28年以降横ばいの状況が続いており、引き続き自殺対策の取組が必要です。自殺対策計画に沿って関係者との連携を図り、自殺対策の普及啓発、相談窓口の拡充を推進していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	115%	111%	A：目標を上回って達成		②継続		
備考									
自殺対策基本法の改正により市町に自殺対策計画の策定が義務づけられたため、H30年度に策定しました。計画策定後、こころの健康相談や相談先の普及啓発等、内容を拡大強化し実施します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
心の健康づくり、自殺対策についての普及啓発、相談窓口の周知を図ったことで、計画策定当初に比較し自殺率は減少しています。					自殺率は減少傾向にありますが、毎年自殺者は発生している状況があります。引き続き、心の健康づくりに関する知識の普及啓発、ゲートキーパーの養成、相談窓口の周知を推進します。また、相談が受けやすいよう相談窓口の拡充を図ります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策		5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり							
施策		17 こころとからだの健康づくり							
到達目標		住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。</							

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策						
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり					
施策	17 こころとからだの健康づくり					
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。					
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(R元)	最終(R2)		
①	②実行中	—	—	—	C：目標を下回っている	②継続
②	②実行中	—	—	—		
③	②実行中	B：予定より遅延	87%	82%		
備考						
平成29年度策定の加西市第2次食育推進計画をもとに、食育を推進していきます。						
次期総合計画策定に向けた総括						
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性		
若い世代の朝食欠食を減らすため、母子保健事業や食育教室などで朝食摂取の大切さを伝え、どの年代についてもH29年度調査では目標達成しています。生活習慣病の講話等で野菜の摂取量などについて伝え、野菜を毎食食べている人の割合は、H29年度調査では目標達成です。栄養相談実施人数は、相談の場を増やすなどして、増加傾向にあります。				朝食や野菜の摂取については、今後も普及啓発し、市民の食生活改善を支援していく必要があります。第2次加西市食育推進計画や健康かさい21に基づいた取り組みや目標設定をしています。		

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 こころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	8 ★特定不妊治療に対する支援を行います。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 （決算額）				R2 （予算額（補正含む））			
	取組内容	・体外受精及び顕微授精（特定不妊治療）・男性不妊治療費の医療費助成（各上限5万円） ・不育症（2回以上の流産や死産などがあること）の治療費助成（上限15万円）				・体外受精及び顕微授精（特定不妊治療）・男性不妊治療費の医療費助成（各上限5万円） ・不育症（2回以上の流産や死産などがあること）の治療費助成（上限15万円）			
	経費（千円）	1,936				3,150			
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★特定不妊治療助成年間件数【1-19】		目標		45	48	51	54	60	60
		実績	－	44	40	56	33	46	
（指標及びR2目標値の設定理由） 補助実績件数による推計（約25%増）		目標数値の達成度	単年度	98%	83%	110%	61%	77%	
			最終年度	73%	67%	93%	55%	77%	
R元取組状況	兵庫県指定医療機関で体外受精及び顕微授精（特定不妊治療）を受け、兵庫県特定不妊治療費、男性不妊治療費の助成を受けている夫婦に対し、その治療費から県の1回あたりの助成額を控除した額の助成を行いました。（各上限5万円） また、不育症（2回以上の流産や死産等があること）の治療費助成を行いました。（上限15万円）								
課題と今後(R2)の取組	新型コロナウイルス感染拡大の影響により日本生殖医学会からの声明が出され、人工授精や体外受精など延期可能なものは、延期を考慮するよう求めています。コロナウィルスの急速な感染拡大が収まるまで、もしくは妊婦に使用できる予防薬や治療薬が開発されるまでは、積極的な広報は、控えるべきであると考えます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	77%	77%	C：目標を下回っている		②継続		
備考									
取組内容に男性不妊治療を追加（R元より）									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
従来から助成していた特定不妊治療費に加え、平成28年度から不育症治療費、令和元年度から男性不妊治療費の助成を開始し、市民の負担軽減に努めています。平成30年度は、目標値を大きく下回りましたが、目標値を上回った年もあり一定目標を達成出来ています。					新型コロナウイルス感染拡大により、不妊治療については、延期するよう求められていますので、今後は減少傾向になると予想されます。次期計画においては、コロナウィルスの影響も鑑み、目標値を下げる必要があると考えます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 こころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	9 ★歩くまちづくりの推進のため、市民の誰もが歩いて暮らす健康づくりの環境整備を進めます。								
主管部課	部名	健康福祉部				課名	健康課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	スマートフォンを利用した運動ポイント事業を実施					・事業の継続実施		
	経費(千円)	12,077					10,000		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★健幸ポイント事業参加者数【5-79】		目標		250	500	750	1,000	1,000	1,000
		実績	-	250	500	1,000	1,500	2231	
(指標及びR2目標値の設定理由) 500人定員とし、徐々に増やし倍増を想定		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	133%	150%	223%	
			最終年度	25%	50%	100%	150%	223%	
R元取組状況	専用アプリ「加西健幸アプリ」を作成し、6月1日から2月29日の期間、2019年度の運動ポイント事業を実施しました。対象を従来の40歳以上の加西市民から20歳以上の加西市民に変更し、若い世代や健康づくりに無関心な市民へのポピュレーションアプローチを強化して取り組みました。アプリのダウンロード者数は実施期間内に2,800人を超え、うち市民の登録者数は2,200人を超えました。								
課題と今後(R2)の取組	今年度初めて事業に参加された市民をはじめとする参加者に対して、健康づくりの重要性を伝え、健康意識を高めることで、自ら健康づくりを実践していただけるよう事業を展開していくことが今後の課題です。また、更に参加者を増やし、市民全体の健康づくりの底上げを図れるよう取り組みます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	半年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	223%	223%	A：目標を上回って達成			②継続	
備考									
専用のモバイルアプリケーションを作成し、スマートフォンを利用した運動ポイント事業を実施します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
H28年度から本格的にインセンティブを設けた運動ポイント事業を実施し、年々事業の参加者を増やすことに成功し、歩くことに着目した市民の健康づくりの推進に取り組んでいます。					更に事業参加者を増やし、市民全体の健康づくりを推進します。また、北播磨広域定住自立圏の形成に向けた取り組みとして、専用アプリを活用し、健康づくりの推進に取り組み、圏域の活性化を図ります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	18 地域医療体制の充実								
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 医療者の確保と安全な医療体制を構築し、新病院改革プランの策定と着実な病院の運営を実施します。								
主管部課	部名	加西病院			課名				
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・地域医療フォーラムの共催、小・中学生向けの救急救命講習の実施。住民向けの病院出前講座への医師等の派遣。ワークライフバランスの推進。就職説明会へ参加、実習・見学者の受入。緊急的な医師確保の実施。 ・地域包括ケア病棟の運営、医療制度改革への対応、新内科専門医研修プログラムによる専門医の募集・育成。新病院改革プランの着実な実施と適時見直しの実施。病院将来構想の策定を受けて、病院機能等の再検討・再構築を図る。				・地域医療フォーラムの共催、小・中学生向けの救急救命講習の実施。住民向けの病院出前講座への医師等の派遣。ワークライフバランスの推進。就職説明会へ参加、実習・見学者の受入。緊急的な医師確保の実施。 ・地域包括ケア病棟の運営、医療制度改革への対応、新内科専門医研修プログラムによる専門医の募集・育成。病院将来構想意見書を受けて、病院機能・規模等の再構築を図る加西市新院建設基本計画の策定を行う。併せて新病院改革プランの適時見直しの実施と着実な実施。			
	経費(千円)	100				100			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
地域医療市民フォーラム参加者数		目標		320	340	360	380	400	420
		実績	－	320	110	400	0	0	
(指標及びR2目標値の設定理由) 一人でも多くの市民の方々に関心を持ってもらい、愛着をもって病院を応援して頂く方を増やすため。		目標数値の達成度	単年度	100%	32%	111%	0%	0%	
			最終年度	76%	26%	95%	0%	0%	
R元取組状況	地域医療フォーラムについては、前年に引き続き開催を見送り、市立加西病院将来構想検討委員会による検討結果を受けた加西市新病院建設基本計画策定委員会による、具体的な構想を市民に提示し、現状への理解と将来の姿を共に考える機会を設ける予定としていたが、予定より委員会の期間がかかったため、令和元年度中の実施できなかった。それ以外の住民向け出前講座や生徒向け救急救命講習は予定通り実施し、地域に開かれた病院として身近に感じてもらえるよう努めた。								
課題と今後(R2)の取組	市立加西病院将来構想検討委員会の検討結果を受け加西市新病院建設基本計画策定委員会による具体的な将来像を描き、新病院建設し、安定した地域医療の実現を目指します。このためには、住民の理解・共感が不可欠であり、住民とともに将来像を考えるための取組として、圏域における医療・介護の現状と将来予測を共有し、加西病院が地域において果たすべき役割について共に考える機会を設ける必要があると考えています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	0%	0%	C：目標を下回っている		②継続		
備考									
平成30年度に市立加西病院将来構想を策定する予定となっています。そのため将来構想の策定を受けて病院機能。病床数の検討に着手する予定のため取組み内容を追加します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行									

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	18 地域医療体制の充実								
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかるるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 高度医療の充実と、近隣病院、診療所との連携を強化します。								
主管部課	部名	加西病院				課名			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・開業医へのホットラインの運用継続と循環器内科のホットラインの運用。近隣市開業医・病院訪問の促進、近隣市診療所への情報提供、きずなネットの利用促進。近隣消防署の訪問。医療機器の着実な更新（CT含む）。紹介患者の受入促進と逆紹介の促進					・開業医へのホットラインの運用継続と循環器内科のホットラインの運用。近隣市開業医・病院訪問の促進、近隣市診療所への情報提供、きずなネットの利用促進。近隣消防署の訪問。医療機器の計画的な更新。紹介患者の受入促進と逆紹介の促進・北播磨総合医療センター、加古川中央市民病院、県立はりま姫路総合医療センター（仮称）と連携、機能分担により、地域の診療所のバックアップと上記の高度急性期病院との懸け橋となります。		
	経費（千円）	36,060					199,200		
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
加西病院への年間紹介患者数		目標		6,900	7,000	紹介率43% 逆紹介率55% (7,100)	紹介率45% 逆紹介率60% (7,200)	紹介率47% 逆紹介率65% (7,500)	紹介率50% 逆紹介率70% (7,900)
		実績	6,100	6,782	6,452	紹介率53% 逆紹介率61% (6,166)	紹介率40% 逆紹介率53% (6,891)	紹介率44% 逆紹介率60% (6,241)	
(指標及びR2目標値の設定理由) 診療所等から加西病院への紹介患者数を後期5ヵ年で1,000人増を目指す		目標数値の達成度	単年度	98%	92%	87%	97%		

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	18 地域医療体制の充実								
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 県、医師会、病院との連携を強化します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課・福祉企画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R 2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・地域医療市民フォーラムの継続開催 ・保健事業検討会の継続開催					・地域医療市民フォーラムの継続開催 ・保健事業検討会の継続開催		
	経費(千円)	0					20		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
病院・診療所数		目標		32	32	32	33	34	35
		実績	27	32	32	32	31	31	
(指標及びR2目標値の設定理由) 地域医療の維持の観点から設定。医療機関が不足しているため。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	94%	91%	
			最終年度	91%	91%	91%	89%	89%	
R元取組状況	・医療介護連携における研修会や会議を開催しました(地域医療市民フォーラムは未実施)。 ・令和元年度は、健診・予防接種事業の実施内容を適切に行うため、加西市医師会と保健事業検討会を実施しました。								
課題と今後(R2)の取組	・地域医療市民フォーラムについて再検討し、医療介護推進部会(地域包括ケアシステム)の推進を継続します。 ・令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、保健事業検討会の開催が困難となります。オンラインや書面を活用し、事業を適切に実施するため調整を行っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	91%	89%	C：目標を下回っている		②継続		
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
・地域医療市民フォーラムは平成30年度から実施できていませんが、医療介護連携相談窓口の設置等、市立加西病院や医師会との連携は進んでいます。 ・平成28年度、29年度の地域医療市民フォーラムでは、基調講演や地域医療に携わる医師や地域の医療・介護関係者等によるパネルディスカッションにより、広く市民への広報を図りました。 ・医師会からの提案も受け保健事業検討会を開催し、新規事業を適切に実施しました。					・市立加西病院の将来構想検討委員会の議論の進捗を待ちながら、地域医療市民フォーラムの今後の開催について再検討することが必要です。 ・加西市地域包括ケアシステム推進部会等の会議・研修を通じて、地域医療の推進を図ります。 ・新型コロナウイルスの関係で検討会の実施が難しくなっていますが、医師会との連携は、市の事業を実施する上でとても重要であるため、次期計画においても現在と同様、適切に調整することで連携を強化していきます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	18 地域医療体制の充実								
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 保健、医療、福祉、介護等との連携を密にし、これらのサービスが適切に受けられる体制を確保します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	福祉企画課、健康課、長寿介護課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・保健福祉推進協議会の開催及び地域包括ケアシステム推進部会における医療介護連携等の推進 ・医療介護連携相談窓口の設置				・保健福祉推進協議会の開催及び地域包括ケアシステム推進部会における医療介護連携等の推進 ・医療介護連携相談窓口の設置			
	経費(千円)	2,424				3,387			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
地域医療市民フォーラム参加者数		目標		320	340	360	380	400	420
		実績	－	320	110	400	0	0	
(指標及びR2目標値の設定理由) 保健、医療、福祉、介護等各サービスの現状や課題、展望についてフォーラムにて周知を行うため。		目標数値の達成度	単年度	100%	32%	111%	0%	0%	
			最終年度	76%	26%	95%	0%	0%	
R元取組状況	・加西市地域包括ケアシステム推進部会の各ワーキングにおいて関係機関との研修会や連絡会を開催し、さらに推進部会にて協議を行いました。 ・医療介護連携相談窓口ワーキングにおいて、相談窓口の利用促進、医療・介護地域連携パスの運用について検討しました。 ・保健医療福祉推進協議会を開催し、推進部会の進捗状況を確認しました。 ・地域医療市民フォーラムについては、市立加西病院の将来構想検討委員会の議論を待ち、平成30年度に続き未開催となりました。								
課題と今後(R2)の取組	・引き続き推進部会において多職種連携体制の構築を進め、保健医療福祉推進協議会では、地域における各分野の連携のあり方について協議します。 ・医療介護連携相談窓口ワーキングにおいて、相談窓口の利用促進、医療・介護地域連携パスの運用について地域の介護事業者や医療機関との連携が重要なため医療・介護連絡会等を引き続き開催し、連携を図ります。 ・地域医療フォーラムについては、今後も市民に医療・介護の連携について周知を図るため計画する必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
		②実行中	B：予定より遅延	0%	0%	C：目標を下回っている		②継続	
備考									
・平成30年2月から加西病院に医療介護連携相談窓口を設置したことによる増額。 ・医療フォーラム(医療・介護フォーラム)に専門講師を呼び、広く市民への広報を図る。 ・598→3,461千円 ・委託料等の変更による減額									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
・H29年度に医療介護連携相談窓口を加西病院に設置しました。 ・地域包括									

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	18 地域医療体制の充実								
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 医師会、歯科医師会による休日や年末年始の医療体制を確保します。								
主管部課	部名	健康福祉部				課名	健康課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・休日・年末年始の診療体制の維持 ・医療のかかり方、及び小児救急について、医療電話相談センターの周知					・休日・年末年始の診療体制の維持 ・医療のかかり方、及び小児救急について、医療電話相談センターの周知		
	経費(千円)	4,880					4,880		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
休日及び年末年始の医療体制・加西市医師会・加西市歯科医師会2団体の維持		目標		2	2	2	2	2	2
		実績	1	2	2	2	2	2	
(指標及びR2目標値の設定理由) 医療体制確保の実績のため		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	100%	
			最終年度	100%	100%	100%	100%	100%	
R元取組状況	前年度と同様加西市医師会による休日診療及び加西市歯科医師会による年末年始の医療体制の確保を行いました。								
課題と 今後(R2)の取組	平成27年度より開始した、年末年始休日歯科診療の市民への普及が必要です。 体制を維持しつつも、適正な受診行動を市民に促すため「医療のかかり方」を周知する必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成	②継続			
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
加西市医師会が実施する休日診療及び加西市歯科医師会による年末年始の医療体制の確保を行いました。休日診療については、毎年1,000人を超える患者が受診しており、一定の医療体制の確保ができています。					加西市歯科医師会が実施する年末年始の休日診療については、市民に制度が浸透していない感があります。引き続き制度の普及を行うため広報を続けていきます。 次期計画においても現行通り加西市医師会が実施する休日診療及び加西市歯科医師会による年末年始の休日診療を実施していきます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	18 地域医療体制の充実								
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★開設費用に対する補助を行うことにより、市内に新たに産婦人科医院等を誘致し、安心して出産できる環境を整備します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・誘致協議					—		
	経費(千円)	0					—		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★産婦人科医院等の開設【1-4】		目標		—	—	—	—	1	1
		実績	—	—	—	—	—	0	
(指標及びR2目標値の設定理由) 産婦人科医院等の開設数が指標として適当であり、 現在市内にない産婦人科医院をまず1施設開設させる必要がある。		目標数値 の達成度	単年度	—	—	—	—	0%	
			最終年度	—	—	—	—	0%	
R元取組状況	平成28年度の庁内プロジェクトチームでの検討の後は、新たな他団体の取組みなどの把握に努めている。								
課題と 今後(R2)の取組	市立加西病院産婦人科の休止に伴い、民間の産婦人科医院等の誘致よりも、今後の出生者数の動向と費用対効果等を踏まえた加西病院産婦人科の復活に重きをおくべきかと思います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
		②実行中	B：予定より遅延	0%	0%	D：目標を大きく下回っている		④廃止	
備考									
・事業を再検討します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
計画時は加西病院産婦人科がある状況での民間病院の誘致であったが、計画期間中に休止したため、今後は加西病院での産婦人科医の確保が優先課題となりました。					市立加西病院産婦人科の休止に伴い、民間の産婦人科医院等の誘致よりも、今後の出生者数の動向と費用対効果、そして市民が安心安全に埋める場所の確保を踏まえた加西病院産婦人科の復活に重きをおくべきかと思います。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策								
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり							
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし							
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。							
基本計画・主管部課								
基本計画	1 高齢者や障がい者、及びその介護者を支援するため、総合的な支援体制を強化します。							
主管部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課、地域福祉課、福祉企画課		
評価検証								
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・生活介護サービスの充実 ・一時相談窓口業務委託 ・協議体・生活支援コーディネーターによる生活支援サービスの企画立案 ・第3期加西市地域福祉計画策定				・生活介護サービスの充実 ・一時相談窓口業務委託 ・協議体・生活支援コーディネーターによる生活支援サービスの企画立案		
	経費(千円)	83,247				51,530		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値					
			当初	H27	H28	H29	H30	R元 R2
①生活介護サービス利用者数(延月人数)	目標			1,547	1,560	1,620	1,680	1,740 1,800
	実績		—	1,547	1,639	1,871	1,945	2,024
(指標及びR2目標値の設定理由) 生活介護サービスの利用者数を示すもので、H27年度の数値を基準として設定		目標数値の達成度	単年度	100%	105%	115%	116%	116%
			最終年度	86%	91%	104%	108%	112%
②一時相談窓口に寄せられた相談者数	目標</							

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策								
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり							
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし							
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。							
基本計画・主管部課								
基本計画	2 ひとり暮らしや高齢者夫婦世帯へ地域に密着した配食サービスを拡充します。							
主管部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課		
評価検証								
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・配食サービス利用助成金交付事業				・配食サービス利用助成金交付事業		
	経費(千円)	3,613				4,800		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値					
			当初	H27	H28	H29	H30	R元 R2
配食サービス配食数	目標			400	400	400	400	400 400
	実績		—	295	305	347	348	269
(指標及びR2目標値の設定理由)								

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし								
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 要援護高齢者の通院等外出支援のために移送サービスを充実します。								
主管部課	部名	健康福祉部				課名	長寿介護課、地域福祉課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・高齢者等外出支援サービス					・高齢者等外出支援サービス		
	経費(千円)	1,151					1,395		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
高齢者外出支援サービス事業年間利用延べ件数	目標			300	300	300	300	300	300
	実績	－		291	237	235	156	246	
(指標及びR2目標値の設定理由) 開庁日稼働件数を目標値として設定		目標数値 の達成度	単年度	97%	79%	78%	52%	82%	
			最終年度	97%	79%	78%	52%	82%	
R元取組状況									

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし								
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 地域の介護予防リーダーの養成とその活動を支援します。								
主管部課	部名	健康福祉部				課名	長寿介護課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・地域の介護リーダーを養成					・地域の介護予防リーダーを養成		
	経費(千円)	0					60		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
介護予防リーダー養成数		目標		300	340	380	420	460	500
		実績	73	301	301	378	498	543	
(指標及びR2目標値の設定理由) 前期、後期にそれぞれ4回コースの講座を開催		目標数値 の達成度	単年度	100%	89%	99%	119%	118%	
			最終年度	60%	60%	76%	100%	109%	
R元取組状況		社会福祉協議会と共催により、生活支援サポーター養成講座と							

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし								
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 ★大学等との連携による高齢者の介護支援（介護予防）を進めます。								
主管部課	部名	健康福祉部				課名	長寿介護課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 （決算額）					R2 （予算額（補正含む））		
	取組内容	・認知症カフェやサロンへの大学生や子育て中の母親などの連携							

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし								
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★あったか声かけ作戦を推進します。								
主管部課	部名	健康福祉部				課名	長寿介護課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・あったか声かけ作戦の実施					・あったか声かけ作戦の実施		
	経費(千円)	330					330		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
あったか声かけ作戦の実施地区数		目標		8	11	11	11	11	11
		実績	－	10	11	11	11	9	
(指標及びR2目標値の設定理由) 全校区においてあったか声かけ作戦を実施		目標数値 の達成度	単年度	125%	100%	100%	100%	82%	
			最終年度	91%	100%	100%	100%	82%	
R元取組状況	各小学校区ごとの実施を目指しており、企画時点では網羅できていましたがコロナウイルス感染症の拡大防止のため北条地区(2小学校区分)								

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	20 防犯・防災のまちづくり								
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 災害時要援護者の登録推進を図ります。								
主管部課	部名	総務部				課名	危機管理課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・要援護者台帳の更新 ・個別支援計画の策定					・要援護者台帳の更新 ・個別支援計画の策定		
	経費(千円)	360					360		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
災害時要援護者台帳登載率(%)		目標		61.5	63.0	64.0	65.0	66.0	67.0
		実績	—	61.5	61.1	54.7	54.8	54.8	
(指標及びR2目標値の設定理由) 支援希望の有無について回答のない方198名のうち 2/3を台帳に搭載すると想定		目標数値 の達成度	単年度	100%	97%	85%	84%	83%	
			最終年度	92%	91%	82%	82%	82%	
R元取組状況		・災害時要援護者の新規対象者(介護保険(要							

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	20 防犯・防災のまちづくり								
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 通学路防犯灯を増設し、児童の安全対策を図ります。								
主管部課	部名	総務部				課名	危機管理課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・地元の要望に対応しつつ、通学路に積極的に設置					・地元の要望に対応しつつ、通学路に積極的に設置		
	経費(千円								

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	20 防犯・防災のまちづくり								
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 青色防犯パトロールによる巡回活動を充実します。								
主管部課	部名	総務部				課名	危機管理課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・登下校時の見守り ・防犯パトロール					・登下校時の見守り ・防犯パトロール		
	経費(千円)	0					0		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
年間のパトロール実施回数		目標		190	190	190	190	190	190

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	20 防犯・防災のまちづくり								
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 警察や交通安全協会等との連携を強化し、免許返納制度を推進します。								
主管部課	部名	総務部				課名	危機管理課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・免許更新時、交通安全講習会の際に啓発					・免許更新時、交通安全講習会の際に啓発		
	経費(千円)	0					0		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
高齢者における人身事故									

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	20 防犯・防災のまちづくり								
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★老朽危険空き家問題に取り組み、安全安心のまちづくりを推進します。								
主管部課	部名	総務部				課名	危機管理課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・所有者への助言・指導 ・自治会への除却補助 ・老朽危険空き家対策計画策定					・所有者への助言・指導 ・自治会への除却補助		
	経費(千円)	2,000					2,500		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	20 防犯・防災のまちづくり								
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 ★防犯カメラの設置により、犯罪の未然防止に努めます。								
主管部課	部名	総務部				課名	危機管理課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・主要交差点に重点的に設置し、必要とする自治会に設置補助					・必要とする自治会(県の補助を受けたことを前提)に設置補助		
	経費(千円)	3,367					4,720		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 ★加西市の子ども・子育ての総合的な拠点施設として、未来型児童館を設置します。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	こども未来課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・ひろば事業の充実 ・利用者支援事業の実施					・ひろば事業の充実 ・利用者支援事業の実施		
	経費(千円)	29,515					33,055		
指標名		区分	目標(下段の()書きは						

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策								
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり							
施策	21 安心できる子育て支援							
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して							

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 教育と福祉、保健部門とのネットワークを活かした子育て支援や療育相談の機能を高めます。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	こども未来課		
評価検証									

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策								
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり							
施策	21 安心できる子育て支援							
到達目標	家庭や							

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 学校との連携を強化し、学童保育を充実します。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	こども未来課		

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策								
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり							
施策	21 安心できる子育て支援							
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。							
基本計画・主管部課								
基本計画	6 認定こども園の整備による幼保一体化を促進し、民間活用も含めた保育・教育の拡充を進めます。							
主管部課	部名	教育委員会				課名	こども未来課	

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 保育料の無料化等、保護者の負担軽減を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会 ふるさと創造部				課名	こども未来課 人口増政策課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・4・5歳児の保育料の無料化 ・子育て応援券制度の検討					※事業終了		
	経費(千円)	—					※事業終了		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★保育料等の無料化対象年齢【1-12】		目標		—	4・5歳	4・5歳	4・5歳	4・5歳	事業終了
		実績	—	4・5歳	4・5歳	4・5歳	4・5歳	3・4・5歳	
(指標及びR2目標値の設定理由) 4・5歳児保護者の負担軽減を維持する		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	100%	
			最終年度	100%	100%	100%	100%	100%	
②★子育て応援券制度対象者数【1-7】		目標		—	—	900	1,300	1,300	事業終了
		実績	—	—	—	—	—	—	
(指標及びR2目標値の設定理由) 子育て応援券制度対象者の増加を図る		目標数値 の達成度	単年度	—	—	—	—	—	
			最終年度	—	—	—	—	—	
R元取組状況	・令和元年10月から国の施策により、3～5歳児の保育料が無償化となりました。これまで加西市独自で4～5歳児の無償化を実施していましたが、3歳児まで対象年齢を拡大することができました。								
課題と 今後(R2)の取組	・子育て応援券制度については平成28年度の庁内プロジェクトチームにおいて事業化を検討しましたが、平成28年度から4歳・5歳児の保育料の無料化を開始していることで、既に子育て世代の経済的負担の軽減が一定図られていることや、実施により相応の財源負担を伴うことから、その他子育て支援施策とのバランスを考慮しながら継続して検討することとなりました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
①	③完了	A：予定通り進行	100%	100%	A：目標を上回って達成		①完了		
②	①未着手	—	—	—					
備考									
副食費の無償化に伴う経費(公立園在籍児分)は予算要求とならないため計上していません。 国の保育料無償化に伴い、これまで市単独で無償化を実施していた4、5歳児保育料部分の経費を副食費無償化に充てます。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
国の無償化制度は、3～5歳児の保育料の中から給食費(副食費)を取り出し、給食費以外の部分を無償化とするもので、給食費は改めて保護者から実費徴収することとなりました。そのため、加西市においては、給食費も含めた完全無償化を令和元年10月から実施し、保護者の負担軽減を更に推し進めました。					子育て支援に係る市の大きな方針である保育料の無料化が令和元年10月から国の制度で3～5歳児の保育料が無料となったことに合わせて、今後は更なる子育て支援として子育て応援券制度の必要性の有無について検討します。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	8 子育てひろば事業や病児・病後児保育等の利用を促進します。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	こども未来課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・病児保育の実施				・病児保育の実施			
	経費(千円)	14,550				13,850			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★病児病後児保育施設年間利用者数【1-13】		目標		300	400	400	400	500	500
		実績	—	411	475	623	431	564	
(指標及びR2目標値の設定理由) H27年の実績を基に目標を設定する		目標数値 の達成度	単年度	137%	119%	156%	108%	113%	
			最終年度	82%	95%	125%	86%	113%	
R元取組状況		・病児・病後児保育事業に関する保護者への周知を継続的に実施し、昨年に引き続き、保護者が集うこども園の行事に出向き、啓発活動を行いました。今年度は2園で155人に事業案内の説明をしました。							
課題と今後(R2)の取組		今後も事業者と制度に対する保護者の評価を高めていきます。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	113%	113%	A：目標を上回って達成			②継続	
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
事業周知も進み、利用実績は順調に推移しています。					継続してPRを行うことにより、利用促進を図ります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	9 地域の保育サポーターやプレイリーダーを養成します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・会員養成講座、会員交流会の充実 ・会報発行等を通じた活動の周知				・会員養成講座、会員交流会の充実 ・会報発行等を通じた活動の周知			
	経費(千円)	3,070				3,851			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★ファミリーサポートセンター協会会員数【1-21】		目標		60	61	62	63	65	65
		実績	29	60	61	57	63	65	
(指標及びR2目標値の設定理由) 協力会員数は、地域の保育サポーターを示すもの。 現状より会員増(約1人/年)を設定。		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	92%	100%	100%	
			最終年度	92%	94%	88%	97%	100%	
R元取組状況		・会報(ファミサポだより)発行による活動状況等の周知に努めました。 ・安心して活動が行えるよう会員養成講座を開催、協力会員の資質向上を図りました。また、ファミサポ活動への理解と会員増、利用増を図るため、会員交流会を開催しました。 ・乳児検診や市のイベント時に交流会のチラシを配布し、事業の啓発を図りました。							
課題と 今後(R2)の取組		・ファミリーサポートクラブ活動の周知・啓発に努めます。 ・現在は利用者の要望にほぼ対応できる体制になっており、実働できる提供会員が徐々に増えています。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成	②継続			
備考									
R2.4から教育委員会こども未来課へ移管予定。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
ファミリーサポートクラブ活動の充実を図り、現在は利用者の要望にほぼ対応できる体制になっており、実働できる提供会員が徐々に増えています。					ファミリーサポートクラブ活動の充実や普及啓発を続け、子育て支援活動の充実を図ります。また安心してサポートできるよう、提供会員の研修の充実を図る必要があります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	10 中学３年生までの医療費自己負担無料化について、継続して実施します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	国保医療課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R 2 (予算額（補正含む）)		
	取組内容	・中学３年生までの医療費無料化及び公費負担医療助成事業の継続実施					・中学３年生までの医療費無料化及び公費負担医療助成事業の継続実施 ・支給制限（所得制限）を廃止		
	経費（千円）	158,985					185,372		
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★中学３年生までの医療受診件数【1-18】		目標		82,496	83,000	83,500	84,000	84,500	85,000
		実績	－	81,456	84,042	83,119	78,825	77,566	
(指標及びR2目標値の設定理由) 子どもの増加に伴い、受診件数が増えることが予想されるため、受診件数を評価指標としています。		目標数値の達成度	単年度	99%	101%	100%	94%	92%	
			最終年度	96%	99%	98%	93%	91%	
R元取組状況	中学３年生までの医療費無料化を継続して実施するとともに、出生や転入者などの新規対象者について、受給者証交付時に使用方法の丁寧な説明を行い、確実に助成をうけていただけるように案内をしました。								
課題と今後(R2)の取組	子育て世帯の経済的負担を軽減するため、現行の支給制限（所得制限）を廃止し、医療費助成を拡大します。（R２年度～）								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	92%	91%	C：目標を下回っている		②継続		
備考									
子育て世帯の経済的負担を軽減するため、現行の支給制限（所得制限）を廃止し、医療費助成を拡大する。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
中学３年生までの医療費自己負担無料化について、継続して実施したことにより、子育て世帯の負担軽減、子どもの疾病の早期治療を促進し、安心して子どもを生み育てられる環境づくりにつながりました。さらに、R２年度からは、現行の支給制限（所得制限）を廃止し、医療費助成を拡大します。					中学３年生までの医療費自己負担無料化について、R２年度からの所得制限廃止を含め、継続して実施することが必要です。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	11 ★妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない相談や産後ケア等の支援体制を整備します。								
主管部課	部名	健康福祉部				課名	健康課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・産後ケア事業の継続 ・乳房ケア事業の継続 ・すくすく相談窓口 ・プレママ・パパママ教室 ・産前産後サポート事業				・産後ケア事業の継続 ・乳房ケア事業の継続 ・すくすく相談窓口 ・プレママ・パパママ教室 ・産前産後サポート事業			
	経費(千円)	8,825				12,312			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★産後ケア事業の利用率(%)【1-3】		目標		－	3.0	6.0	8.0	10.0	10.0
		実績		－	16.7	9.3	9.4	30.0	
(指標及びR2目標値の設定理由) 事業についての周知が広がることで利用者が増加することを見込む		目標数値 の達成度	単年度	-	557%	155%	118%	300%	
			最終年度	-	167%	93%	94%	300%	
R元取組状況		妊娠9ヶ月の全妊婦に対して子育て世代包括支援センター担当の保健師を中心に電話・訪問によるフォローを実施し、妊娠期から産後の子育て期の切れ目ない支援が実現できるよう取り組みました。また、産後の育児支援として産前産後サポート事業を6月より加西病院に委託し、生後2カ月児～1歳までの児と母親を対象に「おやこで体操」を毎月開催しました。 産後ケアについては、必要な方が申請され、有効に活用され産後の心身のケアを受け、安心して子育てできるよう支援ができました。							
課題と今後(R2)の取組		産後ケアについては、申請された方が必要な支援を受けられ利用実績が大きく利用率が増加しています。しかし、産後ケア実施機関への移動や、居宅を離れることが困難な状況の方もおられるため、さらに利用しやすいアウトリーチ型を導入し、協力機関を拡充します。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	300%	300%	S：目標を大きく上回って達成		③見直し		
備考									
産後ケア事業の委託先の拡充と、訪問によるアウトリーチによる支援を導入し支援の拡大を図る。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
平成28年度より産後ケア事業、産後の支援が得られにくい方へ日帰り型や、宿泊型での支援をにより、育児不安の軽減を図る支援支援体制を整備することができました。また、平成29年度より乳房ケア事業を導入し、産後の育児上の相談機能の充実を図ることができました。令和元元年度より、産前サポート事業を委託実施し、育児中の母子の交流の促進と相談支援の充実を図る体制整備を行いました。					産後の支援を十分に得られない産婦への支援である産後ケアについて、実施機関へ出向くこと自体が負担になる方もおられ、訪問型を新設し事業実施していく必要があります。必要な支援を受けられる体制は必要ですが、産後ケア利用率が向上することは、育児支援の得られない産婦の増加を意味するため、目標設定の見直しが必要です。また、複雑多岐な問題を抱える妊産婦が増加傾向にあるため、関係機関との調整を図り、育児負担の軽減、相談体制の充実を図ることが必要です。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	12 ★ひとり親家庭の支援を行います。								
主管部課	部名	健康福祉部				課名	地域福祉課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・現行事業(児童扶養手当、母子父子寡婦福祉資金貸付、母子家庭等自立支援給付金事業、ファミリーサポートクラブ利用料助成事業)の実施 ・ニーズ調査を踏まえ、支援制度整備					・現行事業(児童扶養手当、母子父子寡婦福祉資金貸付、母子家庭等自立支援給付金事業、ファミリーサポートクラブ利用料助成事業)の実施 ・ニーズ調査を踏まえ、支援制度整備		
	経費(千円)	2,760					6,490		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★ひとり親家庭の支援制度のメニューの充実【1-5】		目標		-	-	-	-	1	1
		実績	-	-	-	-	-	0	
(指標及びR2目標値の設定理由) ひとり親家庭の支援施策整備のための追加メニュー数		目標数値の達成度	単年度	-	-	-	-	0%	
			最終年度	-	-	-	-	0%	
R元取組状況		・現行事業を実施しました。 ・消費税引き上げに伴う未婚の1人親世帯への臨時特別給付金を支給しました。							
課題と今後(R2)の取組		・母子父子自立支援員が年度途中で退職。相談員が欠員しており、十分な相談体制が取れていません。 ・ニーズ調査では金銭的な補助に対する要望が多い為、関係制度を紹介し、利用を勧めています。 ・「ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業」等の実施に向けて調整を進めます。							
自己評価		進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
		②実行中	B：予定より遅延	0%	0%	C：目標を下回っている		②継続	
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
児童扶養手当の支給、母子父子寡婦福祉資金貸付、母子家庭等自立支援給付金事業等の事業の実施やひとり親世帯の相談、関係諸制度の紹介等を通じて、ひとり親世帯の支援を行いました。					ひとり親世帯のニーズ調査では金銭的な補助への要望が高い為、「ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業」等の支援策を整備します。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	13 ★子育て応援企業の支援を行います。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・セミナーの実施				・セミナーの実施			
	経費(千円)	50				50			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★子育て応援企業セミナー年間参加者数【1-8】		目標		-	-	30	30	30	30
		実績	-	-	-	81	28	30	
(指標及びR2目標値の設定理由) 子育て応援に取り組む企業の支援数で、年間30名の参加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	-	-	270%	93%	100%	
			最終年度	-	-	270%	93%	100%	
R元取組状況	働き方改革セミナーとして、有給や産休、育休の取得促進に関するセミナーを実施した。								
課題と今後(R2)の取組	働き方改革制度の周知とともに、くるみん認定制度、えるぼし認定制度等の子育て世帯にやさしいサービスの実施や、子育てしやすい職場の環境整備に取り組む企業を支援するための制度の説明等を、関係機関と連携し実施します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成		②継続		
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
数値的には達成できているが、子育てしやすい職場の環境整備に取り組む企業を支援として、くるみん認定制度、えるぼし認定制度等の認定制度がまだ浸透していない。					継続的な普及啓発活動が必要。 国による推進が大きくなるとなることが大きく、一都市では解決難度が高い。 自治体や公的機関が先導して、働き方改革を進めることが、市内企業においても意識の啓発となり効果的と考える。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	14 ★「赤ちゃんの駅」の指定を行い、子育て支援を行います。								
主管部課	部名	健康福祉部				課名	地域福祉課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・公共施設の「赤ちゃんの駅」指定。 ・民間施設への協力依頼及び指定。					・公共施設の「赤ちゃんの駅」指定 ・民間施設への協力依頼及び指定		
	経費(千円)	25					25		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★「赤ちゃんの駅」設置数【1-9】		目標		-	5	7	10	13	15
		実績	-	-	0	0	10	11	
(指標及びR2目標値の設定理由) 子育て家庭の外出支援の充実を図るもの。		目標数値 の達成度	単年度	-	0%	0%	100%	85%	
			最終年度	-	0%	0%	67%	73%	
R元取組状況	市内の公共施設、民間施設の11施設を「赤ちゃんの駅」として指定しました。								
課題と 今後(R2)の取組	公共施設にはおむつ交換台の設置等と呼び掛け、民間施設には協力を依頼します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	85%	73%	C：目標を下回っている			②継続	
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
市内の公共施設、民間施設の11施設を「赤ちゃんの駅」として指定しました。					市内の民間施設へ協力依頼と指定を推進します。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	15 ★遊びながら学べる屋内遊具施設を誘致し、雨の日でも遊べる環境を整備します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・誘致協議					—		
	経費(千円)	0					—		
指標名		区分	目標(下段の() 書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★屋内遊具施設の誘致【1-10】		目標		—	—	—	—	1	1
		実績	—	—	—	—	—	0	
(指標及びR2目標値の設定理由) 屋内遊具施設の誘致数が指標に適している。		目標数値 の達成度	単年度	—	—	—	—	0%	
			最終年度	—	—	—	—	0%	
R元取組状況	屋内遊具施設を設置している自治体への視察や、担当課を集めての検討会議を行いました。								
課題と 今後(R2)の取組	誘致は採算が合わず難しいが、市が設置する方向で、R2年度に実施設計の予算を計上しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	0%	0%	D：目標を大きく下回っている	②継続			
備考									
・事業を再検討します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
未来型児童館の建設とともに課題となっていたが、市内商業施設内の空き店舗に屋内遊具施設を設置する道筋は示すことができました。					こども広場事業として、令和2年度に実施設計を行い、令和3年度に施工工事、令和4年度オープンに向けて準備を進めています。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	16 ★空き家を活用した子育て支援を行います。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	こども未来課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・ニーズや受け皿に関する情報収集					・ニーズや受け皿に関する情報収集		
	経費(千円)	0					0		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★空き家を活用した子育て支援施設数【1-11】		目標		-	-	-	-	1	事業終了
		実績	-	-	-	-	-	-	
(指標及びR2目標値の設定理由) 必要が生じた時点で目標年度を設定する		目標数値 の達成度	単年度	-	-	-	-	-	
			最終年度	-	-	-	-	-	
R元取組状況	特になし								
課題と 今後(R2)の取組	空き家に限定せず、子育て施設の活用を図るため、保育事業者を広く公募を行う予定です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	①未着手	-	-	-	D：目標を大きく下回っている			④廃止	
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
特になし					次期計画より、民間施設を活用した子育て支援施設の整備を施策として、小規模保育事業や一時預かり施設として民間施設等を活用し、子育て支援の場として整備する。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	17 ★子育て情報の発信に努めます。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	こども未来課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・子育てNAVIによる子育て情報の発信					・イーナカサイによる子育て情報の発信		
	経費(千円)	713					—		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★「子育てNAVI」1日平均閲覧数【1-14】		目標		60	60	100	150	300	300
		実績	—	50	273	1,397	466	1,062	
(指標及びR2目標値の設定理由) 登録数により5倍増を設定		目標数値 の達成度	単年度	83%	455%	1397%	311%	354%	
			最終年度	17%	91%	466%	155%	354%	
R元取組状況	令和元年11月に「子育てNAVI」という子育て情報のメール配信を廃止し、スマートフォンを活用した加西市の総合的な情報発信サイト「イーナカサイ」にシステムを切り替えました。								
課題と今後(R2)の取組	特になし								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	354%	354%	A：目標を上回って達成		②継続		
備考									
R2年からの数値実績は、スマートフォン用加西市情報アプリ「イーナカサイ」における子育て情報の通知設定者数									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
「イーナカサイ」は、電子メールの配信ではなく、メールを起動しなくても、スマートフォンの画面にメッセージが自動表示できるシステムで、利用者の使い勝手もよく、登録者が当初の見込みよりも大きく伸びました。					加西市総合支援アプリの「子育て」カテゴリへの移行に伴い、指標を変更します。 今後も子育て世代のニーズにマッチした情報提供の充実に努めます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	18 ★多子世帯及びひとり親家庭の下水道基本料金を減免し、子育ての経済的負担の軽減を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	人口増政策課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・就学前の子どもがいるひとり親家庭及び第3子以降が小学生以下の家庭の下水道基本料金減免					・就学前の子どもがいるひとり親家庭及び第3子以降が小学生以下の家庭の下水道基本料金減免		
	経費(千円)	10,993					13,000		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★下水道基本料金の減免年間世帯数【1-15】		目標		560	590	620	650	700	700
		実績	－	630	624	615	612	634	
(指標及びR2目標値の設定理由) 様々な子育て支援策を講じることにより多子世帯数を年々30名程度増加させる。		目標数値の達成度	単年度	113%	106%	99%	94%	91%	
			最終年度	90%	89%	88%	87%	91%	
R元取組状況	就学前の子どもがいるひとり親家庭及び第3子以降が小学生以下の家庭の下水道基本料金を減免しました。								
課題と今後(R2)の取組	加西市における多子世帯の状況を踏まえ、第3子以降が適当なのか、第2子以降が適当なのか等を考慮しながら、制度の見直しや減免の範囲等について検討する必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	91%	91%	B：目標を達成		②継続		
備考									
減免対象者の減少によりH31年度の経費を減額しました。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
就学前の子どもがいるひとり親家庭及び第3子以降が小学生以下の家庭の下水道基本料金を減免しました。					対象者数については平成27年度からほぼ横ばいとなっていますが、加西市が実施している子育て支援策の一つとして重要な施策のため、継続して取り組む必要があります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	19 ★乳幼児のいる世帯等に市指定ごみ袋を配布し、経済的負担の軽減を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	人口増政策課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・乳幼児保護者世帯（3歳未満の乳幼児と生計を一にする世帯）や生活保護世帯等に対する指定ごみ袋支給					・乳幼児保護者世帯（3歳未満の乳幼児と生計を一にする世帯）や生活保護世帯等に対する指定ごみ袋支給		
	経費（千円）	1,287					1,300		
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★ごみ袋年間支給枚数（万枚）【1-16】		目標		12	12.5	13	13.5	15	15
		実績	－	10	11.2	8.9	9.6	10.2	
(指標及びR2目標値の設定理由) 様々な子育て支援施策等の実施により乳幼児保護者世帯を年々増加させ、支給枚数を2割増加させる。		目標数値の達成度	単年度	83%	90%	68%	71%	68%	
			最終年度	67%	75%	59%	64%	68%	
R元取組状況	乳幼児保護者世帯（3歳未満の乳幼児と生計を一にする世帯）や障がい者（児）等に対し指定ごみ袋の支給を行いました。								
課題と今後(R2)の取組	ごみ処理の広域化等によるごみ袋の販売金額、出生者数の状況や障がい者（児）等の状況を踏まえながら制度の見直しを行う必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	68%	68%	B：目標を達成		②継続		
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
令和元年度に制度の見直しを行い、令和2年度からは生活困窮者対策としての側面があった児童扶養手当受給世帯に対する指定ごみ袋の支給を廃止しました。					現在の市指定ごみ袋の配布対象者は、乳幼児保護者世帯と障がい者（児）、要介護（支援）認定者のうち在宅で紙おむつ等を使用している者のいずれかの要件を満たす必要がありますが、今後の利用者数やごみ袋の販売金額の状況を踏まえながら、制度の見直しを行います。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	22 自然と共生する里地里山づくり								
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 住民参加による地域の里山整備を支援します。								
主管部課	部名	地域振興部				課名	農政課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・里山の雑木等の皆伐、間伐などによる維持管理					・里山の雑木等の皆伐、間伐などによる維持管理		
	経費(千円)	1,000					1,500		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
里山整備箇所数(毎年)		目標		10	10	10	10	10	10
		実績	0	8	9	10	9	10	
(指標及びR2目標値の設定理由) 予算の範囲内で小学校区に1つ程度の整備を想定		目標数値 の達成度	単年度	80%	90%	100%	90%	100%	
			最終年度	80%	90%	100%	90%	100%	
R元取組状況	集落共有林等の山林を整備することにより美しい里山の再生を図るため、10団体に対し補助金を交付しました。								
課題と 今後(R2)の取組	集落の住環境と里山との共生を図り、美しい里山を整備していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成			②継続	
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
意欲ある団体により、里山整備ができました。					里山整備と里山を活用した地域づくりを推進し、農山村の活性化と山の防災を図る必要があります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	22 自然と共生する里地里山づくり								
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 企業や都市住民を募り、里山ふれあいの森、企業の森として都市部との相互交流を進めます。								
主管部課	部名	地域振興部				課名	農政課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・企業による森づくり活動					・企業による森づくり活動		
	経費(千円)	0					0		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
企業の森面積(ha)		目標		4	8	8	8	8	8
		実績	0	0	8	8	8	8	
(指標及びR2目標値の設定理由) 市内の活動フィールド候補地面積		目標数値 の達成度	単年度	0%	100%	100%	100%	100%	
			最終年度	0%	100%	100%	100%	100%	
R元取組状況	協賛企業誘致活動を行いました、誘致できませんでした。								
課題と 今後(R2)の取組	都市住民との交流を促進し、里山整備を行っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成			③見直し	
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
企業誘致を行ってきたが、取り組み企業が限られており、同一市での複数回活動が困難でした。					既存事業の拡充等により、里山活用により都市間交流を図る仕組みの構築が必要です。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	22 自然と共生する里地里山づくり								
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 市内の自然環境に生息する多様な生物を調査、把握し、保全、回復と利活用を推進します。								
主管部課	部名	生活環境部				課名	環境課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・動植物生態調査実施 ・普及啓発事業(人と自然の博物館へのバスツアー、パンフレット作成)					・動植物生態調査実施 ・普及啓発事業(人と自然の博物館へのバスツアー)		
	経費(千円)	452					1,328		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
兵庫県立人と自然の博物館と連携した普及啓発事業の参加人数(親子向けに夏休み等に実施している環境を学ぶバスツアー)		目標		108(2回)	54(1回)	54(1回)	54(1回)	54(1回)	54(1回)
		実績	－	108(2回)	54(1回)	54(1回)	54(1回)	54(1回)	
(指標及びR2目標値の設定理由) ・自然環境の保全の関心を喚起した人数としました。目標値は参加可能人数としています(マイクロバス2台分)。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	100%	
			最終年度	200%	100%	100%	100%	100%	
R元取組状況	【動植物生態調査関係】希少植物であるカタクリの生育が知られる周遍寺野生生物保護地区の植生調査を行い、その植生の保全策を検討した。 【兵庫県立人と自然の博物館関係】毎年夏休みに実施しているバスツアーは317名の応募があり抽選により参加者は54名となった。								
課題と今後(R2)の取組	【動植物生態調査関係】本市は、あびき湿原・周遍寺地区以外にも多くの希少な動植物が存在します。今後、計画的に市内の動植物生態調査を実施します。 【兵庫県立人と自然の博物館関係】毎年参加者以上の応募がある人気ツアーです。自然環境等について幅広い世代に関心をもってもらえるよう今後も継続的に事業を実施します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成		②継続		
備考									
環境PRパンフレッド作成は在庫があるため、削減しました。しかし、R2年度より市内の希少動植物の実地調査に取組むため、増となっています。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
環境ツアーは毎年好評であり事業効果は高かったと思われます。また、市内の動植物生態調査は、これまで網引湿原を中心に実施してきたが、R元年度には周遍寺周辺地区(野生生物保護地区に指定されている)の調査を実施することができました。					R元年度調査した周遍寺周辺地区の希少生物を具体的にどのように保護するか検討が必要です。また、本市には、あびき湿原・周遍寺地区以外にも多くの希少な動植物が存在します。今後、計画的に市内の動植物生態調査を実施することが必要です。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	22 自然と共生する里地里山づくり								
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 老朽化による決壊等、危険度の高いため池を順次改修します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・県営ため池改修 4 池着工				・県営ため池改修 4 池着工			
	経費(千円)	15,977				27,532			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
ため池改修箇所数(件)		目標		1	4	8	11	13	15
		実績	－	1	2	8	11	13	
(指標及びR2目標値の設定理由) 危険ため池が21箇所あり、H32までに半数以上を改修する。		目標数値の達成度	単年度	100%	50%	100%	100%	100%	
			最終年度	7%	13%	53%	73%	87%	
R元取組状況	事業実施(三口町、坂本町、田谷町、西笠原町、下若井町、東高室)9池、調査設計(東高室、国正)4池を実施しています。								
課題と今後(R2)の取組	防災の観点から引き続きため池改修を行っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	87%	B: 目標を達成		②継続		
備考									
県営ため池事業費の経費について、県計画に基づき変更									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
安全安心な住環境整備のため計画的に実施できています。					ため池の老朽化が進行し、改修箇所数が増加しているため、事業費の確保と人員増強の必要性が生じています。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	22 自然と共生する里地里山づくり								
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 有害鳥獣対策による農作物の被害を防ぐために関係機関との連携を図ります。								
主管部課	部名	地域振興部				課名	農政課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・獣害防護柵の設置 ・有害鳥獣駆除委託事業の強化 ・シカ緊急捕獲対策事業					・獣害防護柵の設置 ・有害鳥獣駆除委託事業の強化 ・シカ緊急捕獲対策事業		
	経費(千円)	35,000					35,000		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
有害鳥獣年間被害額(千円) 【減少指標】		目標		25,000	24,000	23,000	22,000	21,000	20,000
		実績	27,284	18,963	17,819	13,587	17,561	11,841	
(指標及びR2目標値の設定理由) 農業被害額を5年間で2割削減を目指す。		目標数値 の達成度	単年度	124%	126%	141%	120%	144%	
			最終年度	105%	111%	132%	112%	141%	
R元取組状況	金網柵を新規に9地区6,124m設置。 有害鳥獣駆除実績 シカ56頭、イノシシ150頭。 シカ緊急捕獲事業実績 シカ 218頭。								
課題と 今後(R2)の取組	新たに被害が発生している南部地域を中心に、金網柵を設置するとともに、有害鳥獣の直接駆除により個体数管理を適切に行い被害額の軽減に努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	144%	141%	S：目標を大きく上回って達成		②継続		
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
加西市の南部地域を中心に、金網柵を新規に設置するとともに、兵庫県猟友会加西支部の協力のもと、シカ個体群管理事業、有害鳥獣駆除専任班委託業務などによりシカ、イノシシの駆除活動を行い被害軽減に努めた。					新たに被害が発生している南部地域を中心に、金網柵を新規設置するとともに、既に設置済みの金網柵のうち耐用年数が経過し損傷があるものについては、適時更新を行う。 また、兵庫県猟友会加西支部に有害鳥獣駆除を委託し、個体数管理を適切に行い被害額の軽減に努める。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	22 自然と共生する里地里山づくり								
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 耕作放棄地の解消と農地の有効利用を進めます。								
主管部課	部名	地域振興部				課名	農政課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・耕作放棄地調査の実施 ・農地中間管理事業 ・農業委員会耕作放棄地解消活動					・耕作放棄地調査の実施 ・農地中間管理事業 ・農業委員会耕作放棄地解消活動		
	経費(千円)	0					0		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
耕作放棄地面積(ha) 【減少指標】		目標		10	10	9	9	8	8
		実績	16	11	11	7	8	12	
(指標及びR2目標値の設定理由) 農地パトロールの結果と営農組合組織率から設定。		目標数値 の達成度	単年度	90%	90%	122%	111%	50%	
			最終年度	63%	63%	113%	100%	50%	
R元取組状況	放棄地の発生を未然に防ぐため、集落営農組織、認定農業者等への農地の集積を図りました。また、多面的機能支払交付金を活用し、各地域において農地維持活動に努めました。								
課題と今後(R2)の取組	果樹参入希望者の増に伴う耕作放棄樹園地の再整備を検討する必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	50%	50%	C：目標を下回っている			②継続	
備考									
農地利用円滑化団体事業から農地中間管理事業へ移行となったものです。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
集落営農組織化、新規就農者の参入を進め、認定農業者等への農地の集積を図りましたが、耕作放棄地は解消できていません。					人・農地プランの作成により、耕作放棄地の解消を目指します。引き続き、集落営農組織、認定農業者等担い手への集積を図ります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	23 加西の風土を活かした景観づくり								
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 市内の観光資源をガイドブック化して、周知を強化します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・加西グルメガイドの作成 ・定住自立圏ガイドブックの作成等				・古い観光パンフレットの情報更新 ・加西のお土産のパンフレット作成			
	経費(千円)	1,533				1,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
観光関連パンフレット、ガイドブック作成数		目標		5	6	7	8	9	10
		実績	－	5	6	7	15	15	
(指標及びR2目標値の設定理由) 毎年一種類は新しく掘り起こしたガイドブックを作成することを目標とする。		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	100%	188%	167%	
			最終年度	50%	60%	70%	150%	150%	
R元取組状況	観光ガイドブックを刷新し、「カサブランカ」を発行しました。 加古川市、加東市、小野市とともに「播磨の国宝巡りパンフレット」を発行、バスツアーとスタンプラリーを実施しました。								
課題と 今後(R2)の取組	喝采みやげのパフレットの情報を更新します。 加西西国33所のパンフレットを更新します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	167%	150%	A：目標を上回って達成		②継続		
備考									
R2取組内容変更。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
観光ガイドブックを刷新し、発行しました。 近隣3市1町で構成する定住自立圏の活動による広域の観光ガイドを発行しました。 サイクリングマップを作成しました。					加西市内での消費につなげる観光誘導ができるようなパンフレットを作成します。 加西市の観光の主流となる体験型の観光パンフレットを作成します。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	23 加西の風土を活かした景観づくり								
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 ふるさと加西の魅力再発見事業を展開します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・テーマを決めた年3回フォトコンテストの開催 ・カレンダーの作成 ・こども狂言塾の支援 ・播磨国風土記探訪講座				・テーマを決めた年3回フォトコンテストの開催 ・カレンダーの作成 ・こども狂言塾の支援 ・播磨国風土記講座			
	経費(千円)	5,426				6,100			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
フォトコンテストへの出品数		目標		190	200	210	220	230	240
		実績	－	190	173	104	459	1,322	
(指標及びR2目標値の設定理由) 加西市の良さを発見してもらうフォトコンテストを行い、出品数の3割増を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	87%	50%	209%	575%	
			最終年度	79%	72%	43%	191%	551%	
R元取組状況	5月4日に加西能を開催。こども狂言塾が新作狂言「根日女」を演じました。 ひょうご民俗芸能祭、志染能など市外の舞台に出演しました。 Instagram部門が、大幅に投稿数が伸びました。(1,203件) 各シーズンの入賞作品を掲載した「ふるさと加西フォトカレンダー」を制作、1部500円で販売しました。								
課題と今後(R2)の取組	加西市こども狂言塾生募集を市内外小学校に行い、継続していきます。 パンフレット、ホームページに掲載するためにもプリント部門の応募数を増やします。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	575%	551%	A：目標を上回って達成		②継続		
備考									
R2取組内容変更。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
風土記1300年祭以後、加西能を毎年開催し、好評を得ています。 加西市こども狂言塾生は、野村萬斎さん等著名人から指導を受け、いい刺激になっています。 フォトコンテスト入賞作品を活かし、加西の魅力を発信し、イメージ向上につながっています。また、手軽に参加できるようInstagram部門を新たに設けました。					塾生を継続して確保していきます。 フォトコンテストのプリント部門の応募作品を増やします。 風土記を活かした観光まちづくりをすすめます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	23 加西の風土を活かした景観づくり								
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 広告物の表示については、景観との調和に努めます。								
主管部課	部名	都市整備部				課名	都市計画課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・屋外広告物の新規申請時及び更新手続き時の屋外広告物条例に基づく指導					・屋外広告物の新規申請時及び更新手続き時の屋外広告物条例に基づく指導		
	経費(千円)	5,156					5,516		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
屋外広告物手続き件数		目標		40	100	60	120	80	140
		実績	95	55	97	61	104	57	
(指標及びR2目標値の設定理由) 手続き件数を増加することで広告物と景観との調和を図ることを目標に設定		目標数値の達成度	単年度	138%	97%	102%	87%	71%	
			最終年度	39%	69%	44%	74%	41%	
R元取組状況		・屋外広告物の違反広告物パトロールを実施し、違反広告物に対し是正指導を行った。 ・屋外広告物の新規申請及び更新申請を遅滞なく処理しました。							
課題と今後(R2)の取組		・建築物の許可及び確認申請を利用し、適切な屋外広告物の新規申請の指導に努めます。 ・違反広告物の是正指導に努めます。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	71%	41%	C：目標を下回っている		②継続		
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
・屋外広告物の違反広告物パトロールを実施し、違反広告物に対し是正指導を行いました。 ・屋外広告物の新規申請及び更新申請を遅滞なく処理しました。					・建築物の許可及び確認申請を利用し、適切な屋外広告物の新規申請の指導に努めます。 ・違反広告物の是正指導に努めます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	23 加西の風土を活かした景観づくり								
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 開発調整条例に基づく景観に配慮した適正な土地利用を推進します。								
主管部課	部名	都市整備部				課名	都市計画課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・開発調整条例に基づく実態に即した適切な指導・助言					・開発調整条例に基づく実態に即した適切な指導・助言		
	経費(千円)	0					0		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
開発調整条例に基づく事前協議件数		目標		30	30	30	30	30	30
		実績	—	35	38	35	25	19	
(指標及びR2目標値の設定理由)		目標数値 の達成度	単年度	117%	127%	117%	83%	63%	
			最終年度	117%	127%	117%	83%	63%	
R元取組状況		・開発事業の事前調整を図ることにより、周辺住民とのトラブル防止に努めました。 ・関係部署への手続き照合など、各種法令上の手続きと連携を迅速に行いました。							
課題と今後(R2)の取組		・引き続き、開発事業者との事前協議と適切な指導に努めます。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	63%	63%	C：目標を下回っている			②継続	
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
・開発事業の事前調整を図ることにより、周辺住民とのトラブル防止に努めました。 ・関係部署への手続き照合など、各種法令上の手続きと連携を迅速に行いました。					・引き続き、開発事業者との事前協議と適切な指導に努めます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	23 加西の風土を活かした景観づくり								
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 花咲くまちづくりを推進します。								
主管部課	部名	都市整備部				課名	都市計画課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・花づくりボランティア(フラワーセンター)にて花苗5万ポット、市老連(播磨農高)にて花苗6万ポットを育成					・花づくりボランティア(フラワーセンター)にて花苗5万ポット、市老連(播磨農高)にて花苗6万ポットを育成		
	経費(千円)	2,200					2,400		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
住民ボランティアによる植栽ポット数(万ポット)		目標		11	11	11	11	11	11
		実績	11	11	11	11	11	11	
(指標及びR2目標値の設定理由) 配布し花を植えられる施設数より設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	100%	
			最終年度	100%	100%	100%	100%	100%	
R元取組状況	・フラワーセンター・播磨農高と協働し、花苗育苗・公共施設や老人会花壇に植栽を行いました。加西市の美しい環境を彩る「花咲くまちづくり活動」の推進に努めました。 ・花づくりボランティアや老人会会員が花苗の育苗・植栽作業に取り組んで頂き、生きがいや交流の場を創出することができました。								
課題と今後(R2)の取組	・花苗・土などの資材単価が高騰しているが、指標目標とする「住民ボランティアによる植栽数11万ポット」の配布を達成するよう努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成		②継続		
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
・フラワーセンター・播磨農高と協働し、花苗育苗・公共施設や老人会花壇に植栽を行いました。加西市の美しい環境を彩る「花咲くまちづくり活動」の推進に努めました。 ・花づくりボランティアや老人会会員が花苗の育苗・植栽作業に取り組んで頂き、生きがいや交流の場を創出することができました。					・花苗・土などの資材単価が高騰しているが、指標目標とする「住民ボランティアによる植栽数11万ポット」の配布を達成するよう努めます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	24 省エネ・蓄エネ・創エネの推進								
到達目標	温室効果ガスの削減等、環境負荷を軽減する取り組みと、加西で生産した再生可能エネルギーを加西で蓄え、加西で消費する「エネルギーの地産地消」が進められるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 公共施設の新築、改築の計画、設計等に省エネルギー基準やガイドラインを設け、適用します。								
主管部課	部名	生活環境部				課名	環境課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・デマンド監視システムの運用 ・環境マネジメントシステムの運用と自治体間相互環境監査の実施					・デマンド監視システムの運用 ・環境マネジメントシステムの運用と自治体間相互環境監査の実施		
	経費(千円)	0					0		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市庁舎の電気使用量(kwh) 【減少指標】		目標		906,925	897,856	888,877	879,988	871,189	862,477
		実績	953,664	900,100	852,000	825,105	856,998	857,153	
(指標及びR2目標値の設定理由) ・デマンド監視システムを運用している市庁舎の電気使用量を指標としました。目標値は省エネ法に基づき年1%削減となる数値としています。		目標数値の達成度	単年度	101%	105%	107%	103%	102%	
			最終年度	96%	101%	104%	101%	101%	
R元取組状況	デマンド監視システムを適切に運用し、夏場、冬場の空調の際に、一度に全空調稼働させずに、順次移動させて、電力負荷が上がらないように努めました。特に議会会期中は、空調稼働が集中することから市庁舎の稼働を控えるなどの対策を講じました。また、ヒートポンプチャラーの温度を夏場は高めに、冬場は低めに設定することで、加熱・冷却に要する消費電力量の削減に努めました。								
課題と今後(R2)の取組	現行の取組みを継続していきます。ただし、気候によって電気使用量が増加することもあります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	102%	101%	A：目標を上回って達成		②継続		
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
市庁舎においてデマンド監視システムを活用したことにより、一定レベル電気使用量を削減することができました。				公共施設からのCO2排出量を抑制するため、これまで以上に省エネ推進策(電気使用量のデマンド管理以外の運用改善やCO2排出抑制に寄与する設備導入等)を実施する必要があります。また、公共施設での再生エネルギーの創出やその自家消費について検討する必要もあります。					

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	24 省エネ・蓄エネ・創エネの推進								
到達目標	温室効果ガスの削減等、環境負荷を軽減する取り組みと、加西で生産した再生可能エネルギーを加西で蓄え、加西で消費する「エネルギーの地産地消」が進められるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 民間による環境技術、新製品研究開発及び環境産業を行うための施設整備への助成、融資を行います。								
主管部課	部名	都市整備部				課名	都市計画課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	—					—		
	経費(千円)	—					—		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
グリーンハウス建築促進補助金受付件数		目標		10	28	28	28	28	28
		実績	—	10	25	27	27	27	
(指標及びR2目標値の設定理由) グリーンエナジーシティ構想に基づいた住宅団地における建築の見込み件数にて設定		目標数値 の達成度	単年度	100%	89%	96%	96%	96%	
			最終年度	36%	89%	96%	96%	96%	
R元取組状況	なし								
課題と今後(R2)の取組	なし								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	③完了	B：予定より遅延	96%	96%	B：目標を達成	①完了			
備考									
※「ベルデしもさと」整備に伴うため、H29で事業完了。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
・平成29年度完了					・平成29年度完了 ・取り組み「廃止」とします。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	24 省エネ・蓄エネ・創エネの推進								
到達目標	温室効果ガスの削減等、環境負荷を軽減する取り組みと、加西で生産した再生可能エネルギーを加西で蓄え、加西で消費する「エネルギーの地産地消」が進められるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 住宅用太陽光発電システム、電気自動車、蓄電池等の導入を促進支援します。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・加西市住宅用蓄電池設置補助金 ・加西市電気自動車・PHEV等導入補助金					・加西市住宅用蓄電池設置補助金 ・加西市電気自動車・PHEV等導入補助金		
	経費(千円)	1,953					2,000		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
加西市内の太陽光発電導入容量(kw)		目標		37,285	55,000	60,000	65,000	70,000	75,000
		実績	－	52,758	63,099	64,317	97,858	109,732	
(指標及びR2目標値の設定理由) ・創エネの指標として導入が続いている太陽光発電の導入容量としました。目標値は、経済産業省発表の導入予定量の半分程度を見込んだ数値としました。		目標数値の達成度	単年度	141%	115%	107%	151%	157%	
			最終年度	70%	84%	86%	130%	146%	
R元取組状況	実績は電気自動車に10件(1,000千円)、蓄電池に17件(953千円)の補助金を交付しました。また、大規模太陽光発電施設の設置について、地域の住環境に配慮した創エネの導入になるように、事業者に指導、助言を行いました。								
課題と今後(R2)の取組	引続き住宅用蓄電池設置補助金と電気自動車・PHEV等導入補助金を実施し、畜エネ・節エネをより一層推進します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	157%	146%	S：目標を大きく上回って達成		②継続		
備考									
引続き住宅用蓄電池設置補助金と電気自動車・PHEV等導入補助金を実施します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
民間事業者(産業用)及び個人(住宅用)がフィット制度を積極的に活用したことにより、市内での太陽光発電の導入容量は飛躍的に増加しました。					本市は、地域特性上太陽光以外の再生エネルギーの推進が困難な地域であるため、今後も太陽光発電の導入推進を図ります。なお、卒フィットに対応する施策(蓄電池の導入や自家消費の活用等)も併せて検討する予定です。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	25 水環境のまちづくり								
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 上下水道の施設や設備について費用の平準化を図り、計画的に整備を行います。								
主管部課	部名	生活環境部				課名	上下水道課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・配水管の耐震化 L=800m					・配水管の耐震化 L=250m		
	経費(千円)	39,048					50,000		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
水道管路耐震化率(%)		目標		82	82.6	83.2	83.8	84.4	85
		実績	78	82	82.4	82.6	82.7	82.7	
(指標及びR2目標値の設定理由) 上水道施設アセットマネジメントによる		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	99%	99%	98%	
			最終年度	96%	97%	97%	97%	97%	
R元取組状況	新設配水管 798.5mについて、耐震管で施工した。								
課題と 今後(R2)の取組	R2年度の水道管路整備の予定はなし。 (新しい配水システム整備のため)								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	98%	97%	C：目標を下回っている			②継続	
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
水道管路耐震化率 78%から82.7%へ進捗しました。 (目標は84.4%)					H28年度から新しい配水システムのための事業を実施し、水道管路の整備、更新費用を抑制したため、耐震化率の目標を下回っている。地震時でも配水を可能とするためには、水道管路の耐震化率の向上が必要となります。 今後、上水道施設アセットマネジメントの検証を行い、次期計画は水道管路の耐震化率に加え、水道施設の耐震化率も含めた計画とする予定です。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	25 水環境のまちづくり								
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 下水道の接続促進や合併浄化槽の普及を促進し、水洗化率を高めます。								
主管部課	部名	生活環境部				課名	上下水道管理課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・職員による戸別訪問の実施 ・水洗化促進補助金の交付					・水洗化促進補助金の交付		
	経費(千円)	4,900					10,000		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
水洗化率(%)		目標		87.5	88.4	89.3	90.2	91.1	92
		実績	76.1	87.9	89.2	90.5	91.7	92.1	
(指標及びR2目標値の設定理由) 過去5年間の水洗化率の伸び率を勘案して設定		目標数値 の達成度	単年度	100%	101%	101%	102%	101%	
			最終年度	96%	97%	98%	100%	100%	
R元取組状況	前年度に引き続き、水洗化促進補助金交付制度を活用し、未水洗化家屋のうち31戸が新たに水洗化を実施しました。								
課題と 今後(R2)の取組	水洗化率は目標より早いペースで順調に伸びています。今後も補助金制度を継続実施し、水洗化の促進に努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	101%	100%	A：目標を上回って達成			②継続	
備考									
申請件数の実績により、変更									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
水洗化促進補助制度により未水洗化世帯の水洗化意識を向上させることで、水洗化率は目標より早いペースで順調に伸びています。					現状の未水洗化世帯には、高齢者のみの世帯や空き家等、下水道接続工事の負担が大きく、水洗化補助金を活用しても水洗化が困難な状況にあります。 今後は、当該世帯に対する水洗化推進のあり方についても検討する必要があります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	25 水環境のまちづくり								
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 効率的な生活排水処理計画を策定し、計画的な施設の統廃合や改修を行います。								
主管部課	部名	生活環境部				課名	上下水道課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・公共下水道接続実施設計業務 ・公共下水道接続工事					・公共下水道接続実施設計業務 ・公共下水道接続工事		
	経費(千円)	130,254					315,000		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
統合施設数(x / 3)		目標		0	1	1	1	2	3
		実績	—	0	1	1	1	2	
(指標及びR2目標値の設定理由) 生活排水処理計画による		目標数値 の達成度	単年度	0%	100%	100%	100%	100%	
			最終年度	0%	33%	33%	33%	67%	
R元取組状況	在田南部地区1工区の工事発注、坂本地区1工区工事と2工区設計、南綱引地区の公共下水道統合工事を行いました。								
課題と 今後(R2)の取組	予定通り進んでいます。引き続き、令和2年度に1地区の公共下水道への施設統合を目指して、設計・工事を行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	A：予定通り進行	100%	67%	B：目標を達成		②継続		
備考									
在田南部地区の公共下水道接続工程の精査に伴う経費変更									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
H28-H30 芥田地区を加西北部地区へ統合しました。 H30-R01 南綱引地区を公共下水道へ統合しました。					加西市生活排水処理計画に基づき、坂本地区・在田南部地区、剣坂地区、福住地区を公共下水道へ統合する予定です。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	25 水環境のまちづくり								
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 企業努力による上下水道事業の効率化、安定化、適正化を進め、持続可能な経営を行います。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	上下水道管理課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・兵庫県企業庁への値下げ要望 ・市川町からの受水単価引き下げ交渉				・兵庫県企業庁への値下げ要望 ・市川町からの受水単価引き下げ交渉			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
給水原価(円/m) 【減少指標】		目標		208.9	208.4	207.9	207.4	206.9	206.5
		実績	－	208.9	204.8	198.4	198.9	199.7	
(指標及びR2目標値の設定理由) 有収水量あたりの給水にかかる費用の割合、H28年から大規模事業が始まるためH32目標値はH27の約1%減とする。		目標数値の達成度	単年度	100%	102%	105%	104%	103%	
			最終年度	99%	101%	104%	104%	103%	
R元取組状況	有収水量は、工場用の減少を営業用の増加で補い、配水管や配水池にかかる修繕費や委託料等、維持管理費用の削減に努めました。								
課題と今後(R2)の取組	責任水量は年度ごとに受水状況を見ながら協議することになっていることから、引き続き受水費の削減につながるよう交渉を継続します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	103%	103%	A：目標を上回って達成		②継続		
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
兵庫県企業庁への県水受水費の値下げ要望により、令和2年度より県水受水費の基本料金部分について約5%が減額され、将来にわたる受水費を抑制することができました。					受水費を抑制するため、引き続き兵庫県企業庁への値下げ要望に加え、市川町からの受水については、令和4年度に予定される栗田ポンプ場の供用開始を受け、受水量の減少・県水への切替について継続して交渉を行う必要がある。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	25 水環境のまちづくり								
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 公道の透水性舗装を推進します。								
主管部課	部名	都市整備部				課名	土木課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・西谷坂元線、鶉野飛行場線、豊倉日吉線					・西谷坂元線、鶉野飛行場線、豊倉日吉線		
	経費(千円)	117,509					172,000		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
透水性舗装の実施(m)		目標		229	1,000	1,700	2,500	3,200	4,000
		実績	—	229	823	823	911	1,015	
(指標及びR2目標値の設定理由) 事業実施計画に基づき、透水性舗装の計画整備延長を目標値に設定		目標数値の達成度	単年度	100%	82%	48%	36%	32%	
			最終年度	6%	21%	21%	23%	25%	
R元取組状況	歩道整備に伴い、透水性舗装整備に取り組みました。								
課題と今後(R2)の取組	計画的に透水性舗装整備に取り組んでまいります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	32%	25%	C：目標を下回っている			②継続	
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
歩道部に透水性舗装を施工することにより、雨天時の歩行者通行の安全性の向上に努めました。					今後も継続して、歩道部に透水性舗装を採用することにより歩行者の安全確保を図っていきます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	26 ゴミ減量と資源リサイクルの推進								
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 レジ袋の有料化や無料配布の中止、グリーンコンシューマー を推奨する事業者の割合を増やします。								
主管部課	部名	生活環境部				課名	環境課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・新規量販店への協力依頼 ・マイバッグ（エコバック）作成 ・チラシ等による啓発				・新規量販店への協力依頼 ・マイバッグ（エコバック）作成 ・チラシ等による啓発			
	経費（千円）	440				440			
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
レジ袋削減協力事業者数 (量販店のみ)		目標		9	9	9	9	9	10
		実績	9	9	9	9	10	11	
(指標及びR2目標値の設定理由) 新規量販店協力依頼は経営に影響を及ぼすため 10を設定		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	100%	111%	122%	
			最終年度	90%	90%	90%	100%	110%	
R元取組状況	平成30年度に作成された播磨風土記をデザインしたマイバック（エコバック）の在庫数を利用し、出生家族ならびに3歳未満の子供がいる家庭に転入時に無料配布しました。また、レジ袋の削減については、新規出店の小売りに協力依頼を行いました。								
課題と 今後(R2)の取組	新規出店の量販店への協力依頼をするほか、マイバック持参運動を推進します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	122%	110%	A：目標を上回って達成		②継続		
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
新規量販店へのレジ袋無料配布の中止要請により目標達成ができています。また、取組みについては、年間約300個程度のマイバック（エコバック）を無料配布することによりプラスチック製買物袋の排出の抑制にも繋がり、ごみの減量化の意識の向上にもなりました。					レジ袋有料化が令和2年7月から開始されることにより次期計画においては、当基本計画を廃止し、ごみの排出抑制への基本計画にシフトしていく必要があると考えられます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	26 ゴミ減量と資源リサイクルの推進								
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 ごみの分別（現23分類）、リサイクルを推進し、ゴミ処理の効率化、適正化を進めます。								
主管部課	部名	生活環境部				課名	環境課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額（補正含む）)		
	取組内容	・剪定枝リサイクル事業継続 ・古繊維リサイクル事業継続 ・小型家電収集委託業務継続 ・新規リサイクル事業の拡充					・剪定枝リサイクル事業継続 ・古繊維リサイクル事業継続 ・小型家電収集委託業務継続 ・新規リサイクル事業の拡充		
	経費（千円）	10,201					12,000		
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①住民1人1日あたりのごみ 排出量（g） 【減少指標】		目標		783	780	776	773	769	766
		実績	794	793	776	760	776	793	
（指標及びR2目標値の設定理由） 当初値より、ごみ排出量500tの減量を設定		目標数値 の達成度	単年度	99%	101%	102%	100%	97%	
			最終年度	96%	99%	101%	99%	96%	
②ゴミのリサイクル率（%）		目標		21	21	21	21	21	22
		実績	20	20	20	22	21	21	
（指標及びR2目標値の設定理由） ごみ搬出量を減量し、搬入リサイクル量を増加		目標数値 の達成度	単年度	95%	95%	105%	100%	100%	
			最終年度	91%	91%	100%	95%	95%	
R元取組状況	ペットボトル、トレイ、空き缶、ビン、小型家電等のターミナル回収に加え、グリーンセンターへの直接持込による剪定枝、紙類、布団類、古繊維、小型家電等を分別し、リサイクル事業を実施しました。また、資源物の集団回収補助事業を継続実施し、リサイクル率の向上に取り組みました。								
課題と 今後(R2)の取組	3 Rの啓発（リデュース・リユース・リサイクル）を推進し、また、家庭から排出される生ごみについて、水切り等の啓発を行いごみ減量化に努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
①	②実行中	B：予定より遅延	97%	96%	C：目標を下回っている		②継続		
②	②実行中	A：予定通り進行	100%	95%					
備考									
ごみの処理量 集団回収量 9月末の人口 住民1人あたり1日のごみ排出量（g） (11,264t + 1,369 t) ÷ 44,582人 ÷ 365日×1,000,000 = 776.3 g									
再生業者直接搬入量 中間処理で資源化量 集団回収量 ごみの総処理量 資源回収量 リサイクル率 (358 t + 940t + 1,369 t) ÷ (11,264 + 1,369) = 21.11%									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
平成27年度からの資源化量を比較すると約5%(115t) の増となっているにもかかわらず、リサイクル率が伸びないのは、資源化物である古紙、金属等の国際取引価格の落ち込みにより有価物単価が下がり、集団回収量が減少したものが原因と考えられます。 また、平成28年度からの粗大ごみ拠点回収事業の本格実施に伴い総ごみ量が増加したことにより1人当たりのごみ排出量が増えたものと考えられます。					ここ数年間の総ごみ量の推移は横ばい傾向であり、将来の総ごみ排出量の減少も見込めないと推測するため、あらたに新規のリサイクル品目を生み出すか、生ごみを水切りし含水比を下げることで総ごみ量の軽減に努める必要があると考えます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	26 ゴミ減量と資源リサイクルの推進								
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 剪定枝や廃食用油等のバイオマス資源を回収し、薬用ハンドソープやリサイクル堆肥等の原料として有効活用を推進します。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・放置竹林を間伐しチップ・炭等への活用 ・広葉樹等を間伐し、薪等へ利用促進 ・一般家庭からの廃食用油回収の継続					・一般家庭からの廃食用油回収の継続		
	経費(千円)	112					145		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
廃食用油の回収量(千ℓ)		目標		13.0	13.3	13.6	13.9	14.2	14.5
		実績	－	12.6	10.8	10.6	10.9	10.6	
(指標及びR2目標値の設定理由) 一般家庭で手軽に実行できて、水環境の改善につながるので指標として設定し、1割増を目指す。		目標数値の達成度	単年度	97%	81%	78%	78%	75%	
			最終年度	87%	74%	73%	75%	73%	
R元取組状況	家庭用の廃食用油を回収し、リサイクル会社へ販売する事業を実施しました。R元年度の回収実績は10,650ℓ、廃食用油売捌収入は30,360円でした。樹木粉碎機等の貸出事業は、貸出件数が減少している中、機器が破損したことにより終了しました。								
課題と今後(R2)の取組	H25年度をもって市外回収、BDF生産を終了した結果、回収量が減少しました。しかし、一方で市内の一般家庭からの廃食用油の回収は市民に浸透しており、リサイクル意識の啓発にも繋がっています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	75%	73%	C：目標を下回っている		②継続		
備考									
樹木粉碎機の破損により貸出し事業が継続できなくなったため減額となりました。 間伐材玉切り・運搬委託を見直し、廃止したため、減額となっています。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
市内の一般家庭から廃食用油を回収する事業は、市民にも浸透しておりリサイクルの意識啓発にも繋がっていることから一定の効果はあったと思われます。バイオマス事業の一環として開始した樹木粉碎機等の貸出事業は、年々貸出件数が減少していたため事業継続の必要性について検討していましたが、機器が破損したことを契機にR元年度で終了することとしました。					廃食油の回収は循環型社会の実現に一定の効果がありました。今後、広報・回収方法の再検討が必要であると思われます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	26 ゴミ減量と資源リサイクルの推進								
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 美バースへの補助金を継続します。								
主管部課	部名	生活環境部				課名	環境課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・改正後単価での奨励金の交付を継続					・改正後単価での奨励金の交付を継続		
	経費(千円)	1,387					1,700		
指標名		区分	目標(下段の() 書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
資源物集団回収登録団体による年間回収量(t)		目標		1,506	1,510	1,515	1,520	1,525	1,530
		実績	－	1,506	1,451	1,409	1,369	1,280	
(指標及びR2目標値の設定理由) 資源物集団回収物の減少傾向に歯止めをかけ、資源物回収の増量(毎年5t増)を目指す。		目標数値の達成度	単年度	100%	96%	93%	90%	84%	
			最終年度	98%	95%	92%	89%	84%	
R元取組状況	資源物(新聞、雑誌、古繊維、空き缶、ペットボトル、古鉄等)に対して、「1kgあたり1円」及び「売払い金額が5円未満の場合は5円との差額」1,387,430円を集団回収奨励金として、集団回収登録団体に交付し資源回収事業の促進並びに資源の有効利用を図りました。								
課題と今後(R2)の取組	市内全域に新聞雑誌、段ボール等の無料回収ボックスが設置され、集団回収量が減少傾向にあるため、引き続き市民への資源物集団回収事業の取組について、啓発を行い地域におけるごみ減量とリサイクルの推進を図ります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B: 予定より遅延	84%	84%	C: 目標を下回っている		②継続		
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
資源物集団回収事業における古紙、金属等の国際取引価格の落ち込みにより年々、有価物単価が下がり、集団回収団体の収益が減少したことにより事業団体登録申請件数及び資源物回収量が減少したものが原因と考えられます。平成27年度と比較すると15%(▲226t)の減少となっています。					資源物集団回収運動奨励金交付要綱の改正により奨励金の増額が必要であると考えます。さらに、集団回収実施回数の現要綱の2回以上を3回以上に変更し、実施回数についても奨励金対象とすることにより集団回収用として家庭内で保管されている資源物をいち早く回収し、資源物を燃えるごみとして排出されないように検討していかなければならないと考えます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	27 環境学習の推進								
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 親子で参加できる環境学習を推進します。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	生涯学習課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・こども環境講座の実施					・こども環境講座の実施		
	経費(千円)	50					50		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
公民館におけるこども環境学習の受講者数		目標		100	130	160	190	220	250
		実績	51	25	93	88	106	90	
(指標及びR2目標値の設定理由) 生涯学習の中核機関である公民館のこども対象の環境学習講座延受講者数。当初の5倍と設定。		目標数値の達成度	単年度	25%	72%	55%	56%	41%	
			最終年度	10%	37%	35%	42%	36%	
R元取組状況	公民館・オークタウンで子供向け環境学習講座を実施しました。								
課題と今後(R2)の取組	公民館講座だけでは講座数の確保が困難なことから、引き続き公民館以外の施設や地域と連携した環境講座を開催していきます。また、親子での参加となると開催日が休日に限定されており、開催日に苦慮しています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	41%	36%	C：目標を下回っている		③見直し		
備考									
リーダー養成講座として開催した「あびき湿原レンジャー養成講座」は、地域住民や受講生があびき湿原の地域環境保護団体の自主活動を始めたため、平成29年度で終了し、今後は市民の団体活動への参画を推進します。 また関係機関と連携し、環境講座を開催していきます。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
公民館等において、子ども向けの環境講座を開催しています。 ただ、最近の子どもを取り巻く環境などから、週末の親子講座は参加者の確保が難しいため、ほかのテーマと合わせて環境や自然について学べるように開催しています。					子ども向けに環境講座の開催をしてきましたが、次期計画では、オークタウン等の自然・野外活動の中に環境学習の内容を盛り込むことで、学習の機会を設けます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	27 環境学習の推進								
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 環境学習リーダーを養成し、その活動を推進します。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	生涯学習課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・環境講座の開催					・環境講座の開催		
	経費(千円)	60					60		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
公民館における環境学習リーダー養成講座の受講者数		目標		200	210	220	230	240	250
		実績	123	115	317	517	582	295	
(指標及びR2目標値の設定理由) 公民館の環境学習の延受講者数。当初の倍増と設定。		目標数値の達成度	単年度	58%	151%	235%	253%	123%	
			最終年度	46%	127%	207%	233%	118%	
R元取組状況	高齢者学級で環境学習を開催し、295人が身近な環境問題を学習しました。地域と連携し、貴重な自然環境を保全し守っていく人材を養成することを目的に公民館主催講座「ネイチャー倶楽部」を開催。22人が6回にわたり自然環境を学習しました。								
課題と今後(R2)の取組	今後も継続して、毎年異なるテーマで環境講座を開催します。引き続き、「ネイチャー倶楽部」を開催します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	123%	118%	A：目標を上回って達成		①完了		
備考									
リーダー養成講座として開催した「あびき湿原レンジャー養成講座」は、地域住民や受講生があびき湿原の地域環境保護団体の自主活動を始めたため、平成29年度で終了し、今後は市民の団体活動への参画を推進します。 また関係機関と連携し、環境講座を開催していきます。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
リーダー養成講座として「あびき湿原レンジャー養成講座」を開催していましたが、平成30年度より受講生や地域住民が自主活動に移行したため、講座を終了しています。 また、環境問題について意識啓発を目的に、地域と連携して公民館の講座の一つを環境学習をテーマに開催しています。					環境リーダー養成講座は、「あびき湿原レンジャー養成講座」が終了し、自主的に市民活動に移行したことをもって、公民館のリーダー養成講座としての取り組みは完了しています。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	27 環境学習の推進								
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 様々な組織や団体により取り組まれた環境学習のノウハウを他の学校や団体が活用できるよう支援します。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	学校教育課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・環境体験学習(小学3年生) ・環境学習(小・中学校)					・環境体験学習(小学3年生) ・環境学習(小・中学校)		
	経費(千円)	2,122					1,942		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
環境学習実施学校数		目標		15	15	15	15	15	15
		実績	－	15	15	15	15	11	
(指標及びR2目標値の設定理由) 環境学習を実施している学校数を示しており、全小・中学校の学校数で設定。		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	73%	
			最終年度	100%	100%	100%	100%	73%	
R元取組状況	市内小学校全11校で環境体験学習を実施しました。小学校においては、環境体験学を中心に、校区の特徴を生かした里山保全活動や希少生物調査活動、稲作等農業体験など、各校の独自性を出しながら取り組むことができました。また、「あびき湿原」には、小学校11校すべてが環境学習として取り組み、環境体験学習だけにとられず、ふるさと「加西」の環境について、学年を問わずに学習する取組が各校において拡充してきました。								
課題と 今後(R2)の取組	兵庫県教育委員会が推進する「兵庫型体験学習」として、今後も事業を継続していくためにも、各校区での新たな学習教材の開発や地域人材の発掘に努め、さらなる意味ある環境体験学習につなげていきます。また、小学校においては、R2年度から全面实施、中学校においては、R3年度から全面实施される新学習指導要領に照らし合わせながら、新たな環境学習の取組へと発展することを目指していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	73%	73%	B：目標を達成		②継続		
備考									
学級数の変動により、経費を見直しました。 環境学習の実施について、当初、小学校及び中学校で実施すると計画していましたが、小学校のみ実施することに変更します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
・環境体験学習は、市内11校すべての小学校3年生で実施し、校区の特徴を生かした里山保全活動や希少生物調査活動、稲作等農業体験など、各校の独自の取組ができました。 ・環境学習は、市内の11校で実施し、環境体験学習だけでなく、様々な学年で教科学習とつながら実施することができました。					・充実した環境体験活動を行うための事業費の拡充が必要です。 ・学習内容に照らし、継続した取組と新たな取組の精査を行います。 ・未来の児童生徒につなぐための素材や人材の発掘を行います。 これまでの取組を精査しながら、新たな取組へとつなげるよう支援していきます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	27 環境学習の推進								
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 環境に配慮したまちづくりに資するテーマで、住民や小学生を対象に、定期的な学習会を開催します。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・事業者が環境経営システムの認証を受けるための助言 ・環境普及啓発					・事業者が環境経営システムの認証を受けるための助言 ・環境普及啓発		
	経費(千円)	0					0		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
I S O 14001、エコアクション21取得企業団体数		目標		53	53	53	53	53	53
		実績	32	52	46	44	44	45	
(指標及びR2目標値の設定理由) ・普及啓発の効果として環境経営に努める事業者の数としました。目標値は取得できる事業者が限られていることから、現状維持の数値としました。		目標数値 の達成度	単年度	98%	87%	83%	83%	85%	
			最終年度	98%	87%	83%	83%	85%	
R元取組状況	本市では、H25年度をもってエコアクション21の認証登録を終了し、費用不要の新たな環境経営システム(EMS自治体間相互環境監査)を構築し、継続的に取組んでいます。								
課題と今後(R2)の取組	環境経営システムは、認証取得及び認証更新に一定の費用が必要なため、近年取得・更新をしない団体が増えてきています。今後は、取組内容の変更も含め、見直しを検討する必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	85%	85%	C：目標を下回っている		③見直し		
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
環境経営システムは、認証取得に数十万から百数十万円の費用がかかることから、取り組める事業者が限られています。また、一度認証を受けても、更新費用の兼ね合いから更新しない事業者も増えています。このため、認証取得団体数は横ばいとなっています。					本市自体もH25年度をもってエコアクション21の認証・登録を終了し、新たに「EMS自治体間相互環境監査」に取組んでいます。今後は、取組内容の変更も含め、見直しを検討します。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	27 環境学習の推進								
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 教員を対象とした環境学習に関する研修を実施します。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	学校教育課、総合教育センター		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・教職員研修講座における環境教育講座の充実					・教職員研修講座における環境教育講座の充実		
	経費(千円)	15					15		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
教員を対象とした環境学習に関する研修の年間開催数		目標		2	2	3	4	2	2
		実績	—	2	2	2	2	1	
(指標及びR2目標値の設定理由) 教員を対象とした環境学習に関する研修講座の回数を示し、当初値の倍増を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	67%	50%	50%	
			最終年度	100%	100%	100%	100%	50%	
R元取組状況	「あびき湿原」を見学し、守り伝えるべきふるさとの自然に触れ、教科化について考える機会としました。								
課題と今後(R2)の取組	各校の環境教育担当者以外にも広く受講を促すとともに、加西市における環境資源や環境保全、企業による取組などを知り、子どもたちに伝えられるよう内容の充実を図ります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	50%	50%	C：目標を下回っている			②継続	
備考									
環境学習に関する研修の開催数を増やすのではなく、環境を保全する態度を、まず教職員が養えるよう、内容の充実に目標を変更します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
あびき湿原の素晴らしさや保全活動の意義について、多くの教員に広めることができました。					市内環境資源の保全活動に主眼を置きながらも、企業が展開する新しい形の環境保全活動（環境汚染の予防、肥料のリサイクル等）の実際を見学し、知ることで、知識を広め、学習指導に活かせるよう取組を進めます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり								
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 自立的な地域づくりのために、地域おこし協力隊等の採用を進めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・地域活性化に取り組む地域おこし協力隊の採用					・地域活性化に取り組む地域おこし協力隊の活動支援		
	経費(千円)	3,503					3,890		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①地域づくりコーディネーター数		目標		2	2	4	4	4	4
		実績	－	0	2	2	3	1	
(指標及びR2目標値の設定理由) 地域おこし協力隊の活動の内、コーディネーターとして配置する人員数。		目標数値の達成度	単年度	0%	100%	50%	75%	25%	
			最終年度	0%	50%	50%	75%	25%	
②★地域おこし協力隊員数【6-91】		目標		2	4	6	6	6	6
		実績	－	2	4	4	3	1	
(指標及びR2目標値の設定理由) 最大6名体制を2年取り組んだ後、事業の収束をはかる。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	67%	50%	17%	
			最終年度	33%	67%	67%	50%	17%	
R元取組状況	○新たな協力隊員を募集(R1.6.3～R1.7.1)。応募なし。 ○R1年度は、H30.5月に採用した3期生1名のみで活動。(北条旧市街地における活性化事業の実施等) ○市による単独事業であり、市の財政負担を減らすため、兵庫県「地域再生協働員(県版地域おこし協力隊)」制度を活用。								
課題と今後(R2)の取組	各地域において、市外の若者等に頼らなくても、内発的に地域づくり活動に携わる方が増えてきているほか、協力隊員を募集しても応募がない状況です。 また、現役隊員(3期生1名のみ)の活動がR2年度で任期満了となるため、同事業については、R2年度で終了とします。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
①	②実行中	B：予定より遅延	25%	25%	C：目標を下回っている		①完了		
②	②実行中	B：予定より遅延	17%	17%					
備考									
・R1年度に新たな地域おこし協力隊2名を幅広く募集しましたが、応募がなかったため、R2年度は現1名のみで活動します。 また、R2年度は会計年度職員制度への移行に伴い、現1名の隊員には協力隊事業を委託。(「県版地域おこし協力隊制度」もR1年度から継続活用)									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
平成27年度から本事業をスタートし、これまで市外から5名の協力隊を採用し、うち2名が卒隊後も、本市で定住をされています。市外の若者が協力隊として、地域で活動を行うことによって、若者が増え、新たな活動に繋がった事例も存在していることから、本事業の目的はある程度、達成できたものと考えます。					【課題】 同制度については、R2年度で終了としますが、「地域おこし協力隊」のような市外の若者や市外在住者で加西市に興味や関心、想いを寄せる多くの人(関係市民)との関わり等について、市の関係部署間での連携や役割分担を通じて、今後の施策や方向性が必要かと考えます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり								
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 社会活動の促進を図るため、各種法人や個人起業家の育成を進めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	ふるさと創造課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・若者ターミナルスポット事業 ・起業支援					・若者ターミナルスポット事業 ・起業支援		
	経費(千円)	611					1,149		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①NPO法人数		目標		21	20	25	25	25	35
		実績	11	19	20	20	19	19	
(指標及びR2目標値の設定理由) NPO法人立ち上げ支援等により着実に増えており、 今後は、ふるさと創造会議の受け皿としても期待でき		目標数値 の達成度	単年度	90%	100%	80%	76%	76%	
			最終年度	54%	57%	57%	54%	54%	
②★加西サポーター登録者数【6-90】		目標		24	100	150	200	300	300
		実績	—	24	50	81	81	81	
(指標及びR2目標値の設定理由) 総務省とともに行ったマチホメコミュニティによる都市部 のファンづくりが好評で毎年50名のコミュニティが期待		目標数値 の達成度	単年度	100%	50%	54%	41%	27%	
			最終年度	8%	17%	27%	27%	27%	
R元取組状況	若者ターミナルスポットCOCOKARAでは、カフェ、ハンドアロママッサージなど、起業したい人のチャレンジの場、何かをしてみたいと思っている人がやってみる場、自分のスキルを試したい人が試してみる場として利用しています。起業セミナーも3度実施しました。								
課題と 今後(R2)の取組	参加者を増やすために、SNSや各種広報媒体で参加を促し、今後も多様な活動が行われる場所として提供していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
①	②実行中	B：予定より遅延	76%	54%	C：目標を下回っている			②継続	
②	②実行中	B：予定より遅延	27%	27%					
備考									
若者ターミナルスポットをカフェなどの起業に向けたスクールにし起業支援を行っていたが、R元年度以降は運営方法を変更し、自主運営できるような講座を開催する。 また、空いた時間や空いたスペースの効果的な利用を検討します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
起業支援講座を実施するとともに、若者ターミナルスポットをカフェなどの起業に向けたスクールにし起業支援を行っていたが、R元年度以降は運営方法を変更しカフェ、ハンドアロママッサージなど、起業したい人のチャレンジの場、自分のスキルを試したい人の活動の場として利用しています。					参加者を増やすために、SNSや各種広報媒体で参加を促し、今後も多様な活動が行われる場所として提供し、起業に結びつけられるよう支援を行っています。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり								
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 ボランティア活動希望者と支援を受けたい人との調整を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	ふるさと創造課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・登録団体による市民対象の活動を行う					・登録団体による市民対象の活動を行う		
	経費(千円)	0					0		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
ボランティア活動希望登録者数		目標		—	20	100	200	200	200
		実績	—	—	—	263	286	375	
(指標及びR2目標値の設定理由) ボランティア活動の充実を図るため登録者数の増加を目指す。		目標数値の達成度	単年度	—	—	263%	143%	188%	
			最終年度	—	—	132%	143%	188%	
R元取組状況	地域交流センターにて市民や地域の問い合わせに関して登録団体等のマッチングをしています。								
課題と今後(R2)の取組	地域交流センターの登録団体に対して、市民参画活動に関する講演会を開催します。その中で団体間でコラボしたイベント等を開催したり、市民の方向けに出前講座を提供していくことを呼び掛けていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	188%	188%	A：目標を上回って達成			②継続	
備考									
当初、ボランティア活動の人材バンクを設置する予定で、その登録者数をカウントする予定であったが、H29より指標の数値を地域交流センターに登録するボランティア団体の会員数を反映します。 登録団体による市民対象のワークショップやセミナーをボランティア活動とします。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
地域交流センターの登録団体に対して、市民参画活動に関する講演会を開催しています。その中で団体間でコラボしたイベント等を開催したり、市民の方向けに出前講座を提供していくことを呼び掛けていきました。					地域交流センターの登録団体に対して、今後も市民の方向けにワークショップやセミナーを行ってもらうよう促していきます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり								
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 ふるさと創造会議の立ち上げとともに小規模多機能自治への発展を進めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・創造会議の運営支援 ・創造会議の組織強化及び計画策定支援等					・創造会議の運営支援 ・創造会議の組織強化及び計画策定支援等 ・創造会議のあり方等検討		
	経費(千円)	16,150					17,950		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★ふるさと創造会議設置数【4-73】		目標		7	9	11	11	11	11
		実績	－	8	9	11	11	11	
(指標及びR2目標値の設定理由) 小学校区の数。ただし、北条は2校区を一本化。		目標数値 の達成度	単年度	114%	100%	100%	100%	100%	
			最終年度	73%	82%	100%	100%	100%	
R元取組状況	○地域再生アドバイザー派遣事業の実施(在田地区、下里地区) ○集落連携計画(まちづくり計画書)策定事業の実施(西在田地区、日吉地区、富合地区) ○地域づくり支援セミナーの開催(年3回) ○「はつらつ委員会」と「ふるさと創造会議」との連携・統合に向けての説明会の実施(R2年2月)								
課題と 今後(R2)の取組	○加西市の地域特性に則した自治会組織及びふるさと創造会議の役割やあり方の検討 →島根大学とのまちづくり共同研究の実施、地域づくりアドバイザー会議の実施								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成		②継続		
備考									
・H29年度に全創造会議が設立されたため、R元年度以降は、各創造会議の組織強化や計画策定等を支援予定です。 ・地域づくりに関する意識醸成を図るため、地域づくりに関する様々なテーマで、創造会議関係者を対象に勉強会を実施予定です。 ・R2年度は、これまでの各創造会議への縦の支援に加えて、創造会議同士のネットワーク化をはじめ、創造会議のあり方等について学識経験や地域再生アドバイザー参画のもと、検討・議論を進めます。(横の展開)									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
平成25年度からスタートした小学校区を範囲に組織された地域運営組織である「ふるさと創造会議」ですが、平成29年度には市内全地区に設立され、現在、各地区では、地域の特性を生かした様々な地域活動が実施されていることから、目標は達成されたものと考えます。					今後の少子高齢化に伴う人口減少や地域の担い手不足等、単位自治会だけでは解決できない多くの問題・課題を少しでも解決していくため、小学校区を範囲に、単位自治会同士や地域の各種団体が一緒になって活動していくための組織(ふるさと創造会議)の活動を継続して支援していきます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり								
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 住民から寄せられる提案、要望、意見に対する回答について、ウェブ情報等を活用して住民との情報共有を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	秘書課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・タウンミーティングでの意見・回答のホームページへの掲載				・タウンミーティングでの意見・回答のホームページへの掲載			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
H P掲載件数		目標		2	2	2	2	2	2
		実績	－	2	2	1	1	2	
(指標及びR2目標値の設定理由) タウンミーティングが2回程度／年開催されるため		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	50%	50%	100%	
			最終年度	100%	100%	50%	50%	100%	
R元取組状況		令和元年7月と10月～11月にかけて、通算2回タウンミーティングを実施し、市民から出た意見や要望とともに、各担当の回答を市ホームページに掲載しました。							
課題と 今後(R2)の取組		現在、小学校区を巡回する形で、タウンミーティングを実施し、主に区長さんら役員の方々が出席していただき実施している。さらに幅広い世代から広聴する場を設けることが課題であり、住民企画型のタウンミーティングの開催の推進を図る。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成		②継続		
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
タウンミーティングの開催については、平成29年度と平成30年度は結果的に、年1回の開催となり、達成度が50%となったが、平成30年度からは、市の予算編成前に各校区の要望事項を伺う機会とし、地域課題の解決に向けて、スピード感を持った対応にシフトしている。				住民企画型タウンミーティングを活用し、さらに幅広い世代等から意見を伺う機会を設けたい。					

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり								
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★集落支援員の配置を進めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	ふるさと創造課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	集落支援員導入に向けた調査や研修会の実施					集落支援員の導入検討		
	経費(千円)	0					0		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★集落支援員数【4-72】		目標		0	9	11	11	11	11
		実績	-	0	0	0	0	0	
(指標及びR2目標値の設定理由) 各小学校区に1名を配置する計画		目標数値 の達成度	単年度	-	0%	0%	0%	0%	
			最終年度	-	0%	0%	0%	0%	
R元取組状況	「集落支援員制度」を活用している自治体(丹波市)への視察実施(R1年9月)								
課題と 今後(R2)の取組	本格的な導入実施に向けての検討や各創造会議へのヒアリング、説明会の実施								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	①未着手	B: 予定より遅延	0%	0%	D: 目標を大きく下回っている		③見直し		
備考									
・集落支援員制度は、各集落への「目配り」として、集落の巡回や状況把握等を実施いただくことから、集落支援員の導入については、地域づくり組織である「ふるさと創造会議」を対象に導入予定。 ・導入にあたっては他市の集落支援員の状況を視察するほか、他市で活動中の集落支援員の方を招き研修会を実施する予定です。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
平成27年度から総合計画の施策の一つとして位置づけてきましたが、同制度を実施している自治体への視察だけで終わっており、支援員の導入には至っていません。					集落支援員の導入に向けては、各創造会議へのヒアリングをはじめ、R2年度から2ヶ年計画で実施する「島根大学まちづくり共同研究事業」や「地域づくりアドバイザー会議(仮称)」において、導入に向けて検討します。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	29 自己実現と共生のまちづくり								
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 男女共同参画社会に関する学習機会を拡充します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・男女共同参画セミナーの開催 ・女性・若者起業調査助成金制度				・男女共同参画セミナーの開催 ・女性・若者起業調査助成金制度			
	経費(千円)	183				389			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
男女の労働力率の格差是正 女性の労働力率(%)		目標		50	50	50	50	50	60
		実績	—	24	24	24	24	24	
(指標及びR2目標値の設定理由) 加西市は第二次産業が多く、女性が働く場はある。 子育てが終わった女性の就業を想定した。		目標数値 の達成度	単年度	48%	48%	48%	48%	48%	
			最終年度	40%	40%	40%	40%	40%	
R元取組状況	男女共同参画の意識啓発の映画上映や、セミナー、女性の起業相談、就職セミナーまた男女共同参画講演会などを開催しました。								
課題と 今後(R2)の取組	男女共同参画の意識啓発に一層取り組み、女性の社会進出を目的としたセミナー等を開催します。 R2、R3年度に渡って男女共同参画計画書の策定に際し、アンケート調査を実施するので、現状を把握し、必要な啓発活動を行っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	48%	40%	C：目標を下回っている		②継続		
備考									
助成金の補助だけではなく、男女共同参画社会の実現に向け、女性の就労支援に関するセミナーや男女の働き方を見直すためのセミナーを開催することにより、女性の社会進出を促すことに取り組みます。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
・映画上映会、セミナー、起業相談、講演等を開催することで、男女共同参画意識啓発に取り組みました。					・女性・若者起業調査助成金制度の利用促進に取り組みます。 ・さらなる男女共同参画社会の実現に向けた女性支援セミナー等を開催し、女性の社会進出を促すよう取り組みます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	29 自己実現と共生のまちづくり								
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 女性の声を地域の組織や団体に反映させる制度を構築します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R 2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・市職員向けの研修開催 ・女性チャレンジ事業					・市職員向けの研修開催 ・女性チャレンジ事業		
	経費(千円)	33					0		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市の女性管理職登用率(%)		目標		10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	15.0
		実績	7	3.4	3.9	7.4	5.1	5.3	
(指標及びR2目標値の設定理由) 政府目標数値30%に対して、加西市は第二次産業が多く、自治会でも男性中心で慣例があるため、政府目標の半分の数値を目標とした。		目標数値の達成度	単年度	34%	39%	74%	51%	53%	
			最終年度	23%	26%	49%	34%	35%	
R元取組状況		・市職員向けの研修を開催し、女性活躍推進や男女共同参画に関する意識改革に取り組みました。 ・女性が主体となって改革・改善する活動につながる「女子カフェ」を定期的に開催し、女性活動推進に取り組みました。							
課題と今後(R2)の取組		女性職員割合や女性採用割合に比べ、女性管理職の割合が低い現状です。ワーク・ライフ・バランスの研修を積極的に開催し、女性が活躍できる環境づくりと意識改革、ロールモデルづくりに取り組みます。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	53%	35%	C：目標を下回っている		②継続		
備考									
女性職員が管理職になるために必要な意識改革のための研修を開催します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
・女子カフェや市職員向けの研修を開催し、女性活躍推進や男女共同参画に関する意識改革に取り組みました。					・市の女性管理職の割合が少ないことから、ロールモデルとなる事例等も交えた市職員研修の回数を増やし、従来の習慣や1人ひとりの根本的な意識改革に取り組みます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	29 自己実現と共生のまちづくり								
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 在住外国人のための学習支援や生活情報の多言語化を推進するとともに、教育分野との連携を進めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・外国人児童の学習サポート ・支援者育成					・外国人児童の学習サポート ・支援者育成		
	経費(千円)	206					215		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市内における日本語講座の実施教室数		目標		2	3	4	4	5	5
		実績	—	2	2	2	3	3	
(指標及びR2目標値の設定理由) 今後市内に外国人の増加が見込まれるため、受け入れ教室を増やす必要がある。		目標数値の達成度	単年度	100%	67%	50%	75%	60%	
			最終年度	40%	40%	40%	60%	60%	
R元取組状況	ねひめカレッジによる日本語教室(学校に通っているが日本語があまり理解できない児童とその保護者のための日本語教室)の運営。また長期休暇中は学習をサポートします。								
課題と今後(R2)の取組	学校の授業についていけない児童とその保護者のための日本語教室を開室するとともに、増加する外国人に対応できるよう整備していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	60%	60%	C：目標を下回っている		②継続		
備考									
学校での勉強についていけない母語が日本語でない児童に対しての日本語の学習教室を開催します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
・ねひめカレッジの日本語教室の運営と長期休暇中の学習サポートに取り組みました。					・増加する外国人児童や家族の学習サポートを行います。 ・企業を含めた支援者育成を促進し、技能実習生や定住外国人と市民が共存しやすいまちづくりに取り組みます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	29 自己実現と共生のまちづくり								
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 国際交流協会のNPO化により活動範囲を広め、市民レベルの交流を進めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	ふるさと創造課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・国際理解と情報発信 ・ブルマン市からの中学生等の受入 ・スワン市への高校生等の派遣 ・スワン市からの高校生等の受入				・国際理解と情報発信 ・ブルマン市への中学生等の派遣 ・スワン市への高校生等の派遣			
	経費(千円)	6,400				9,750			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市内における各種外国文化関係団体の会員数		目標		30	33	35	40	45	50
		実績	—	13	30	91	129	204	
(指標及びR2目標値の設定理由) NPO法人に委託すると同時に会員が激減し、再度PRをし、会員増を目指す。		目標数値の達成度	単年度	43%	91%	260%	323%	453%	
			最終年度	26%	60%	182%	258%	408%	
R元取組状況	3か月に1回「ねひめニュースレター」情報発信をし、国際理解講座「世界のとびら」を年5回開催しました。								
課題と今後(R2)の取組	幅広い方に向けて会員数を増やす、更なる国際理解の輪を広げます。 中高生の国際交流の場を派遣・受入共に実施します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	453%	408%	S：目標を大きく上回って達成			②継続	
備考									
日本語を学びたい外国人のための日本語教室に加え、学校での勉強についていけない母語が日本語でない児童に対しての日本語の学習教室を開催します。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
・ねひめカレッジの会員数が大幅に伸び、目標達成しました。 ・国際理解(定期的な講座開催)と情報発信(ニュースレター発行)を行い、多文化共生を推進しました。					国際理解講座や市民交流事業等を通し、多文化共生の輪を広げる取り組みを実施していきます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	29 自己実現と共生のまちづくり								
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5	家庭や学校、地域、職場等、あらゆる場と機会を通じて、人権尊重の理念を踏まえ、様々な人権課題に対する教育、啓発を進め、お互いを認め合い、差別を許さないまちづくりを推進します。							
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	人権推進課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・人権文化をすすめる市民のつどい ・地区人権学習会、まちかどフォーラム ・加西市人権教育協議会や公民館と連携した講演会、映画上映やフィールドワーク等 ・企業、団体等での人権学習会 ・自主参加型学習会の開催					・人権文化をすすめる市民のつどい ・地区人権学習会、まちかどフォーラム ・加西市人権教育協議会や公民館と連携した講演会、映画上映やフィールドワーク等 ・企業、団体等での人権学習会 ・自主参加型学習会の開催		
	経費(千円)	8,650					10,240		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
人権学習会参加者数		目標		2,400	2,600	2,700	2,800	2,900	3,000
		実績	2,700	2,592	3,787	3,841	3,039	3,398	
(指標及びR2目標値の設定理由) 住民一人ひとりがお互いの人権を尊重するまちづくりのため、様々な人権課題を学習する機会を広げてい		目標数値の達成度	単年度	108%	146%	142%	109%	117%	
			最終年度	86%	126%	128%	101%	113%	
R元取組状況		・人権文化をすすめる市民のつどいを開催し、人権ポスターの表彰や講演会を実施しました。(参加者508人) ・地区人権学習会(6地区)、まちかどフォーラム(47町)を開催し、合計976人が参加しました。 ・自主参加型の学習機会として、加西市人権教育協議会と連携した太鼓づくり教室や人権フィールドワーク、人権問題を扱った映画上映会などを開催し、381人の参加がありました。 ・自治会、事業所、団体等が自主開催する研修会への講師派遣、資機材の貸出等の実施援助を行い、1,096人の参加がありました。 ・その他、公民館活動グループや市職員等を対象に人権研修会を実施し、437人の参加がありました。							
課題と今後(R2)の取組		・地区人権学習会、まちかどフォーラム(町別学習会)の内容、進行について、参加者から「意見発表を求められるので参加したくない」「マンネリ化している」などの意見が出されています。また、町の役員の責任出席化の傾向が見られます。そこで、内容、進行方法等について音楽を取り入れるなど、楽しみながら学習できる手法を取り入れる等の工夫をしています。同時に、インターネットによる人権侵害等、新たに出てくる人権課題の解決のためには、人権学習会を継続していく必要があることを伝えていきます。 ・自主参加型の学習機会を多く実施し、また、事業所、団体等による自主的な研修会実施に対する講師派遣、資機材貸出などの支援策を充実し、市民自らが人権について関心をもち、考えていただけるよう努めています。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	117%	113%	A：目標を上回って達成		②継続		
備考									
・市民会館が耐震化工事のため、公民館コラボ事業は休止します。 ・会計年度任用職員への変更による人権推進員の手当増額と兵人教研究大会東播磨大会の加西市開催のため、経費を変更しました。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
H28～R1の総括としては、年度によって学習会参加者数に波はあるものの、事業の到達度は目標を上回って達成しています。					まちかどフォーラムと地区人権学習会の各地区での開催ローテーションを3年周期としてから、R2年度で2期目の中間となります。参加者アンケートを取ったうえで、次期の形態を検討する必要があると思われます。そして、自主参加型の学習機会(小規模での)を充実させていきます。また、情報発信方法として、広報やホームページがありますが、新型コロナウイルス感染症等による緊急事態時に、人権にかかわる連絡をより速く効果的に伝えられるような方法も検討していきます。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	10 健全な行財政運営の確立								
施策	30 行政サービスの向上と効率経営								
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 定員適正化計画に基づき、必要な部門に職員を重点配置します。								
主管部課	部名	総務部				課名	総務課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・早期退職勧奨の実施 ・再任用制度の活用					・早期退職勧奨の実施 ・再任用制度の活用		
	経費(千円)	0					0		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市役所の正規職員総数 (消防、医療職員除く) 【減少指標】		目標		332	332	330	330	328	326
		実績	350	332	332	329	326	321	
(指標及びR2目標値の設定理由) 組織の見直しや必要な部門に職員を重点配置しつつ、職員数の純減(△6名)に取り組む。		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	100%	101%	102%	
			最終年度	98%	98%	99%	100%	102%	
R元取組状況		行政職は新規採用職員数を退職補充程度としつつ、技能労務職は再任用制度の活用により業務運営維持を図ることで、当初目標と比較し正規職員を7名減としました。							
課題と 今後(R2)の取組		市民ニーズの多様化に加え、新規事業の増加や制度改正等により業務量は増加している状況にあり、働き方改革を推進しつつ組織運営に必要な人員の確保を行っていく必要があります。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	102%	102%	A：目標を上回って達成			②継続	
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
新規採用者数の抑制と、再任用制度の活用により、職員数の減に取り組んできました。その結果、計画の後半年度においては、目標数を上回る結果となりました。					職員数の削減を進めてきましたが、業務量は増加しており、少ない人員で業務にあたっている状況にあります。今後においては、業務量を勘案した適正な人員配置が課題であり、次期計画では方向性について検討していく必要があります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	10 健全な行財政運営の確立								
施策	30 行政サービスの向上と効率経営								
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 職員の能力や士気を向上させる職員研修を拡充します。								
主管部課	部名	総務部				課名	総務課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・職員研修成果発表会の開催 ・内部研修の充実					・職員研修成果発表会の開催 ・内部研修の充実		
	経費(千円)	0					0		
指標名		区分	目標(下段の() 書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
職員研修成果発表回数		目標		2	2	2	2	3	3
		実績	2	2	2	2	1		
(指標及びR2目標値の設定理由) 人事評価による成果発表会の実施対象の拡大を図る。		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	33%	
			最終年度	67%	67%	67%	67%	33%	
R元取組状況	加西市行政の取組状況報告会を開催し、市民に向けて部長級職員の成果発表を行いました。								
課題と 今後(R2)の取組	成果発表会の開催は1回となりましたが、職員の能力向上のための研修は多数実施しており、今後も引き続き充実を図っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度			今後の方針	
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	33%	33%	C：目標を下回っている			②継続	
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
人事評価による成果発表会を開催することで、発表者の能力向上を図るとともに、市民に向け市行政の取組内容を周知することができ、計画の実施により一定の成果を得ることができました。					成果発表会だけでなく、多様な研修の実施や自己啓発の推進等、職員の能力やモチベーションの向上を図るため、今後も引き続き新しい取り組みを進めていく必要があります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	10	健全な行財政運営の確立							
施策	30	行政サービスの向上と効率経営							
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 8	民間活力の導入と広域化を推進し、行政サービスの質的向上に努めます。 ★定住自立圏において圏域内の暮らしを整備するとともに、連携中枢都市に基づいて広域的な視点から地域の活力向上に努める等、事務処理の共同化を進めることにより関係団体と連携・協力して効率化を図ります。							
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	人口増政策課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・共生ビジョン懇談会の開催（共生ビジョン改定） ・加西市元気なまちづくり市民会議の開催 ・行財政改革プランの策定 ・次期総合計画策定に向けたアンケート調査 ・総合計画審議会の設置準備					・共生ビジョン懇談会の開催 ・加西市総合政策審議会の開催 ・行財政改革プランの策定 ・次期総合計画の策定作業		
	経費（千円）	5,907					6,648		
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★定住自立圏構想の連携事業年間件数【6-95】		目標		28	28	28	29	30	30
		実績	—	28	28	28	28	28	
(指標及びR2目標値の設定理由) 広域的に連携協力し効率的な行政サービスを推進するため連携事業数の増加を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	97%	93%	
			最終年度	93%	93%	93%	93%	93%	
R元取組状況	定住自立圏においては、共生ビジョンが計画最終年度であるため、次期計画の策定を進めました。次期計画の策定にあたり、より多くの意見や提言を取り入れるため、北播磨広域定住自立圏共生ビジョン懇談会（圏域内の有識者で構成）の回数を1回から3回に増やし、例年実施している評価検証・総括に加え、次期計画における事業の検討を行いました。 また、市政の方向性を定める第6次総合計画及び第2期地域創生戦略の策定に向けて、市民・中高生アンケートやワークショップ、団体ヒアリング等の意見募集を行い、また、地域の産学官金労老若女の有識者による加西市元気なまちづくり市民会議を計6回開催し、検討を行いました。								
課題と今後(R2)の取組	定住自立圏においては、新たな計画の開始年度となりますので、圏域市町の担当課と綿密に連携し、計画的な事業推進に向けて進捗管理を行っていきます。 また、加西市元気なまちづくり市民会議は、新たに「加西市総合政策審議会」と改組されますが、令和元年度の会議にて指摘があった事項（評価方法等）について充実させ、実りある会議運営に取り組みます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	93%	93%	A：目標を上回って達成		②継続		
備考									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
平成27年度以降、中心市として主導している北播磨広域定住自立圏の取組や姫路市を中心とした連携中枢都市圏等、自治体の広域連携に加え、兵庫県信用組合、加西商工会議所・但陽信用金庫、リコージャパン株式会社等との包括連携協定の締結や兵庫教育大学との連携講座等を実施しており、民間活力の導入と広域化の枠組みを広げることができました。					第2次北播磨広域定住自立圏共生ビジョンでは、共生ビジョン懇談会による検討や、これまでの取組、今後の見込み等を踏まえて4事業が削除・2事業が統合され、新たに取り組む事業として2事業が追加となり、計24事業となりました。 この24事業については、圏域市町による協定を締結したものであり、計画期間の令和6年度まで変更が困難であるため、連携事業数を指標とするのではなく、基本計画を達成するための新たな指標を検討する必要があります。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	10 健全な行財政運営の確立								
施策	30 行政サービスの向上と効率経営								
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 公共施設等総合管理計画を作成し、公共施設のあり方について検討を進めます。								
主管部課	部名	総務部			課名	管財課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・維持管理実施				・維持管理実施 ・総合管理計画の見直し			
	経費(千円)	648				660			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市の公有財産の把握と管理運営方針の策定		目標		計画策定	計画策定	維持管理			
		実績	—	—	—	—	—	—	
(指標及びR2目標値の設定理由)		目標数値 の達成度	単年度	—	—	—	—	—	
			最終年度	—	—	—	—	—	
R元取組状況	導入したデータ管理システムの保守およびデータ更新等を委託し、正確な情報処理と業務の効率化をすすめました。								
課題と 今後(R2)の取組	総合管理計画方針に沿った、各施設の個別計画を令和2年度末までに策定し、維持管理を行う必要があります。 固定資産台帳データ管理及び更新(入力)のマニュアル化を図る必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
	区分	単年(R元)	最終(R2)						
	②実行中	—	—	—	B: 目標を達成	②継続			
備考									
公共施設等総合管理計画の策定から3年が経過したため、数値目標・維持管理費等の再精査を行います。									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
H30年度 固定資産台帳データ管理及び更新 R1年度 固定資産台帳データ管理及び更新					4年前に作成した公共施設等総合管理計画の見直しを行い、数値目標検討・維持管理を更新するため変更します。				

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	10	健全な行財政運営の確立							
施策	30	行政サービスの向上と効率経営							
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5	行財政改革プランの見直しを行い、持続可能な財政運営に向けて取り組みを進めます。							
主管部課	部名	総務部	課名	財政課					
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)		R2 (予算額(補正含む))					
	取組内容	・長期財政収支見通しに基づく計画的な財政運営		・長期財政収支見通しに基づく計画的な財政運営					
	経費(千円)	—		—					
指標名		区分	目標(下段の() 書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①基金残高(財政調整+減債)(億円)		目標		26	23	24	24	24	24
		実績	18	26.5	21	21	21	23	
(指標及びR2目標値の設定理由) 行財政改革プランに基づき、最終年度において標準財政規模の2割程度の基金を維持		目標数値の達成度	単年度	102%	91%	88%	88%	96%	
			最終年度	110%	88%	88%	88%	96%	
②全会計市債残高(億円) 【減少指標】		目標		435	436	443	439	433	423
		実績	457	427	422	420	413	411	
(指標及びR2目標値の設定理由) 公債費負担適正化計画に基づき、最終年度においてH26の市債残高を下回る数値設定		目標数値の達成度	単年度	102%	103%	105%	106%	105%	
			最終年度	99%	100%	101%	102%	103%	
③実質公債費比率(%) 【減少指標】		目標		10.5	9.5	8	8	8	8
		実績	20.3	10.3	9.3	8	7.9	7.6	
(指標及びR2目標値の設定理由) 行財政改革プランに基づき、最終年度においてH26の実質公債費比率を下回る数値設定		目標数値の達成度	単年度	102%	102%	100%	101%	95%	
			最終年度	71%	84%	100%	101%	95%	
④★将来負担比率(%)【6-94】 【減少指標】		目標		70	70	70	70	67	65
		実績	—	61.6	68.6	76.9	72.7	69.4	
(指標及びR2目標値の設定理由) 行財政改革プランに基づき、最終年度においてH26の将来負担比率を下回る数値設定		目標数値の達成度	単年度	112%	102%	90%	96%	104%	
			最終年度	105%	94%	82%	88%	107%	
R元取組状況		基金残高は、平成30年度決算の実質収支が3億2千8百万円の黒字となり、うち1億6千5百万円を財政調整基金に積立てた結果、減債基金と合計で23億円となりました。 市債残高は、こども園・給食センターの建設事業や、加西インター産業団地整備事業の起債により増加したものの、目標の範囲内にとどまっています。							
課題と今後(R2)の取組		令和2年度の決算で基金の取崩のないように歳入確保・歳出抑制に努め、標準財政規模の2割程度の基金を維持するとともに、新たな起債の発行にも注意を傾けながら市債残高の増加を抑制し、持続可能な財政運営を目指します。							

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策						
基本政策	10 健全な行財政運営の確立					
施策	30 行政サービスの向上と効率経営					
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。					
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(R元)	最終(R2)		
①	②実行中	B：予定より遅延	96%	96%	B：目標を達成	②継続
②	②実行中	S：予定より早く進行	105%	103%		
③	②実行中	B：予定より遅延	95%	95%		
④	②実行中	S：予定より早く進行	104%	107%		
備考						
次期総合計画策定に向けた総括						
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性		
基金残高は平成28年度に財政調整基金を取崩て以降、目標を下回っていましたが平成30年度および令和元年度の実質収支が大きく改善したため、目標である24億円までの積立てができる見込みです。 市債残高は一般会計で学校施設等老朽耐震化整備をはじめとする建設事業の増加により起債が増えたものの、下水道会計等企業会計の市債残高が減少したため目標を達成できています。 実質公債費比率は市債残高の減少等により年々改善しています。 将来負担比率は一般会計の起債増や基金の減少により平成28年度以降悪化しており目標を達成できていません。				基金残高は、目標達成のため令和2年度決算で財政調整基金の取崩のないよう努め、次期計画でも更に基金を増やしていけるよう、歳入確保や、投資・政策的経費の枠の見直しなど歳出抑制に努めます。 市債残高は、令和2年度当初予算の段階で目標を達成していますが、補正予算で大きな起債増とならないよう注意が必要であり、次期計画でも引き続き残高が減少していくように市債発行枠の見直しを行わなくてはなりません。 実質公債費比率は令和2年度以降学校施設等老朽耐震化整備等大型事業の起債の償還が本格化してくるため上昇（悪化）する見込みですが、これをできるだけ抑制すべく、上記のとおり市債発行額の見直し等に努めていきます。 将来負担比率は、上記のとおり、市債残高の減少、基金の増加等により改善していくよう努めていきます。		

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策								
基本政策	10 健全な行財政運営の確立							
施策	30 行政サービスの向上と効率経営							
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。							
基本計画・主管部課								
基本計画	6 自主財源確保のため、市税及び公共料金の収納体制を強化し、収納の向上を図ります。							
主管部課	部名	総務部				課名	税務課	
評価検証								
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))	
	取組内容	・市税等収納向上対策 ・市県民税特別徴収の推進 ・口座振替推進 ・滞納処分の強化					・市税等収納向上対策 ・市県民税特別徴収の推進 ・口座振替推進 ・滞納処分の強化	
	経費(千円)	5,210					8,000	
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値					
			当初	H27	H28	H29	H30	R元
収納率 上段：現年分 下段：過年分		目標	—	98.8 18.0	98.8 18.0	98.8 18.1	98.8 18.2	98.8 18.3 18.4
		実績		98.8 17.9	98.8 17.6	98.8 18.6	99.0 23.3	99.0 31.6
(指標及びR2目標値の設定理由) 現年分は高い収納率を保ちつつ、過年分の率0.1% ／年を伸ばす。		目標数値 の達成度	単年度	100%	98%	103%	128%	173%
			最終年度	97%	96%	101%	127%	172%
R元取組状況	平成30年度まで派遣されていた兵庫県整理回収チームから得た滞納整理のノウハウを活用し、生活状況の把握による適正な分割納付金額の設定、財産調査の強化、悪質滞納者に対しての様々な手法による積極的な差押等を実施しました。							
課題と 今後(R2)の取組	新型コロナウイルスの影響による収入の減少が考えられることから、納税相談のあった納税者の状況を丁寧に聞き取りの上、徴収猶予や分割納付、または分割納付金額の緩和など柔軟に対応していきます。 一方、資力があながら納税しない悪質滞納者には、昨年度同様、様々な手法による積極的な差押等を実施していきます。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針	
		区分	単年(R元)	最終(R2)				
	②実行中	S：予定より早く進行	173%	172%	S：目標を大きく上回って達成		②継続	
備考								
次期総合計画策定に向けた総括								
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性			
兵庫県整理回収チームから滞納整理のノウハウを習得し、適正な金額での分割納付の徹底、悪質滞納者に対する搜索やタイヤロックなどの実施及び積極的な差押等を実施しました。					新型コロナウイルスの影響での収入の減少等による滞納額の増加により、納税交渉や滞納処分が難しくなることが予想され、収納率にも影響を及ぼすと考えられます。 しかしながら、資力があながら納税の意思を示さない悪質滞納者には、様々な手法を用いた積極的な差押等の滞納処分を実施して収納率の向上を図っていきます。			

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	10	健全な行財政運営の確立							
施策	30	行政サービスの向上と効率経営							
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7	国・県の動向を踏まえ、入札制度について随時見直しを実施し、適正かつ効率的な事務の執行を図ります。							
主管部課	部名	総務部				課名	管財課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R元 (決算額)					R2 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・事業者への立ち入り調査、指導					・事業者への立ち入り調査、指導 ・電子入札の導入		
	経費(千円)	0					4,700		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
一般競争入札の割合(%)		目標		19.2	21.0	22.0	22.0	22.0	22.0
		実績	—	19.2	21.2	29.3	28.2	28.9	
(指標及びR2目標値の設定理由) 入札制度の改正により一般競争入札割合の3%増を目指す		目標数値の達成度	単年度	100%	101%	133%	128%	131%	
			最終年度	87%	96%	133%	128%	131%	
R元取組状況	建設業者研修会の開催や、工事成績等を重視した入札加算制度の実施により、市内業者の育成を図りました。 また、公契約条例に基づく調査を行い適正価格での応札と、公共事業従事者の労働環境の両立に努めました。								
課題と今後(R2)の取組	公共事業入札において、入札執行者及び入札参加者の人的負担を軽減するため電子入札システム導入を進めます。 また、公契約条例の遵守については、下請業者を含めた周知を図る必要があり、今後も現地立ち入り調査を継続していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	S：予定より早く進行	131%	131%	B：目標を達成		②継続		
備考									
0									
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
一般競争入札適用件数 H28年度 28件／132件 H29年度 41件／140件 H30年度 40件／141件 R元年度 41件／141件		公契約条例適用件数 H28年度 25件 H29年度 33件 H30年度 34件 R元年度 31件			電子入札システムは、兵庫県電子自治体推進協議会の指導を受けながら、来年1月本稼働に向けて作業を進めています。 公契約条例については、今後も現地立ち入り調査を継続していきます。				